

～ 第6回・市政アンケート ～

男女共同参画意識に関する調査  
報 告 書

平成 21 年 12 月  
一 宮 市



# 目 次

I 調査の概要	1
II 回答者の属性	3
III 調査結果の概要	6
IV 調査結果の分析	
<男女の平等について>	
1 男女の地位の平等感	1 3
2 男女の地位について、最も平等または不平等と思う分野	3 0
3 男女が社会のあらゆる分野で平等になるために必要なこと	3 2
<結婚、家庭・地域生活に関する意識について>	
4 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」という考え方	3 4
5 現在、配偶者(またはパートナー)と暮らしていますか	3 6
6 家庭における家事分担	3 7
7 仕事、家庭生活、地域・個人の生活への関わり方	4 6
8 地域活動への参加経験	4 8
9 今後参加したい活動	5 0
10 今後、男性が女性とともに家事・子育て・介護・地域活動に積極的に 参加していくために必要なこと	5 2
<女性の社会進出について>	
11 女性が職業を持つことについての考え	5 6
12 社会のさまざまな分野において、企画や方針決定の過程に女性の参画が 進んでいない理由	5 8
<ドメスティック・バイオレンス(DV)などについて>	
13 DVなどに関する認知度	6 0
14 DVに関する相談窓口の認知度	6 2
15 知っている相談窓口	6 4
<男女共同参画社会について>	
16 男女共同参画社会に関する用語の認知度	6 6
17 男女共同参画社会を推進していくために、行政に期待する役割	6 8
V 自由意見	7 1
VI 調査票	8 8

# I 調査の概要

## 1 調査の目的

男女共同参画に関して、市民の皆さんの意識や実態を把握し、今後の男女共同参画施策の検討及び新プラン策定の基礎資料とするため。

## 2 調査の項目

- ・ 男女の平等について (3問)
- ・ 結婚、家庭・地域生活に関する意識について (7問)
- ・ 女性の社会進出について (2問)
- ・ ドメスティック・バイオレンス(DV)などについて (3問)
- ・ 男女共同参画社会について (2問) 計17問

## 3 調査の設計

市で実施する「第6回市政アンケート」にて実施。

- ① 調査地域 一宮市内全域
- ② 調査対象 市内に居住する満20歳以上の市民
- ③ 標本数 3,000人
- ④ 抽出方法 住民基本台帳・外国人登録原票をフレームとする層化系統2段階無作為抽出による(150地点)
- ⑤ 調査方法 郵送法
- ⑥ 調査期間 平成21年8月6日～8月26日

## 4 回収結果

調査標本数3,000人に対して、有効回収数1,643人(回収率54.8%)

## 5 報告書の見かた

- ・ 調査結果の数値は、回答率(%)で表記している。回答率の母数は、その質問項目に該当する回答者の数であり、「n」と表記している。
- ・ 回答率は、小数第2位を四捨五入したため、合計が100%にならない場合がある。
- ・ 1人の対象者に複数の回答を認めたものについては、その項目を選んだ人が回答者全体に占める割合を表しており、通常、その比率の合計は100%を超える。
- ・ 項目によっては、他調査との比較を行っている。比較に用いた他調査の概要は、次ページのとおり。

<平成20年愛知県調査>

愛知県県民生活部男女共同参画室「男女共同参画意識に関する調査」(平成20年9月)

- ・調査対象：県内居住の満20歳以上の男女
- ・標本数：4,000人(回収率53.1%)
- ・調査方法：郵送法
- ・調査期間：平成20年9月1日～9月15日

<平成19年全国調査>

内閣府大臣官房政府広報室「男女共同参画社会に関する世論調査」(平成19年7月)

- ・調査対象：全国20歳以上の男女
- ・標本数：5,000人(回収率62.4%)
- ・調査方法：調査員による個別面接聴取法
- ・調査期間：平成19年7月26日～8月12日

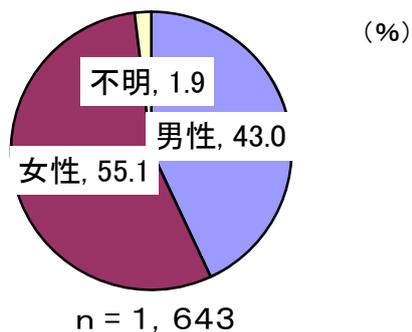
<平成9年一宮市調査>

一宮市教育委員会生涯学習課「女性問題に関する市民意識調査」(平成9年6月)

- ・調査対象：市内在住の満20歳以上の男女
- ・標本数：2,000人(回収率55.5%)
- ・調査方法：郵送法
- ・調査期間：平成9年6月

## II 回答者の属性

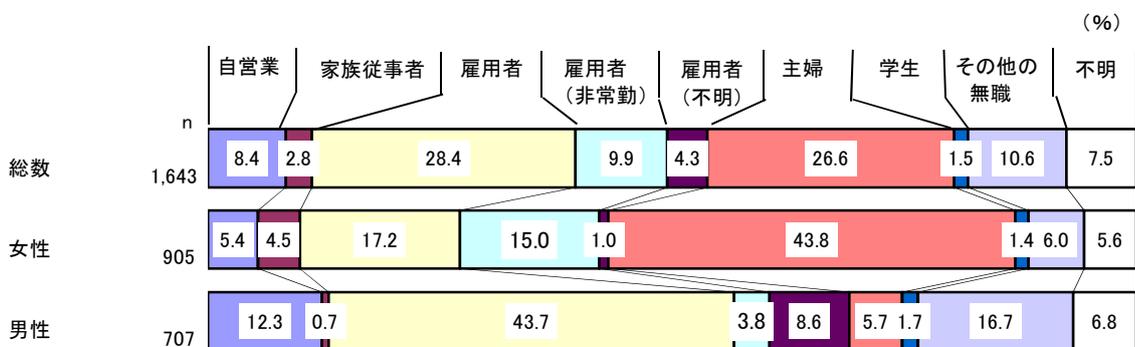
### 1. 性別



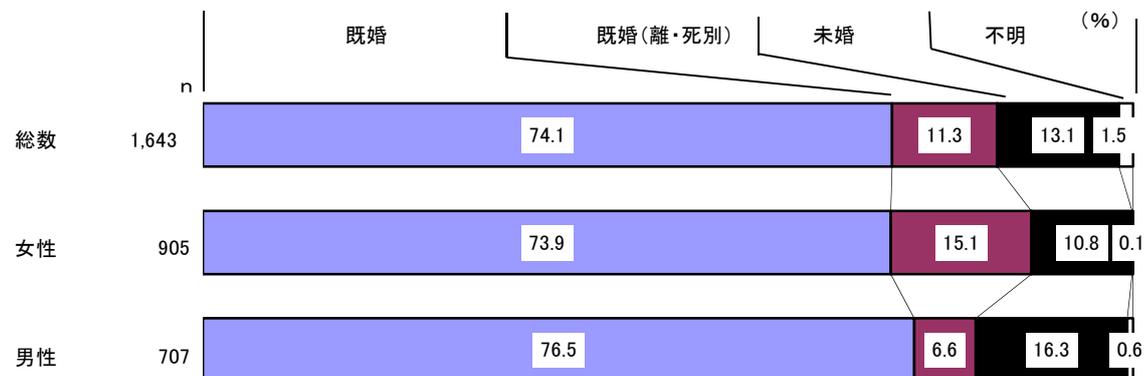
### 2. 年齢



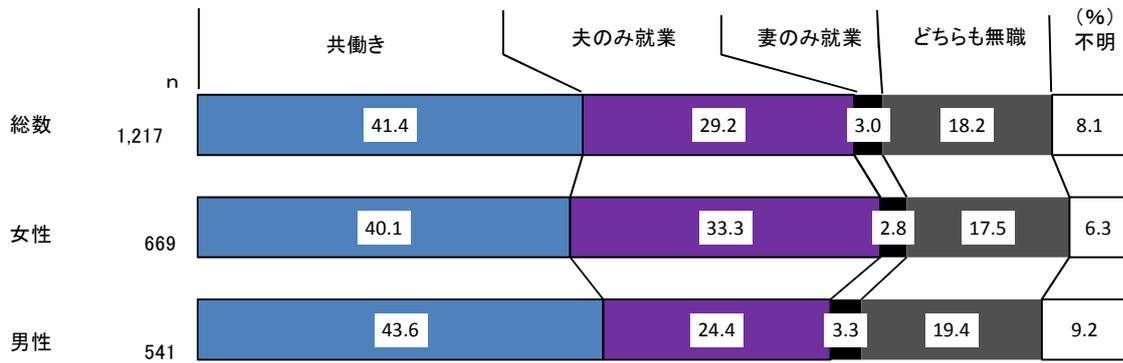
### 3. 職業



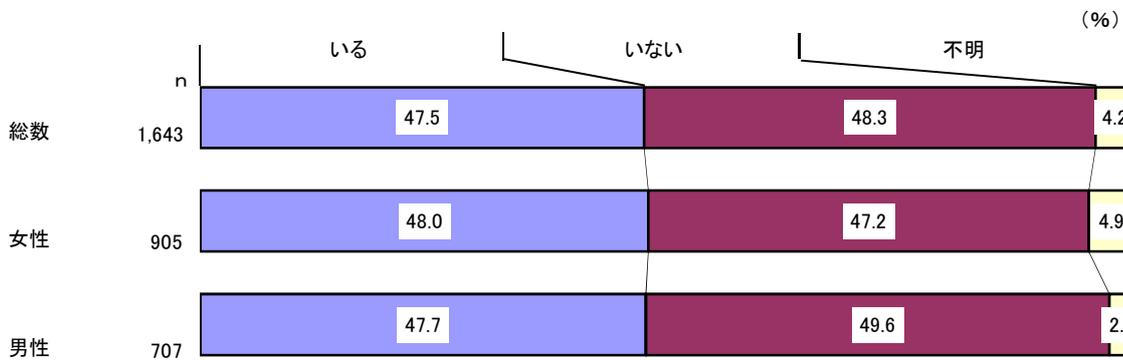
### 4. 未・既婚



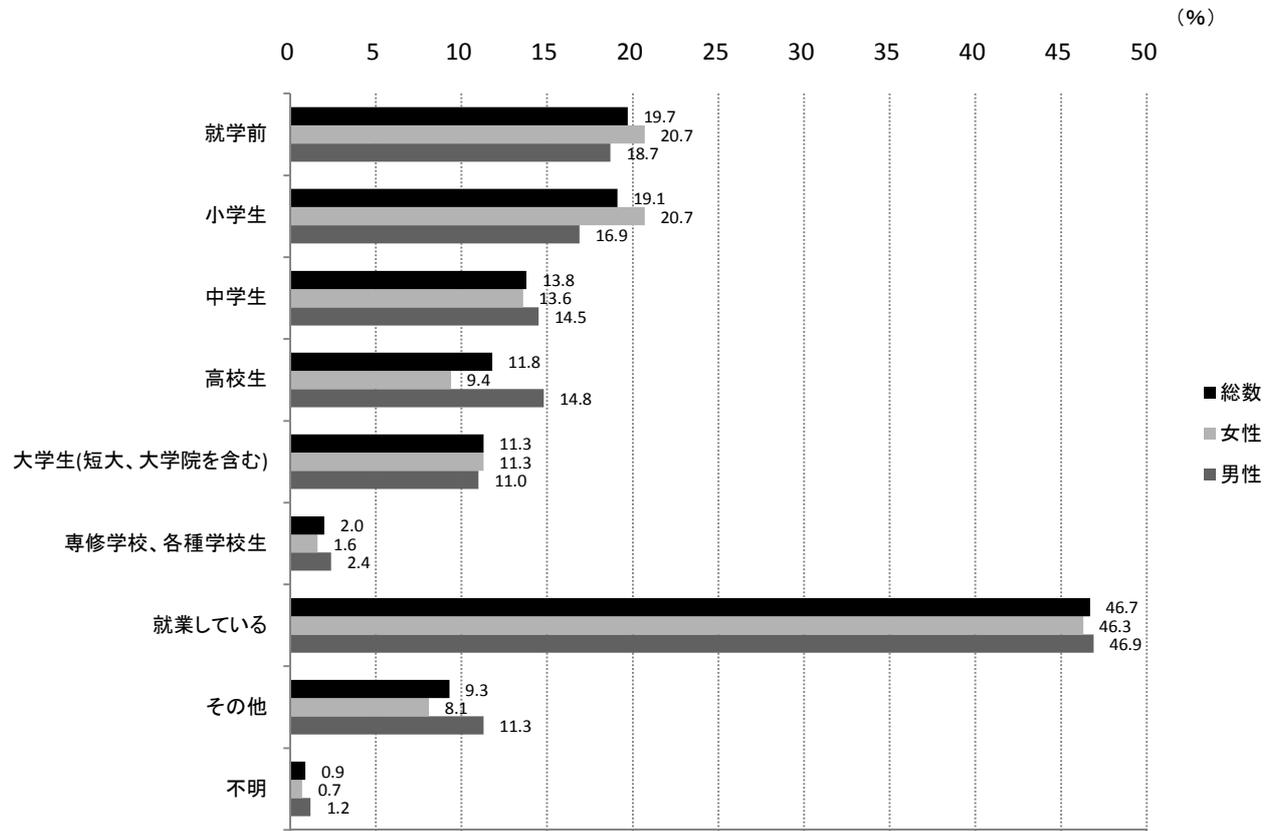
## 5. 共働き状況



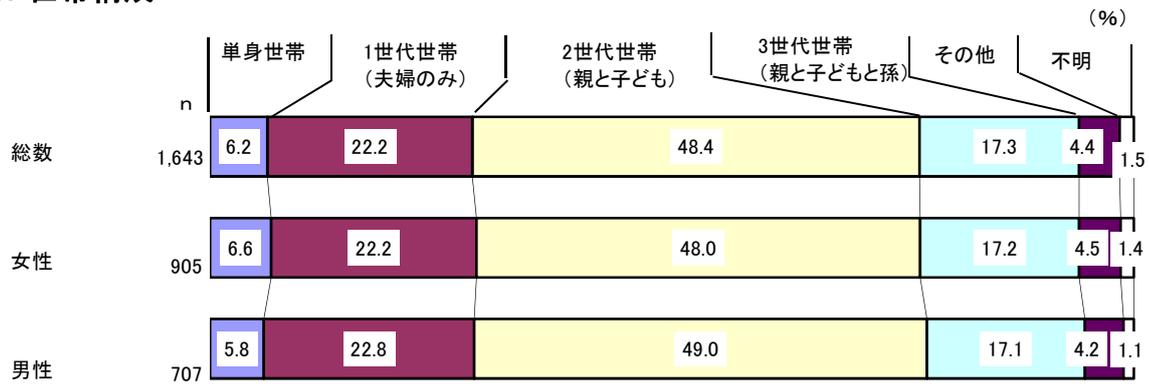
## 6. 未婚の子どもの有無



## 7. 未婚の子どもの構成



## 8. 世帯構成



## Ⅲ 調査結果の概要

### <男女の平等について>

#### 1 男女の地位の平等感

8つの分野について、「男性の方が優遇されている」（「男性の方が優遇されている」＋「どちらかといえば男性の方が優遇されている」以下同じ）と回答した人の割合は、高い順に「社会通念・慣習・しきたりなど」（70.6%）、「社会全体として」（70.1%）、「政治の場」（69.8%）、「職場」（66.3%）、「家庭生活」（55.8%）となっている。

また、「平等」と回答した人の割合は、高い順に「学校教育の場」（55.8%）、「法律や制度」（33.7%）、「地域活動の場」（31.6%）となっている。

性別に見ると、「男性の方が優遇されている」と回答した人の割合は、すべての分野で男性より女性の方が高くなっている。

年齢別に見ると、「男性の方が優遇されている」と回答した人の割合は、ほとんどの分野で、40歳代、50歳代で高くなっているが、「職場」「政治の場」においては、大きな差異は見られない。

他調査と比較すると、愛知県調査（平成20年実施（以下同じ））とは、ほとんどの分野ではほぼ同様の結果となっている。全国調査（平成19年実施（以下同じ））と比較すると、「家庭生活」「職場」で「男性の方が優遇されている」と回答した人の割合は高くなっており、「平等」と回答した人の割合はすべての分野で低くなっている。

#### 2 男女の地位について、最も平等または不平等だと思う分野

最も平等だと回答した人の割合は、「学校教育の場」（41.7%）で最も高く、次いで「家庭生活」（14.2%）、「法律や制度」（12.9%）の順となっている。

最も不平等だと回答した人の割合は、「社会通念・慣習・しきたりなど」（29.1%）で最も高く、次いで「職場」（20.1%）、「政治の場」（12.7%）の順となっている。

性別に見ると、「法律や制度」を最も平等であると回答した人の割合は、男性より女性のほうが低くなっており、「家庭生活」を最も不平等であると回答した人の割合は、男性より女性のほうが高くなっている。

年齢別に見ると、「家庭生活」を最も平等であると回答した人の割合は、20歳代、30歳代で高くなっており、「社会通念・慣習・しきたりなど」を最も不平等であると回答した人の割合は、40歳代、50歳代で特に高くなっている。

#### 3 男女が社会のあらゆる分野で平等になるために必要なこと（複数回答）

「女性を取り巻くさまざまな偏見や、社会通念・慣習・しきたりなどを改める」と回答した人の割合が54.7%と最も高く、次いで「女性の就業・社会参加を支援する施設やサービスの充実を図る」（40.8%）、「行政や企業などの重要な役職に、女性を積極的に登用する制度を採用・充実する」（36.4%）の順となっている。

性別に見ると、ほとんどの項目で回答した人の割合は、男性より女性の方が高く、特に「女性

の就業・社会参加を支援する施設やサービスの充実を図る」と回答した人の割合は、女性の方が大幅に高くなっている。

年齢別に見ると、「女性を取り巻くさまざまな偏見や、社会通念・慣習・しきたりなどを改める」については、20歳代、50歳代で高くなっており、70歳以上で低くなっている。「女性の就業・社会参加を支援する施設やサービスの充実を図る」については、他の年齢層に比して70歳代以上で低くなっている。「女性自身が経済力をつけたり、知識・技術の習得など積極的に力の向上を図る」については、他の年齢に比して20歳代、30歳代で低くなっている。他の項目については、年齢による差は見られない。

### 【意見】

- 男女の地位の平等感については、前回調査(平成9年実施(以下同じ))と比較すると、「平等」という回答が増えていますが、全国調査と比較した場合、かなり平等感に開きがでており、愛知県全体に言えることですが、やや保守的な傾向にあります。
- 国の施策の推進等により、変えていけるような「学校教育の場」や「法律や制度」の分野で、平等感が増えている一方、施策等では動かしづらい「社会通念・慣習・しきたりなど」は不平等感が高くなっていることから、男女共同参画が過渡期であるということがわかります。今後、男女共同参画の活動を活発化させることにより、男女平等がさらに進んでいくのではないかと考えられます。
- 男女平等を進めるためには、女性をとりまくさまざまな偏見や社会通念・慣習・しきたりなどを引き続き見直していく必要があります。また、高年齢層は、若年層に比較すると女性自身の力の向上が必要と考えているようです。

〈一宮市男女共同参画推進懇話会〉

### 〈結婚、家庭・地域生活に関する意識について〉

#### 4 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」という考え方

「賛成」(「賛成」+「どちらかといえば賛成」以下同じ)と回答した人の割合は52.3%、「反対」(「反対」+「どちらかといえば反対」以下同じ)と回答した人の割合は35.9%と、「賛成」が「反対」を上回っている。

性別に見ると、「賛成」と回答した人の割合は女性より男性の方が高く、「反対」と回答した人の割合は男性より女性の方が高くなっている。

年齢別に見ると、「賛成」と回答した人の割合は、60歳代、70歳以上で高くなっている。

愛知県調査とは、ほぼ同様の結果となっているが、全国調査と比較すると、「賛成」と回答した人の割合は、やや高くなっており、「反対」と回答した人の割合は低くなっている。

#### 5 現在、配偶者(またはパートナー)と暮らしていますか

「暮らしている」と回答した人の割合は、75.3%である。

#### 6 家庭における家事分担

配偶者(またはパートナー)と暮らしている人に、8つの項目について聞いたところ、「妻」と

回答した人の割合は、「食事のしたく」(83.4%)が最も高く、次いで「洗濯」(78.7%)、「食事の後片づけ、食器洗い」(70.2%)、「家計の管理」(67.0%)、「掃除」(65.7%)の順に高くなっている。また、「買い物」と「子育て」については、「夫婦」と回答した人の割合がやや高くなっている。

性別に見ると、「食事のしたく」「洗濯」「家計の管理」の分野では、大きな差異は見られない。他の分野においては、「妻」と回答した人の割合は男性より女性の方が高く、「夫婦」と回答した人の割合は、女性より男性の方が高くなっている。

年齢別に見ると、ほとんどの項目において、「夫婦」と回答した人の割合は、20歳代で高くなっており、「妻」と回答した人の割合は、40歳代、50歳代で高くなっている。

## 7 仕事、家庭生活、地域・個人の生活への関わり方

「仕事と家庭生活をともに優先している」と回答した人の割合が25.9%と最も高く、次いで「家庭生活を優先している」(25.2%)、「仕事を優先している」(15.0%)の順となっている。

性別に見ると、「家庭生活を優先している」と回答した人の割合は、男性より女性の方が大幅に高くなっているのに対し、「仕事を優先している」と回答した人の割合は、女性より男性の方が大幅に高くなっている。

年齢別に見ると、「仕事と家庭生活をともに優先している」と回答した人の割合は、30歳代、40歳代、50歳代で高くなっている。

他調査と比較すると、「仕事を優先している」と回答した人の割合は低くなっており、「仕事と家庭生活をともに優先している」と回答した人の割合は高くなっている。

## 8 地域活動への参加経験

「地域活動への参加経験がある」(「現在参加している」+「かつて参加していたが現在は中止している」以下同じ)と回答した人の割合は56.0%となっている。また、「参加したことはない」と回答した人の割合は41.6%となっている。

性別に見ると、「地域活動への参加経験がある」と回答した人の割合は、男性(50.7%)より女性(60.5%)の方が高くなっている。

年齢別に見ると、「地域活動への参加経験がある」と回答した人の割合は、40歳代(69.7%)、50歳代(62.4%)、60歳代(61.9%)で高くなっている。また、「現在参加している」と回答した人の割合は、40歳代で最も高くなっている。

他調査と比較すると、「地域活動への参加経験がある」と回答した人の割合は低くなっている。

## 9 今後参加したい活動(複数回答)

「教養・趣味・スポーツのサークル」と回答した人の割合は40.1%と最も高く、次いで「NPOやボランティア団体など民間の非営利活動団体」(9.7%)、「老人クラブなど高齢者の会」(7.2%)の順となっている。また、「いずれも参加したくない」と回答した人の割合は25.0%となっている。

性別に見ると、「いずれも参加したくない」と回答した人の割合は、女性より男性の方が高くなっている。

年齢別に見ると、「教養・趣味・スポーツのサークル」と回答した人の割合は、20歳代で高くなっており、「老人クラブなど高齢者の会」と回答した人の割合は、70歳以上で高くなっている。

## 10 今後、男性が女性とともに家事・子育て・介護・地域活動に積極的に参加していくために必要なこと（複数回答）

「夫婦や家族間でのコミュニケーションをよくはかる」と回答した人の割合が59.3%と最も高く、次いで「男性が家事などに参加することに対する男性自身の抵抗感をなくす」（50.4%）、「社会の中で、男性による家事・子育て・介護・地域活動について評価を高める」（45.1%）、「労働時間短縮や休暇制度を普及させ、仕事以外の時間を多く持てるようにする」（41.6%）の順となっている。

性別に見ると、「男性が家事などに参加することに対する男性自身の抵抗感をなくす」、「社会の中で、男性による家事・子育て・介護・地域活動について評価を高める」、「男性が家事・子育て・介護・地域活動に関心を持つよう、啓発や情報提供を行う」と回答した人の割合は、男性より女性の方が高くなっている。

年齢別に見ると、「夫婦や家族間でのコミュニケーションをよくはかる」、「男性が家事などに参加することに対する男性自身の抵抗感をなくす」、「仕事と家庭の両立などの問題について男性が相談しやすい窓口を設ける」と回答した人の割合は、他の年齢層に比べ20歳代で高くなっている。

他調査と比較すると、大きな差異は見られない。

### 【意見】

- 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」と考える30代が比較的多いという結果を見ると、この「家庭」の中に育児が含まれていると考えられます。実際、育児に関する家事分担では、30代では、「夫婦」と回答した人の割合が高いにもかかわらず、育児の負担が大きすぎるために、女性が家庭に戻らざるを得ない現実があると思われれます。
- 家庭における家事等では、ほとんどの項目で妻が分担しており、特に「食事のしたく」の項目では高い比率となっています。男性に対する料理等実体験の場が必要とされています。
- 家庭における家事分担でも、「食事のしたく」「食器の後片付け、食器洗い」「買い物」の項目で、20代において夫婦で役割分担している比率が高くなっています。家庭生活の分野で、以前より、男女共同参画の意識が進んできている傾向が見られ、社会のしくみを整備していくという、より現実的な課題になってきたと言えます。

＜一宮市男女共同参画推進懇話会＞

## ＜女性の社会進出について＞

### 11 女性が職業を持つことについての考え

「子どもができたなら仕事をやめ、大きくなったら再び職業を持つほうがよい」と回答した人の割合が47.7%と最も高く、次いで、「ずっと職業を持ち続けるほうがよい」が30.4%と高くなっている。また、「子どもができるまでは、職業を持ち続けるほうがよい」と回答した人の割合は

5.4%、「結婚するまでは、職業を持ち続けるほうがよい」と回答した人の割合は 4.4%、「女性は職業を持たないほうがよい」と回答した人の割合は 2.1%と低くなっている。

性別に見ると、「子どもができたら仕事をやめ、大きくなったら再び職業を持つほうがよい」と回答した人の割合は男性より女性の方が高く、「結婚するまでは、職業を持ち続けるほうがよい」と回答した人の割合は女性より男性の方が高くなっている。

愛知県調査とは、ほぼ同様の結果となっているが、全国調査と比較すると、「ずっと職業を持ち続けるほうがよい」と回答した人の割合は低くなっており、「子どもができたら仕事をやめ、大きくなったら再び職業を持つほうがよい」と回答した人の割合は高くなっている。

また、前回調査と比較すると、「ずっと職業を持ち続けるほうがよい」と回答した人の割合は上昇しているが、その他については低下している。

## 12 社会のさまざまな分野において、企画や方針決定の過程に女性の参画が進んでいない理由（複数回答）

「男性優位な組織運営」と回答した人の割合が 49.6%と最も高く、次いで「職場における性別役割分担、性差別の意識」（38.7%）、「家庭の支援・協力が得られない」（30.7%）の順となっている。

性別に見ると、「家庭の支援・協力が得られない」、「家庭における性別役割分担、性差別の意識」と回答した人の割合は、男性より女性の方が大幅に高くなっている。

年齢別に見ると、「職場における性別役割分担、性差別の意識」と回答した人の割合は 20 歳代、30 歳代で高くなっており、「女性側の積極性が不十分」と回答した人の割合は 40 歳代以降で高くなっている。

### 【意見】

- 「子どもができたら仕事をやめ、大きくなったら再び職業を持つほうがよい」と考える人が、最も多く、いったん辞めても、再就職を後押しするような施策が必要とされています。
- 一宮市前回調査と比較すると、「女性はずっと職業を持ち続けるほうがよい」という割合が増えており、女性が職業を持ち続けることに対して、肯定的になっています。保育環境を整えるなど、社会の中で女性が働き続けられるシステム作りが急務となっています。
- 女性参画が進んでいない理由として、「男性優位な組織運営」と考える人は、依然多く、引き続き改善していくことが必要であり、行政としての取り組みに期待されます。また、女性の意見として、「家庭の支援・協力が得られない」とともに、「女性の活動を支援するネットワークの不足」が挙げられており、行政の支援が必要とされています。

〈一宮市男女共同参画推進懇話会〉

## ＜ドメスティック・バイオレンス(DV)などについて＞

### 13 DVなどに関する認知度（複数回答）

「配偶者や恋人など親密な関係の人から受ける暴力を、いわゆる「ドメスティック・バイオレンス（DV）」と呼ぶ」（80.6%）、「主に職場において、性的な言動により他の人を不快にさせる

行為を「セクシュアル・ハラスメント（セクハラ）」と呼ぶ」（79.7%）を知っていると回答した人の割合は高くなっている。また、「DVには、殴る、蹴るなど身体的暴力だけでなく、精神的・性的暴力も含まれる」を知っていると回答した人の割合は 74.9%、「DV被害者を支援するために、法律（「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律」）が制定されている」を知っていると回答した人の割合は 52.6%となっている。

性別に見ると、ほとんどの項目で知っていると回答した人の割合は、女性の方が高くなっている。

年齢別に見ると、60歳代、70歳以上では、ほとんどの項目で知っていると回答した人の割合は低くなっている。

#### 14 DVに関する相談窓口の認知度

「知っている」と回答した人の割合は 51.1%、「知らない」と回答した人の割合は 45.3%と、「知っている」が「知らない」を上回っている。

性別に見ると、男性では「知らない」（49.2%）と回答した人が、「知っている」（47.1%）と回答した人を上回っている。

年齢別に見ると、20歳代、70歳以上では、「知らない」と回答した人の割合が半数を超えている。

愛知県調査と比較して、大きな差異は見られない。

#### 15 知っている相談窓口（複数回答）

相談窓口を知っている人のうち、「警察」と回答した人の割合が 79.3%と最も高く、次いで「配偶者暴力相談支援センター（愛知県女性相談センター）」（43.1%）、市役所（40.4%）の順となっている。

性別に見ると、大きな差異は見られない。

年齢別に見ると、20歳代、30歳代、40歳代では、「民間の団体や機関（民間シェルター、弁護士会など）」を知っていると回答した人の割合が高く、60歳代、70歳以上では、「法務局、人権擁護委員、法テラス」を知っていると回答した人の割合が高くなっている。

#### 【意見】

○ドメスティック・バイオレンス(DV)については、性的、精神的なものまで含めると、実態として表面化していない部分が非常に多いと言われています。行政はもちろん、社会全般として、もっと声をあげて取り組んでいかなければならない問題になっています。

○DVの被害者本人が、気づいていないケースもあり、相談にくることにより、問題解決につながったケースもあります。相談窓口についての認知度は決して高いものではない現状からも、情報提供、啓発がさらに必要です。

○被害者を救出する支援策は、以前と比べるとかなり充実してきていますが、今後は、若年層に対する予防の意味での啓発や被害者の実体験の情報共有などが重要になってくると考えられます。

〈一宮市男女共同参画推進懇話会〉

## ＜男女共同参画社会について＞

### 16 男女共同参画社会に関する用語の認知度（複数回答）

「男女雇用機会均等法」を知っていると回答した人の割合は 52.8%となっている。また、「男女共同参画」を知っていると回答した人の割合は 36.9%、「ジェンダー（社会的性別）」を知っていると回答した人の割合は 14.9%となっている。また、「知らない」と回答した人の割合も 32.6%となっている。

性別に見ると、大きな差異は見られない。

年齢別に見ると、「男女雇用機会均等法」、「ジェンダー」、「男女共同参画基本法」、「女子差別撤廃条約」を知っていると回答した人の割合は、他の年齢層に比べ 20 歳代で高くなっている。

### 17 男女共同参画社会を推進していくために、行政に期待する役割（複数回答）

「子育てや介護等でいったん仕事を辞めた人の再就職を支援する」と回答した人の割合が 57.3%と最も高く、次いで「子育てや介護中であっても仕事が続けられるよう支援する」（50.9%）、「保育の施設・サービスや、高齢者や病人の施設や介護サービスを充実する」（50.0%）の順となっている。

性別に見ると、「子育てや介護等でいったん仕事を辞めた人の再就職を支援する」、「子育てや介護中であっても仕事が続けられるよう支援する」「保育の施設・サービスや、高齢者や病人の施設や介護サービスを充実する」と回答した人の割合は、男性より女性の方が高くなっている。

年齢別に見ると、「子育てや介護等でいったん仕事を辞めた人の再就職を支援する」、「子育てや介護中であっても仕事が続けられるよう支援する」と回答した人の割合は、20 歳代、30 歳代で高くなっている。また、「政治や行政などにおける政策決定の場に、女性を積極的に登用する」、「職場における男女の均等な取扱いの周知徹底が図られるよう企業等に働きかける」と回答した人の割合は、20 歳代で特に高くなっている。

## 【意見】

- 男女共同参画社会に関する全国共通用語の認知度に比べ、一宮市独自の用語の認知度は低くなっており、広報・啓発をさらに進める必要があります。
- 男女共同参画を進めるためには、「子育てや介護等でいったん仕事を辞めた人の再就職を支援する」「子育てや介護中であっても仕事が続けられるよう支援する」とともに、「保育の施設・サービスや、高齢者や病人の施設や介護サービスを充実する」ことを行政に期待すると回答した人が多く、仕事と家庭の両立を支援していくことが求められています。
- 若年層において、男女共同参画に関する用語の認知度が他世代に比較すると非常に高くなっている要因のひとつには、学校教育の場や地域での男女共同参画意識が高まっていると考えられます。

＜一宮市男女共同参画推進懇話会＞

## IV 調査結果の分析

### <男女の平等について>

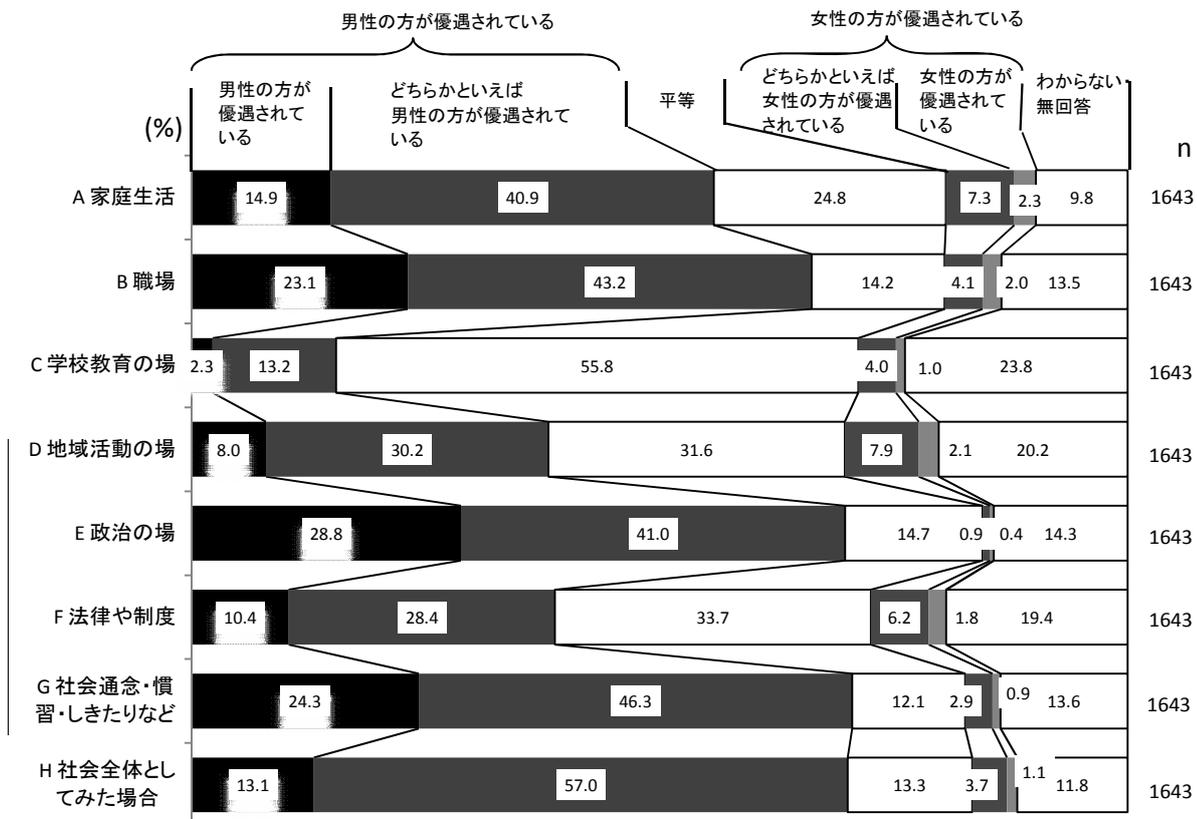
#### 1 男女の地位の平等感

8つの分野について、「男性の方が優遇されている」（「男性の方が優遇されている」＋「どちらかといえば男性の方が優遇されている」以下同じ）と回答した人の割合は、高い順に「社会通念・慣習・しきたりなど」（70.6%）、「社会全体としてみた場合」（70.1%）、「政治の場」（69.8%）、「職場」（66.3%）、「家庭生活」（55.8%）となっている。

また、「平等」と回答した人の割合は、高い順に「学校教育の場」（55.8%）、「法律や制度」（33.7%）、「地域活動の場」（31.6%）となっている。

図1-1 男女の地位の平等感

【分野別】



## A 「家庭生活」

「男性の方が優遇されている」と回答した人の割合は 55.8%と高くなっている。また、「平等」と回答した人の割合は 24.8%、「女性の方が優遇されている」（「女性の方が優遇されている」＋「どちらかといえば女性の方が優遇されている」以下同じ）と回答した人の割合は 9.6%と低くなっている。

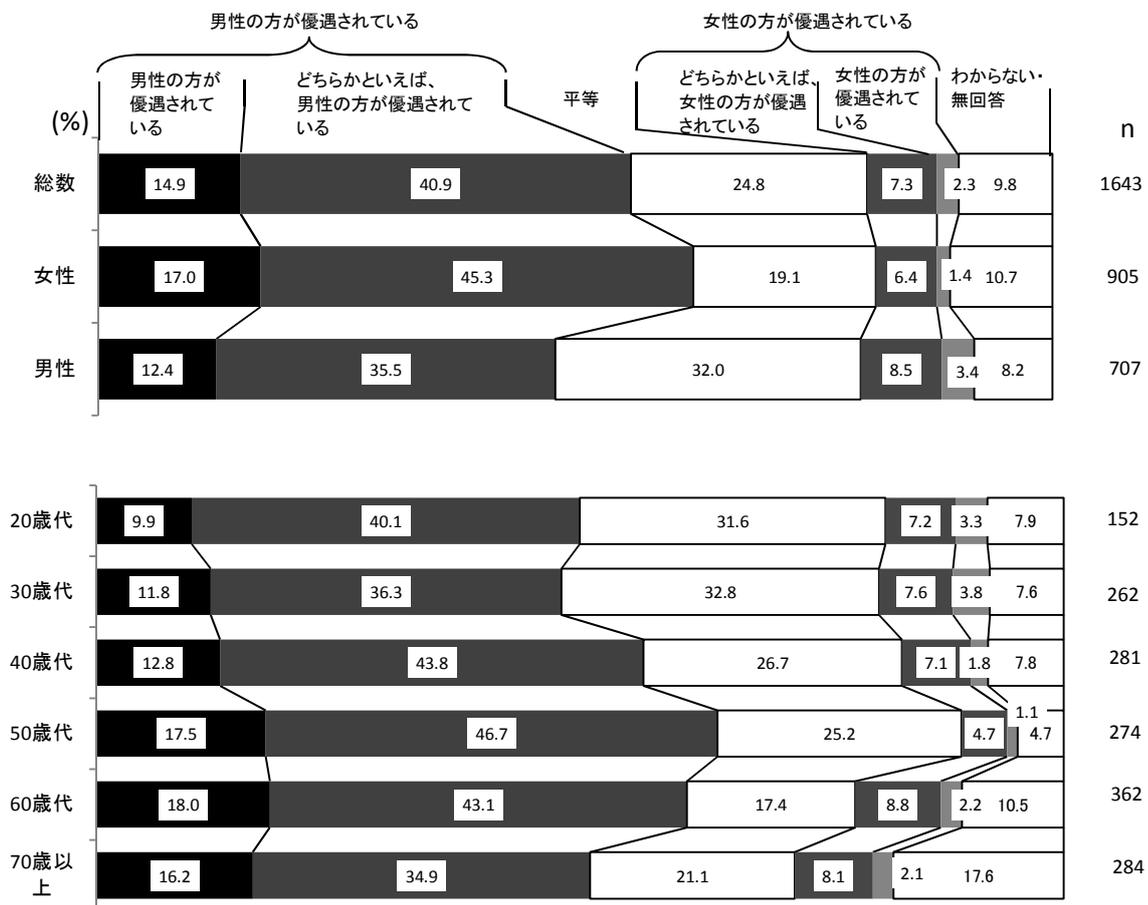
### 【性・年齢別】

性別に見ると、「男性の方が優遇されている」と回答した人の割合は、男性（47.9%）より女性（62.3%）の方が大幅に高くなっている。反対に、「平等」と回答した人の割合は、女性（19.1%）より男性（32.0%）の方が大幅に高くなっている。

年齢別に見ると、「平等」と回答した人の割合は、年齢が高いほど低くなる傾向にある。

図1-2 男女の地位の平等感(A 家庭生活)

### 【総数、性別、年齢別】

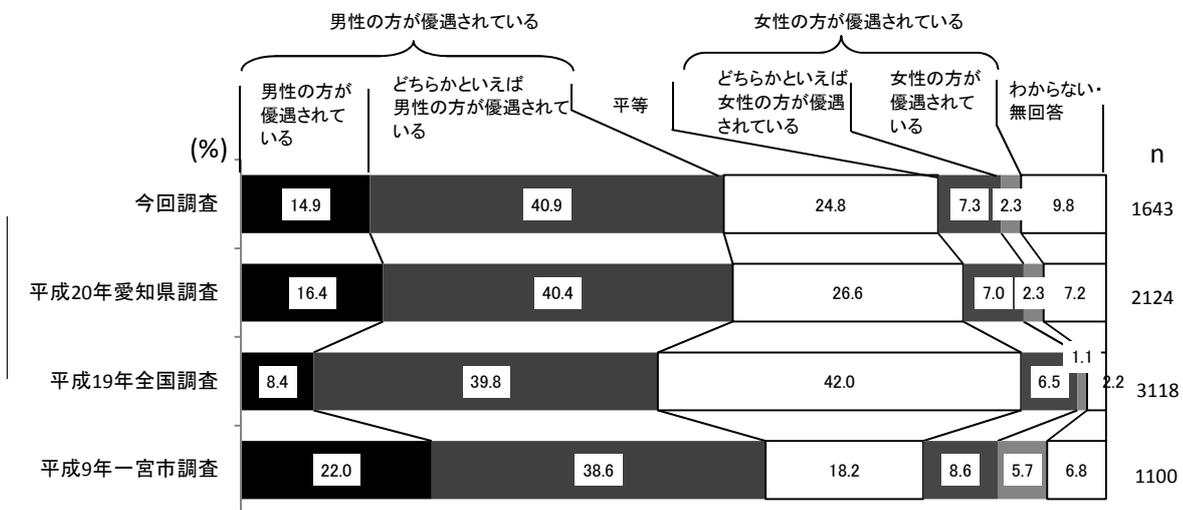


【他調査との比較】

愛知県調査とは、ほぼ同様の結果となっているが、全国調査と比較すると、「男性の方が優遇されている」と回答した人の割合は高くなっており、「平等」と回答した人の割合は低くなっている。また、前回調査(平成9年実施(以下同じ))と比較すると、「男性の方が優遇されている」と回答した人の割合は、低くなっており、「平等」と回答した人の割合は、高くなっている。

図1-3 男女の地位の平等感(A 家庭生活)

【他調査との比較】



## B 「職場」

「男性の方が優遇されている」と回答した人の割合は 66.3%と高くなっている。また、「平等」と回答した人の割合は 14.2%、「女性の方が優遇されている」と回答した人の割合は 6.1%と低くなっている。

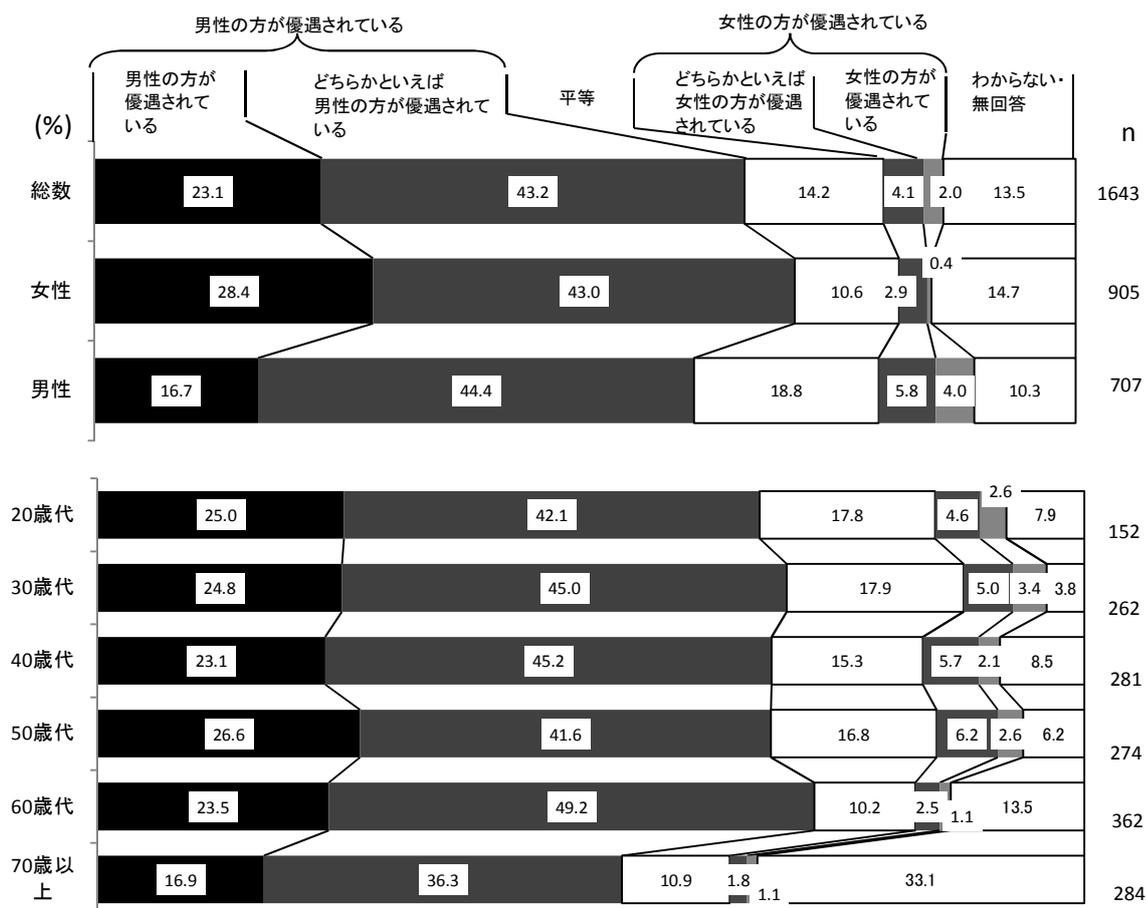
### 【性・年齢別】

性別に見ると、「男性の方が優遇されている」と回答した人の割合は、男性（61.1%）より女性（71.4%）の方が高くなっている。

年齢別に見ると、大きな差異は見られない。

図1-4 男女の地位の平等感(B 職場)

【総数、性別、年齢別】

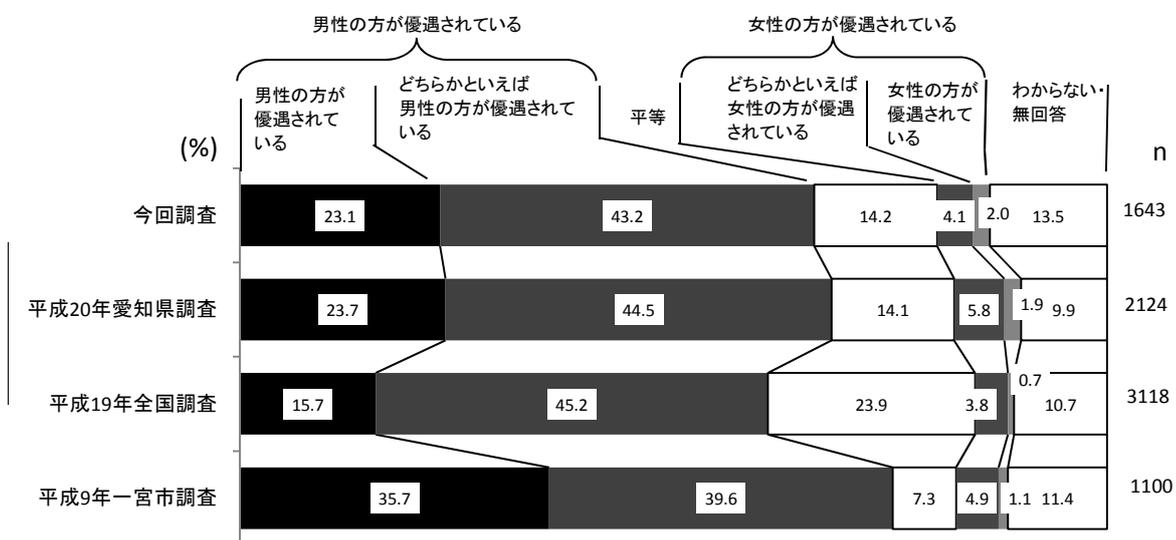


【他調査との比較】

愛知県調査とは、ほぼ同様の結果となっているが、全国調査と比較すると、「男性の方が優遇されている」と回答した人の割合は高くなっており、「平等」と回答した人の割合は低くなっている。また、前回調査と比較すると、「男性の方が優遇されている」と回答した人の割合は、低くなっており、「平等」と回答した人の割合は、高くなっている。

図1-5 男女の地位の平等感(B 職場)

【他調査との比較】



### C 「学校教育の場」

「平等」と回答した人の割合が 55.8%と高くなっている。また、「男性の方が優遇されている」と回答した人は 15.5%、「女性の方が優遇されている」と回答した人の割合は 5.0%と低くなっている。

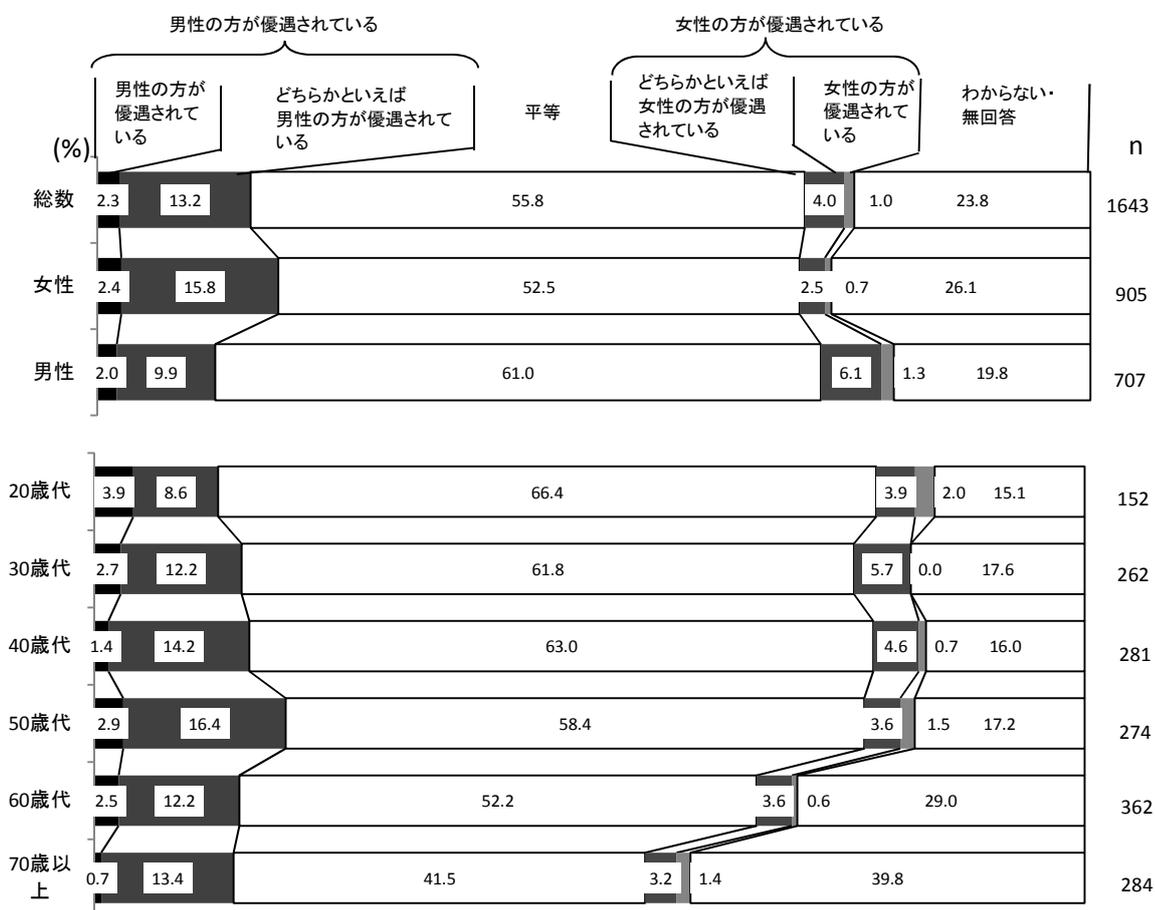
#### 【性・年齢別】

性別に見ると、「男性の方が優遇されている」と回答した人の割合は、男性（11.9%）より女性（18.2%）の方が高くなっている。

年齢別に見ると、「平等」と回答した人の割合は、年齢が低いほど高くなっている。

図1-6 男女の地位の平等感(C 学校教育の場)

【総数、性別、年齢別】

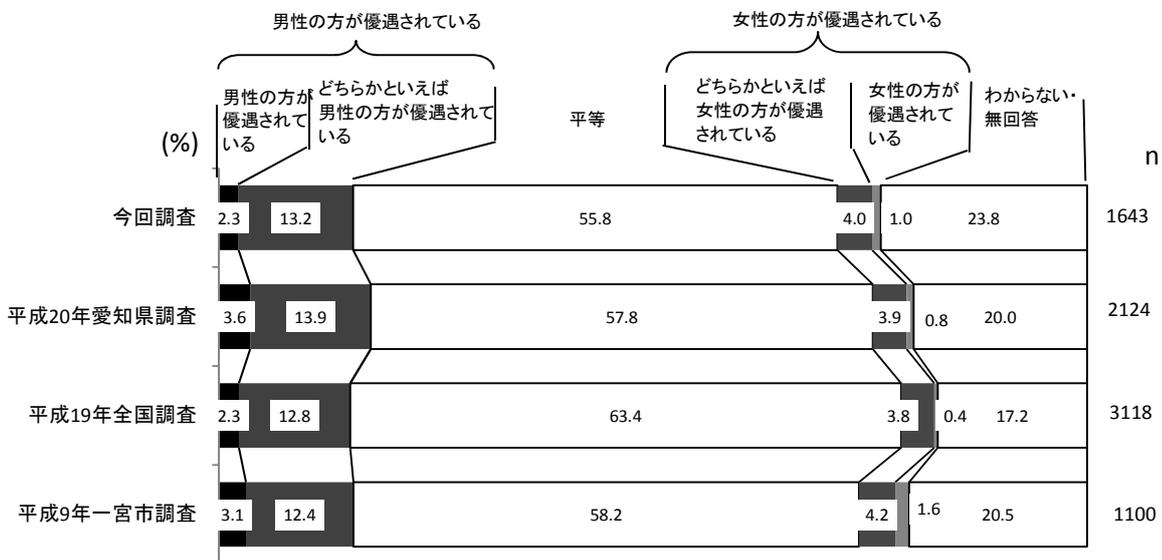


【他調査との比較】

愛知県調査とは、ほぼ同様の結果となっているが、全国調査と比較すると、「平等」と回答した人の割合はやや低くなっている。また、前回調査とは、大きな差異は見られない。

図1-7 男女の地位の平等感(C 学校教育の場)

【他調査との比較】



D 「地域活動の場」

「平等」と回答した人の割合は 31.6%、「男性の方が優遇されている」と回答した人の割合は 38.2%と、ほぼ同じとなっており、また、「女性の方が優遇されている」と回答した人の割合は 10.0%と低くなっている。

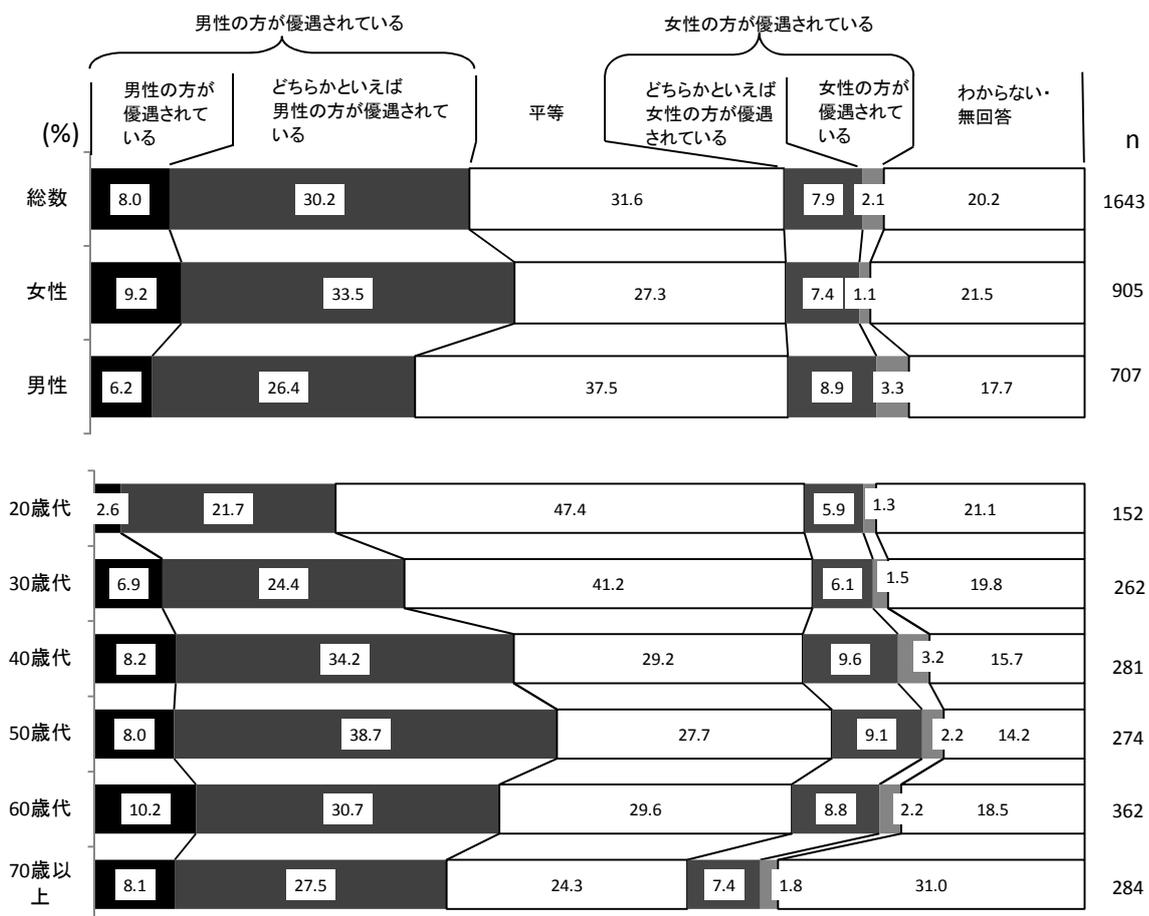
【性・年齢別】

性別に見ると、「男性の方が優遇されている」と回答した人の割合は、男性（32.6%）より女性（42.7%）の方が大幅に高くなっている。

年齢別に見ると、「男性の方が優遇されている」と回答した人の割合は、50 歳代（46.7%）で最も高くなっており、次いで、40 歳代（42.4%）、60 歳代（40.9%）の順となっている。

図1-8 男女の地位の平等感(D 地域活動の場)

【総数、性別、年齢別】

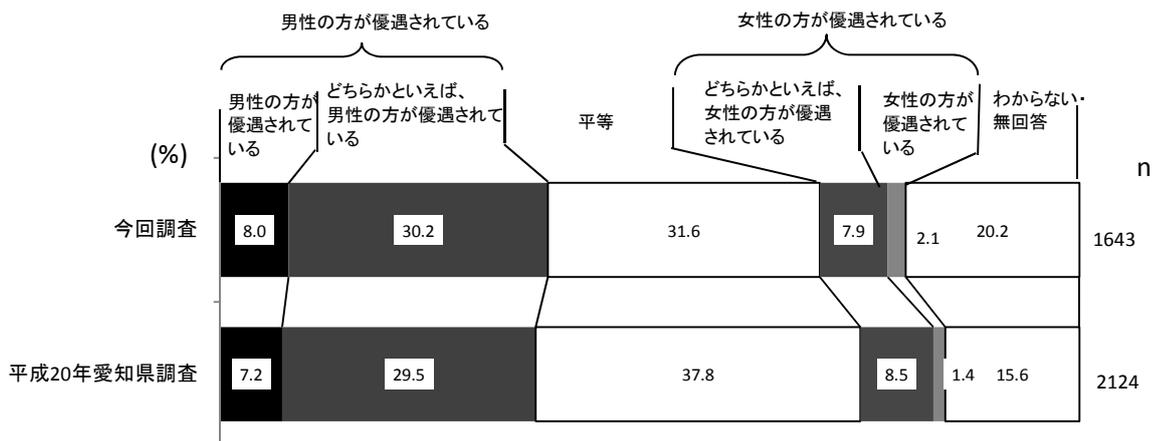


【他調査との比較】

愛知県調査と比較すると、「平等」と回答した人の割合は低くなっている。

図1-9 男女の地位の平等感(D 地域活動の場)

【他調査との比較】



### E 「政治の場」

「男性の方が優遇されている」と回答した人の割合は 69.8%と高くなっている。また、「平等」と回答した人の割合は 14.7%、「女性の方が優遇されている」と回答した人の割合は 1.3%と低くなっている。

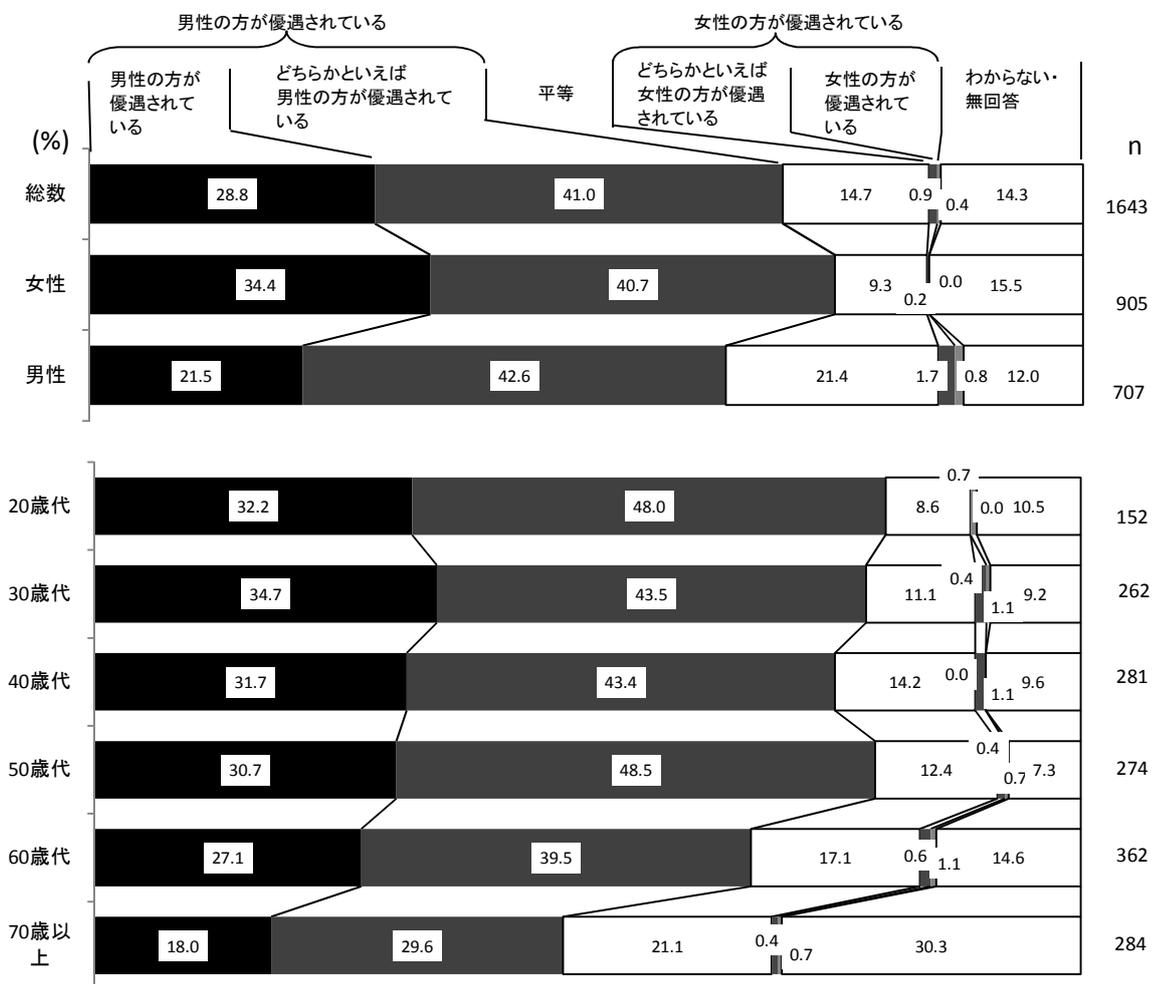
#### 【性・年齢別】

性別に見ると、「男性の方が優遇されている」と回答した人の割合は、男性（64.1%）より女性（75.1%）の方が高くなっている。

年齢別に見ると、大きな差異は見られない。

図1-10 男女の地位の平等感(E 政治の場)

【総数、性別、年齢別】

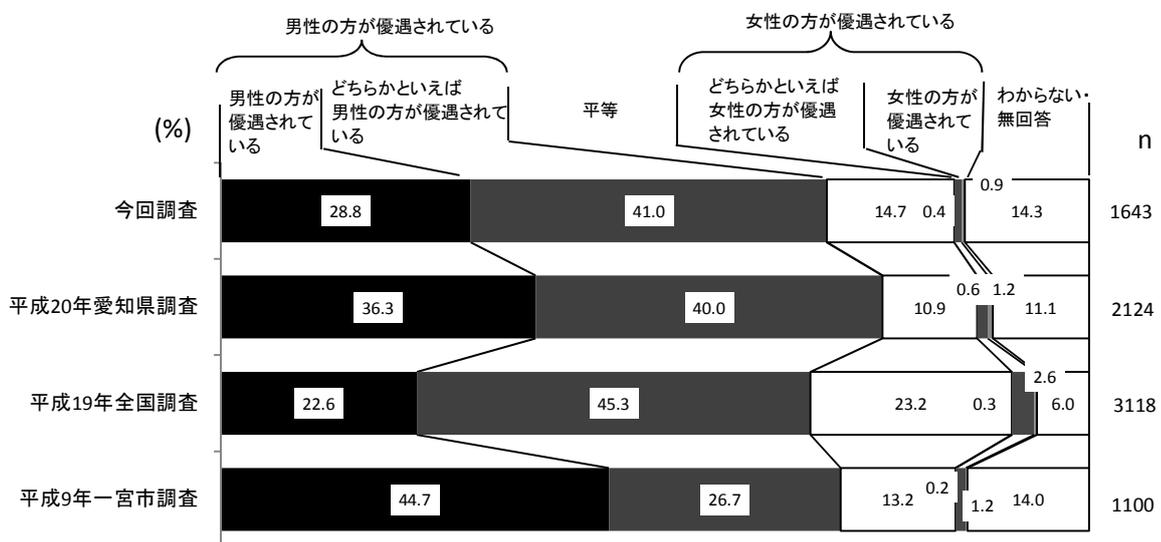


【他調査との比較】

愛知県調査と比較すると、「男性の方が優遇されている」と回答した人の割合は低くなっており、「平等」と回答した人の割合は高くなっている。全国調査と比較すると「平等」と回答した人の割合は低くなっている。また、前回調査とは、大きな差異は見られない。

図1-11 男女の地位の平等感(E 政治の場)

【他調査との比較】



## F 「法律や制度」

「男性の方が優遇されている」と回答した人の割合は 38.8%と最も高くなっており、次いで「平等」(33.7%) となっている。また、「女性の方が優遇されている」と回答した人の割合は 8.0%と低くなっている。

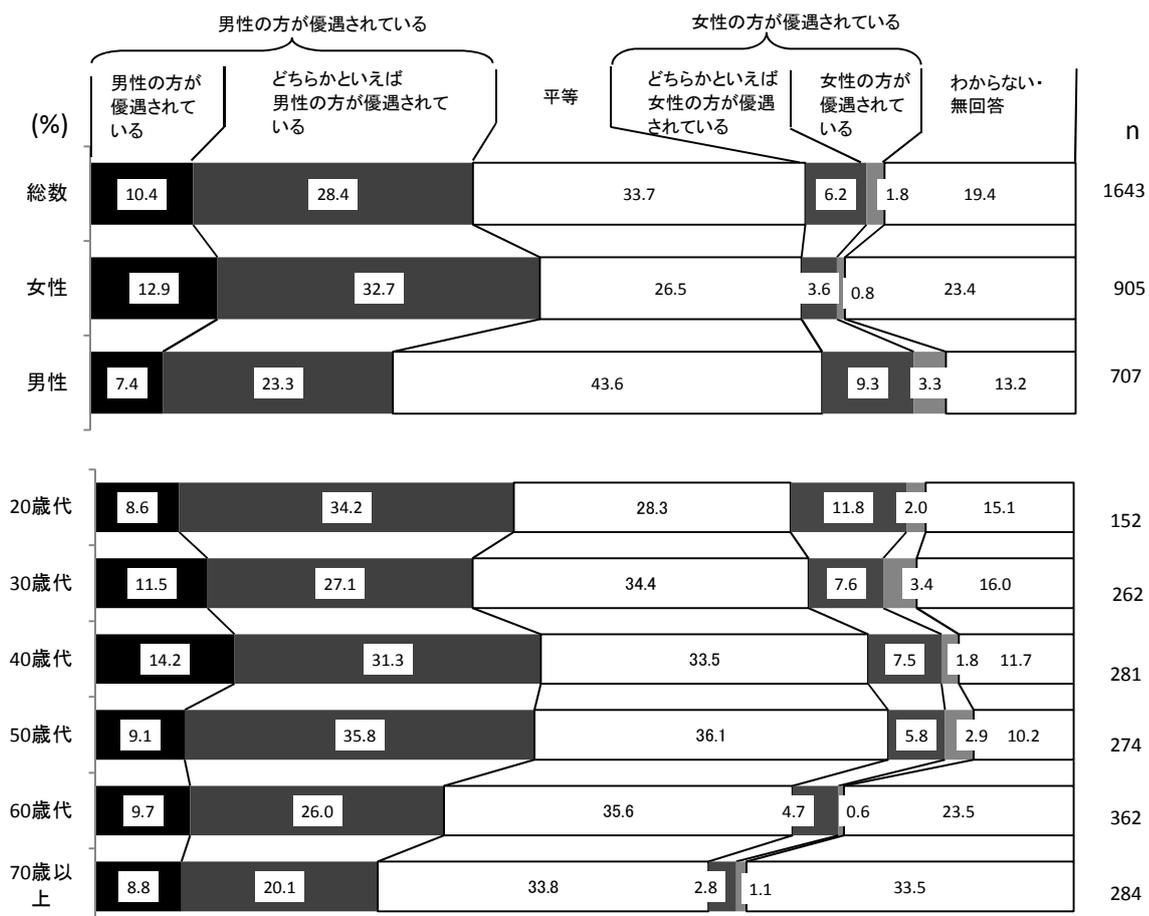
### 【性・年齢別】

性別に見ると、「男性の方が優遇されている」と回答した人の割合は、男性 (30.7%) より女性 (45.6%) の方が大幅に高くなっている。

年齢別に見ると、「男性の方が優遇されている」と回答した人の割合は、40 歳代 (45.5%)、50 歳代 (44.9%) で高くなっている。

図1-12 男女の地位の平等感(F 法律や制度)

【総数、性別、年齢別】

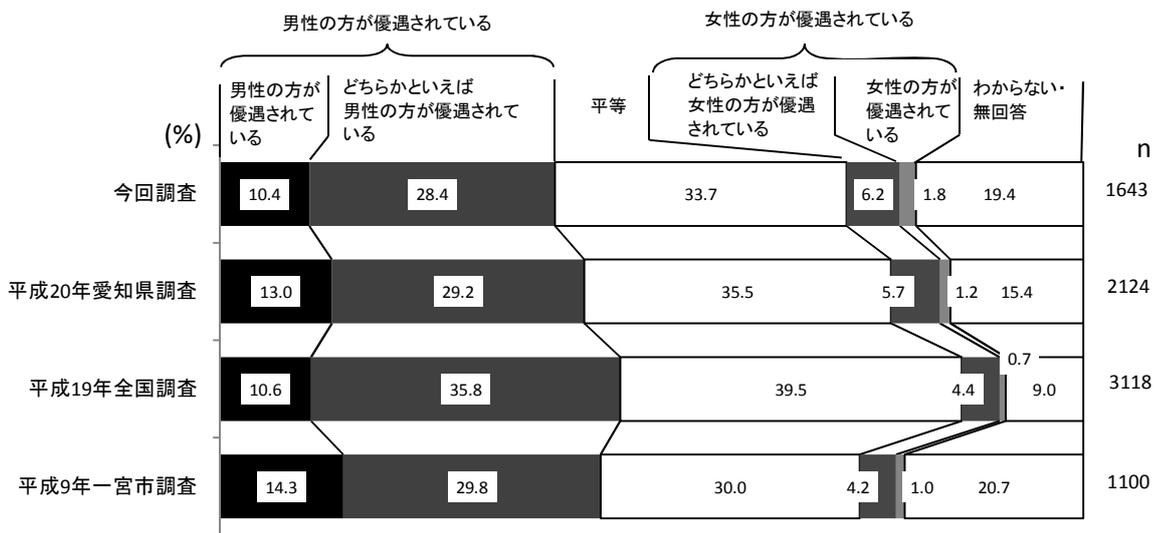


【他調査との比較】

愛知県調査とは、ほぼ同様の結果となっているが、全国調査と比較すると、「男性の方が優遇されている」、「平等」ともに、回答した人の割合はやや低くなっている。また、「わからない」と回答した人や「無回答」の割合が高くなっている。前回調査と比較すると、「男性の方が優遇されている」と回答した人の割合がやや低くなり、「平等」と回答した人の割合がやや高くなっている。

図1-13 男女の地位の平等感(F 法律や制度)

【他調査との比較】



### G 「社会通念・慣習・しきたりなど」

「男性の方が優遇されている」と回答した人の割合は70.6%と高くなっている。また、「平等」と回答した人の割合は12.1%、「女性の方が優遇されている」と回答した人の割合は3.8%と低くなっている。

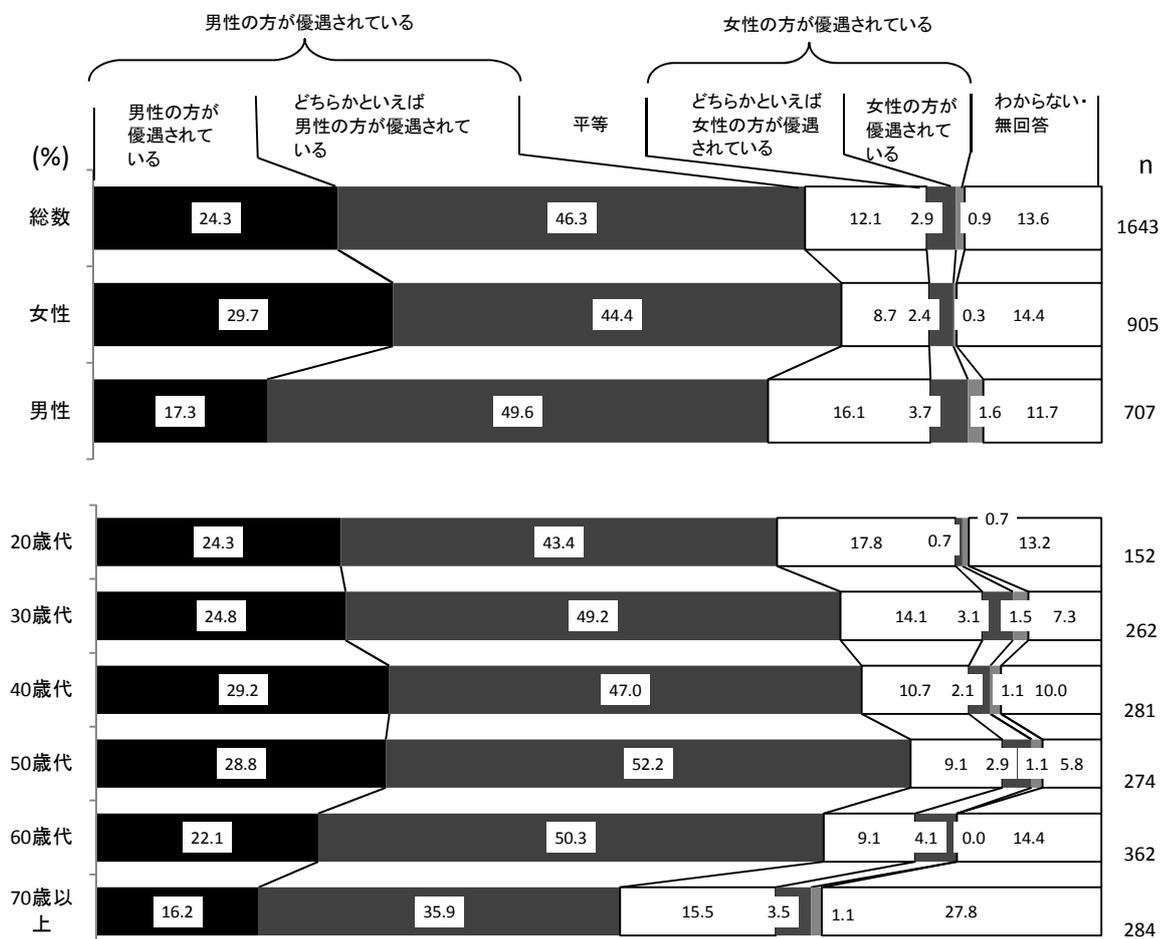
#### 【性・年齢別】

性別に見ると、「男性の方が優遇されている」と回答した人の割合は、男性（66.9%）より女性（74.1%）の方が大幅に高くなっている。

年齢別に見ると、「男性の方が優遇されている」と回答した人の割合は、40歳代（76.2%）、50歳代（81.0%）で高くなっている。

図1-14 男女の地位の平等感(G 社会通念・慣習・しきたりなど)

【総数、性別、年齢別】

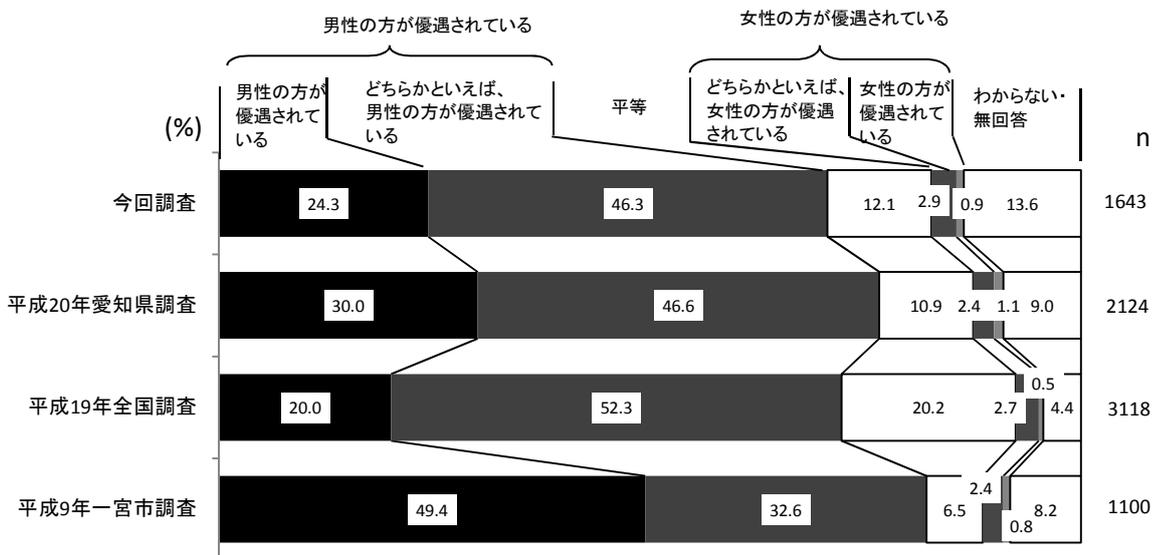


【他調査との比較】

愛知県調査とは、ほぼ同様の結果となっているが、全国調査と比較すると、「平等」と回答した人の割合は低くなっている。また、「わからない」と回答した人や「無回答」の割合が高くなっている。前回調査と比較すると、「男性の方が優遇されている」と回答した人の割合は低くなっており、「平等」と回答した人の割合は高くなっている。

図1-15 男女の地位の平等感(G 社会通念・慣習・しきたりなど)

【他調査との比較】



## H 「社会全体としてみた場合」

「男性の方が優遇されている」と回答した人の割合は70.1%と高くなっている。また、「平等」と回答した人の割合は13.3%、「女性の方が優遇されている」と回答した人の割合は4.8%と低くなっている。

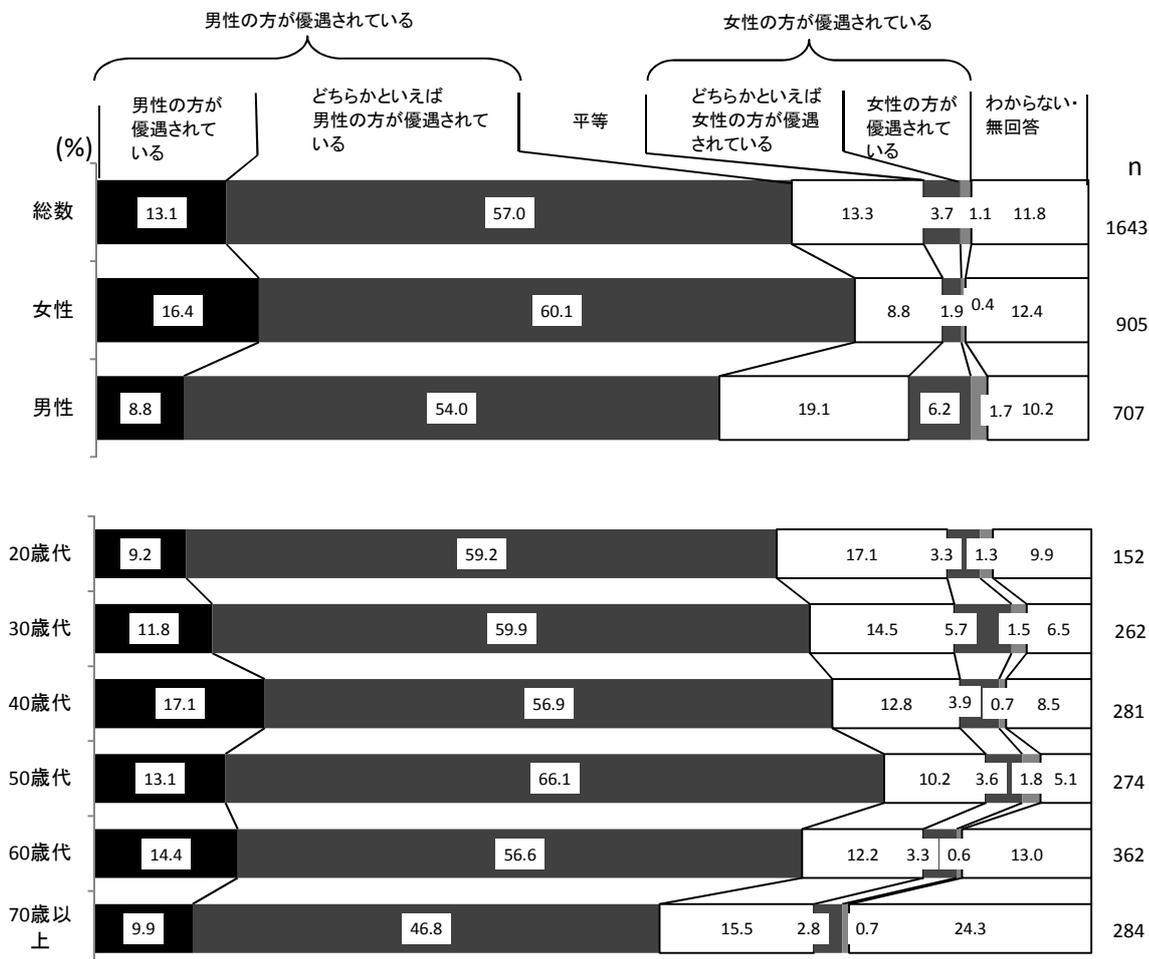
### 【性・年齢別】

性別に見ると、「男性の方が優遇されている」と回答した人の割合は、男性（62.8%）より女性（76.5%）の方が大幅に高くなっている。

年齢別に見ると、「男性の方が優遇されている」と回答した人の割合は、50歳代（79.2%）で最も高くなっている。

図1-16 男女の地位の平等感(H 社会全体としてみた場合)

【総数、性別、年齢別】

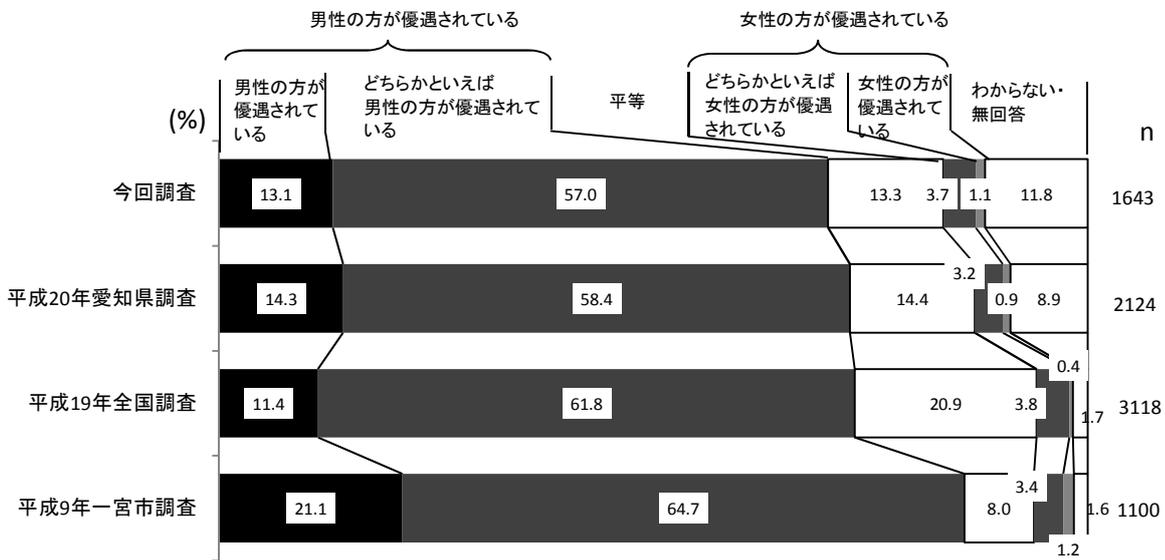


【他調査との比較】

愛知県調査とは、ほぼ同様の結果となっているが、全国調査と比較すると、「男性の方が優遇されている」と回答した人の割合はほぼ同じだが、「平等」と回答した人の割合は低くなっている。また、前回調査と比較すると、「男性の方が優遇されている」と回答した人の割合は低くなっており、「平等」と回答した人の割合は高くなっている。

図1-17 男女の地位の平等感(H 社会全体としてみた場合)

【他調査との比較】



## 2 男女の地位について、最も平等または不平等だと思う分野

最も平等だと回答した人の割合は、「学校教育の場」(41.7%)で最も高く、次いで「家庭生活」(14.2%)、「法律や制度」(12.9%)の順となっている。

最も不平等だと回答した人の割合は、「社会通念・慣習・しきたりなど」(29.1%)で最も高く、次いで「職場」(20.1%)、「政治の場」(12.7%)の順となっている。

### 【性・年齢別】

性別に見ると、「法律や制度」を最も平等であると回答した人の割合は、男性より女性のほうが低くなっており、「家庭生活」を最も不平等であると回答した人の割合は、男性より女性のほうが高くなっている。

年齢別に見ると、「家庭生活」を最も平等であると回答した人の割合は、20歳代、30歳代で高くなっており、「社会通念・慣習・しきたりなど」を最も不平等であると回答した人の割合は、40歳代、50歳代で特に高くなっている。

図2-1 男女の地位が最も平等

【総数、性別、年齢別】

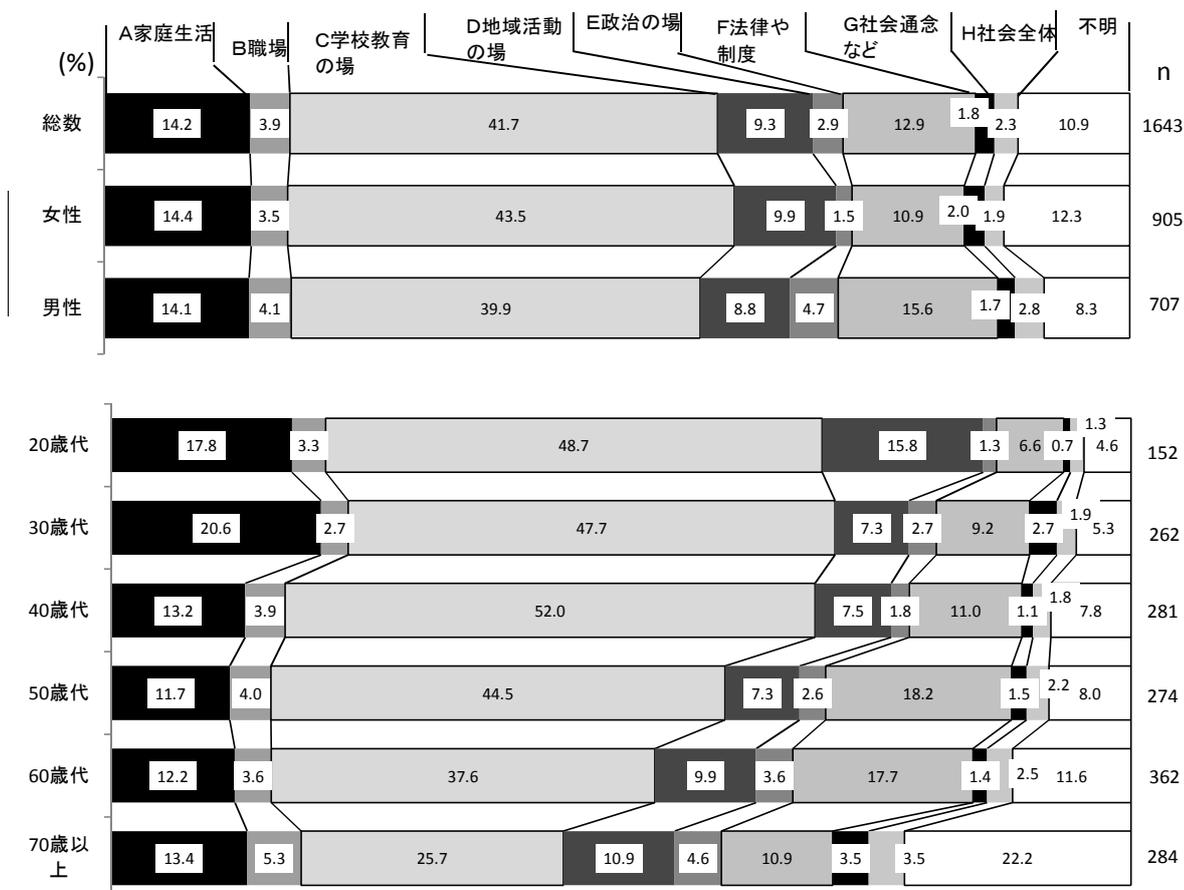
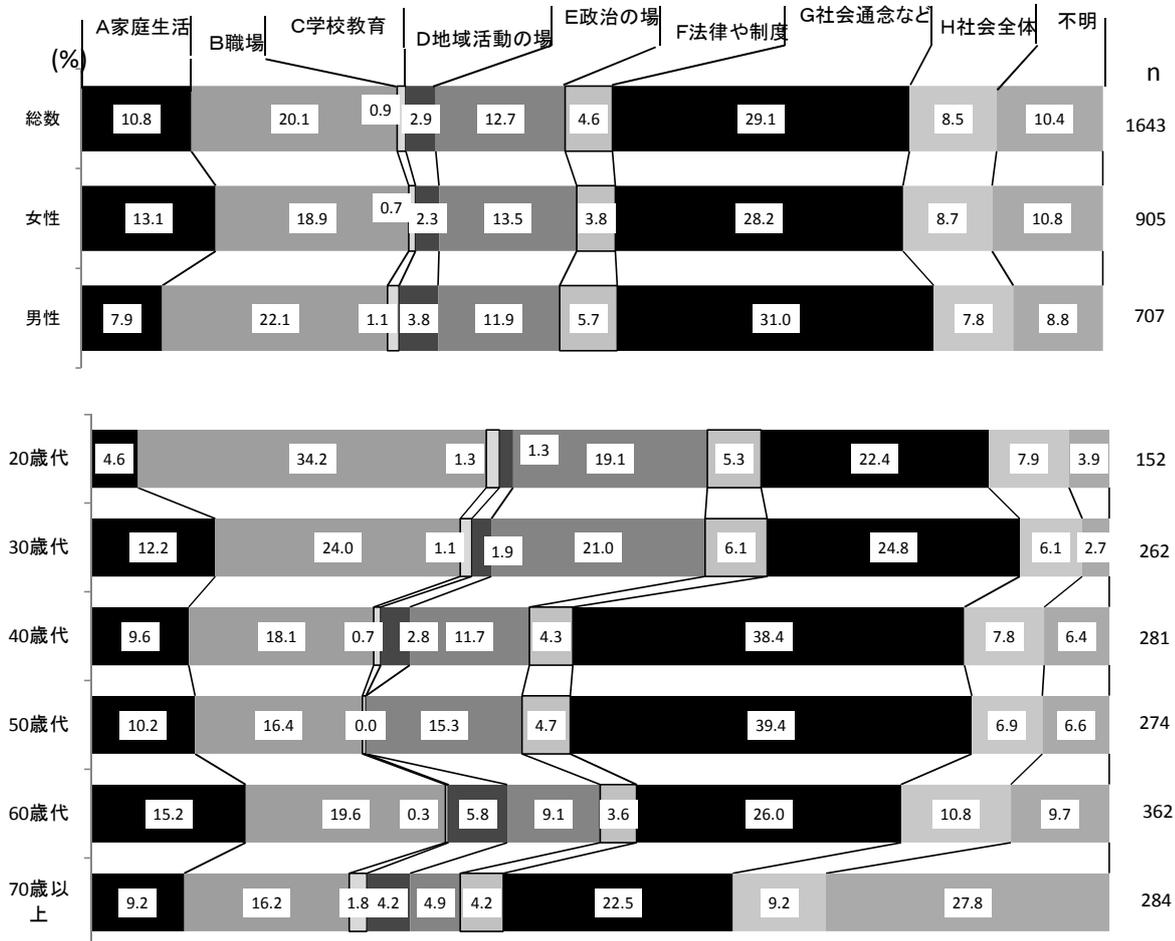


図2-2 男女の地位が最も不平等

【総数、性別、年齢別】



### 3 男女が社会のあらゆる分野で平等になるために必要なこと（複数回答）

「女性を取り巻くさまざまな偏見や、社会通念・慣習・しきたりなどを改める」と回答した人の割合が54.7%と最も高く、次いで「女性の就業・社会参加を支援する施設やサービスの充実を図る」（40.8%）、「行政や企業などの重要な役職に、女性を積極的に登用する制度を採用・充実する」（36.4%）の順となっている。

#### 【性・年齢別】

性別に見ると、回答した人の割合は、ほとんどの項目で男性より女性の方が高く、特に「女性の就業・社会参加を支援する施設やサービスの充実を図る」と回答した人の割合は、女性の方が大幅に高くなっている。

年齢別に見ると、「女性を取り巻くさまざまな偏見や、社会通念・慣習・しきたりなどを改める」については、20歳代、50歳代で高くなっており、70歳以上で低くなっている。「女性の就業・社会参加を支援する施設やサービスの充実を図る」については、他の年齢層に比して70歳以上で低くなっている。「女性自身が経済力をつけたり、知識・技術の習得など積極的に力の向上を図る」については、他に年齢に比して20歳代、30歳代で低くなっている。他の項目については、年齢による差は見られない。

図3-1 男女が社会のあらゆる分野で平等になるために必要なこと

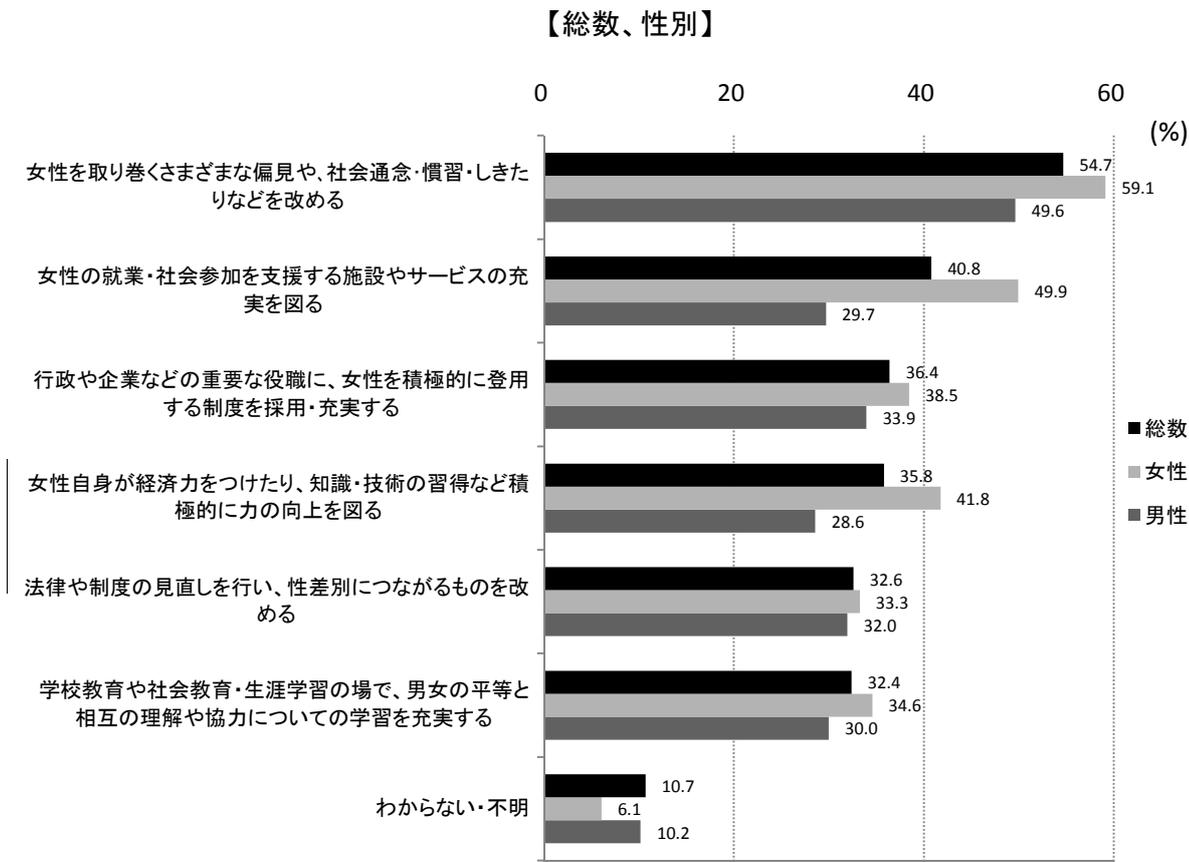
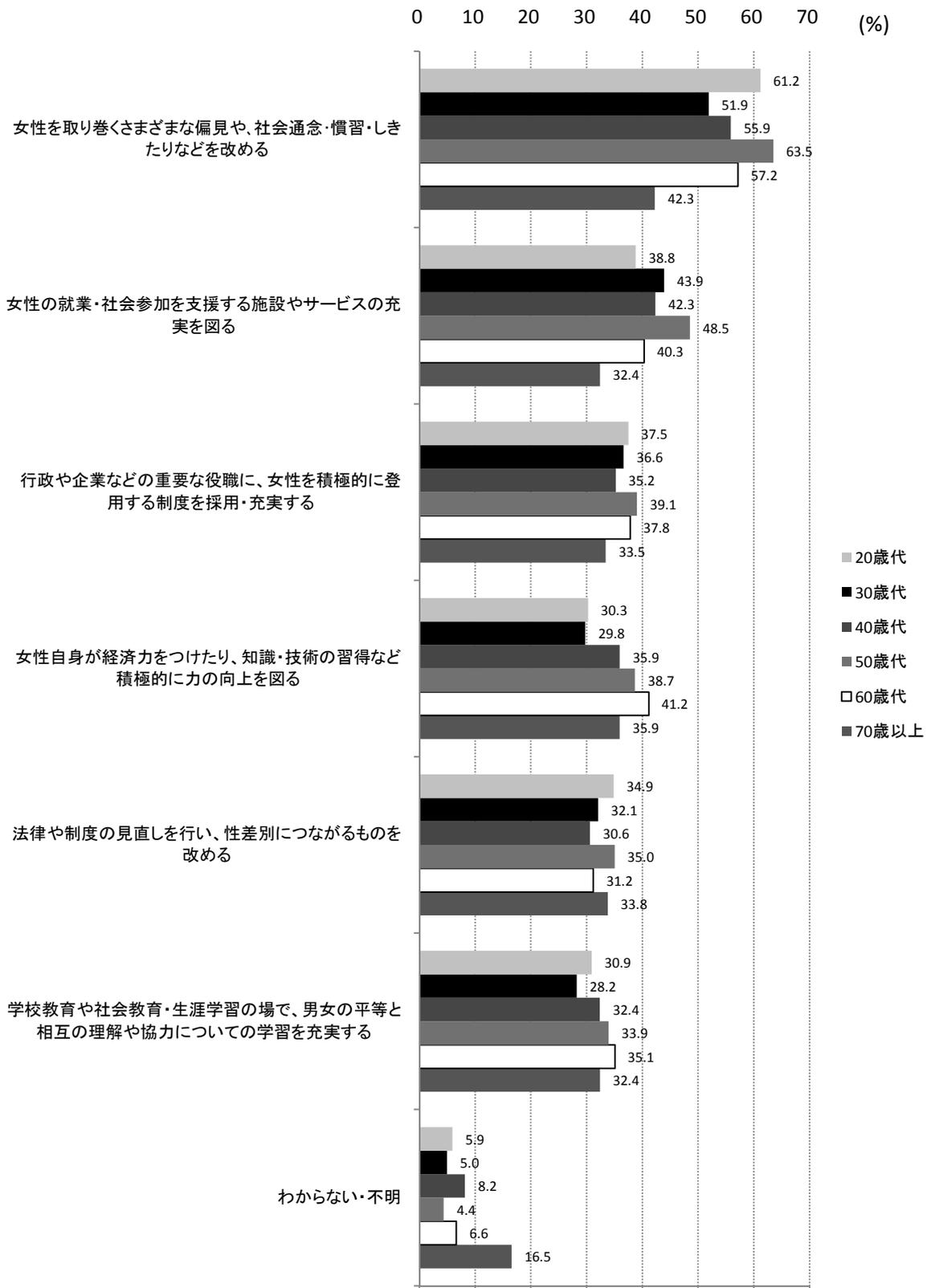


図3-2 男女が社会のあらゆる分野で平等になるために必要なこと

【年齢別】



## <結婚、家庭・地域生活に関する意識について>

### 4 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」という考え方

「賛成」（「賛成」＋「どちらかといえば賛成」以下同じ）と回答した人の割合は 52.3%、「反対」（「反対」＋「どちらかといえば反対」以下同じ）と回答した人の割合は 35.9%と、「賛成」が「反対」を上回っている。

#### 【性・年齢別】

性別に見ると、「賛成」と回答した人の割合は女性より男性の方が高く、「反対」と回答した人の割合は男性(30.4%)より女性(40.8%)の方が高くなっている。

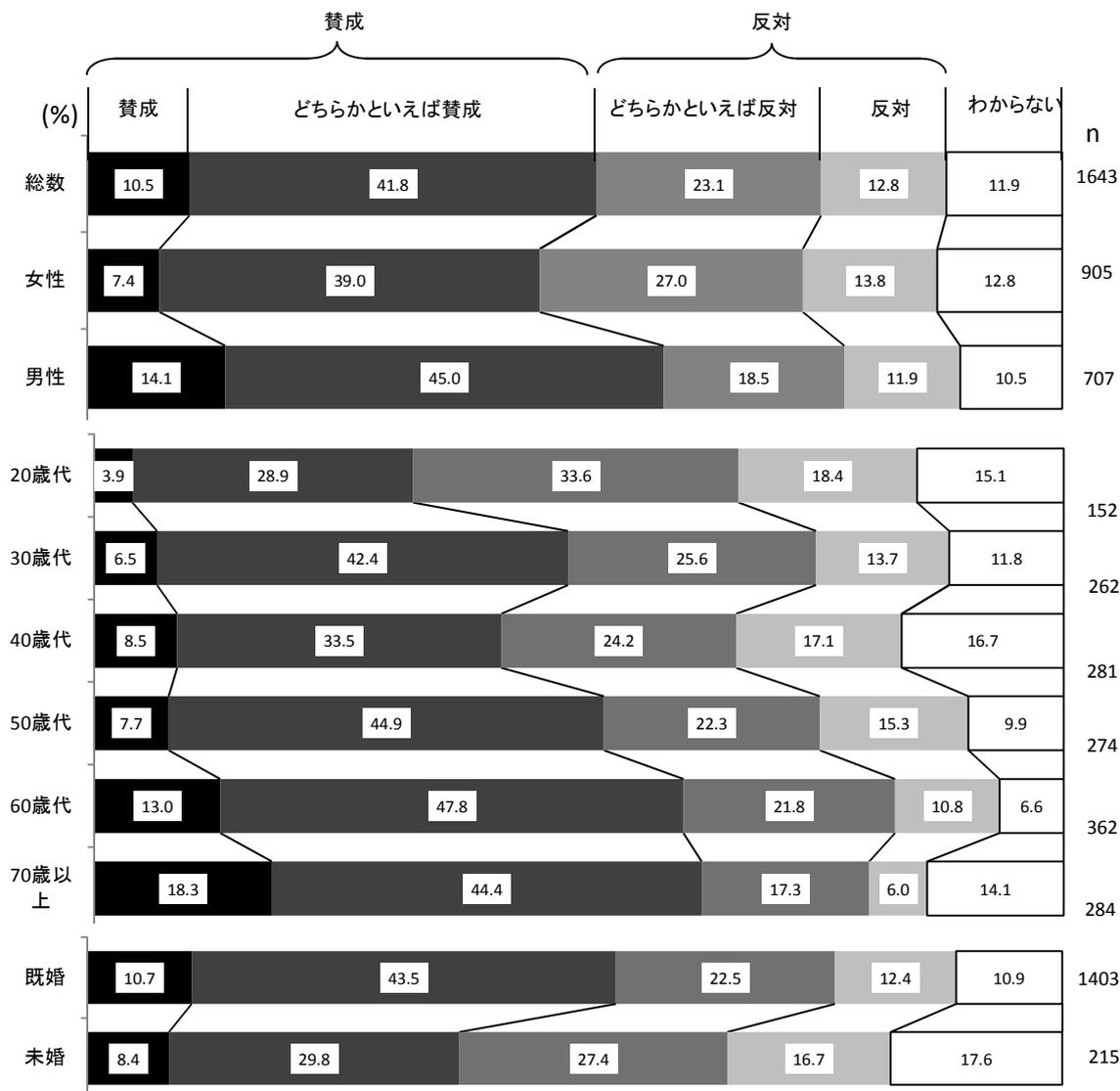
年齢別に見ると、「賛成」と回答した人の割合は、60歳代(60.8%)、70歳以上(62.7%)で高くなっている。

#### 【既婚・未婚別】

既婚・未婚別に見ると、既婚者では、「賛成」と回答した人（54.2%）の割合が「反対」と回答した人（34.9%）の割合を上回っており、未婚者では、「反対」と回答した人（44.1%）の割合が「賛成」と回答した人（38.2%）の割合を上回っている。

図4-1 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」という考え方

【総数、性別、年齢別】

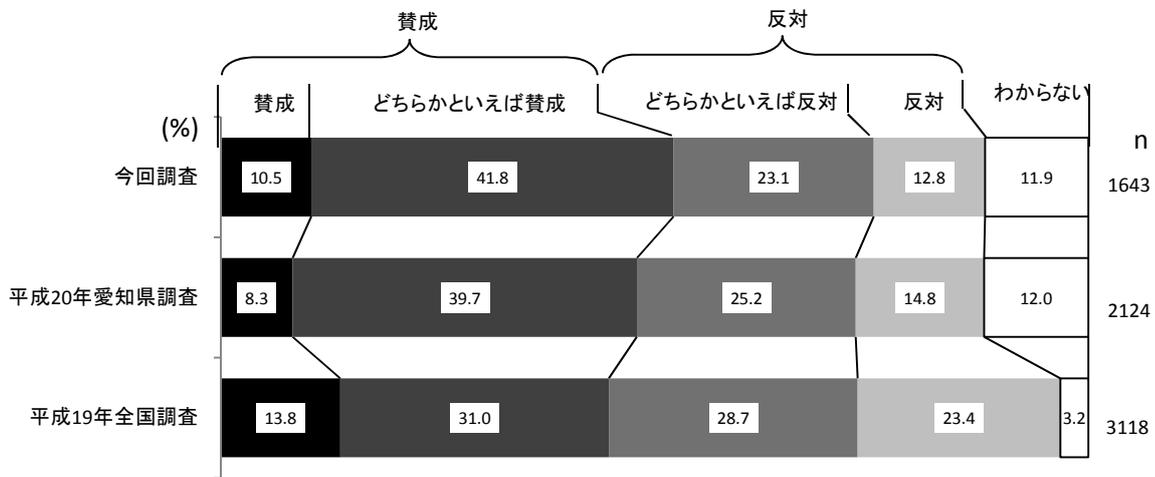


**【他調査との比較】**

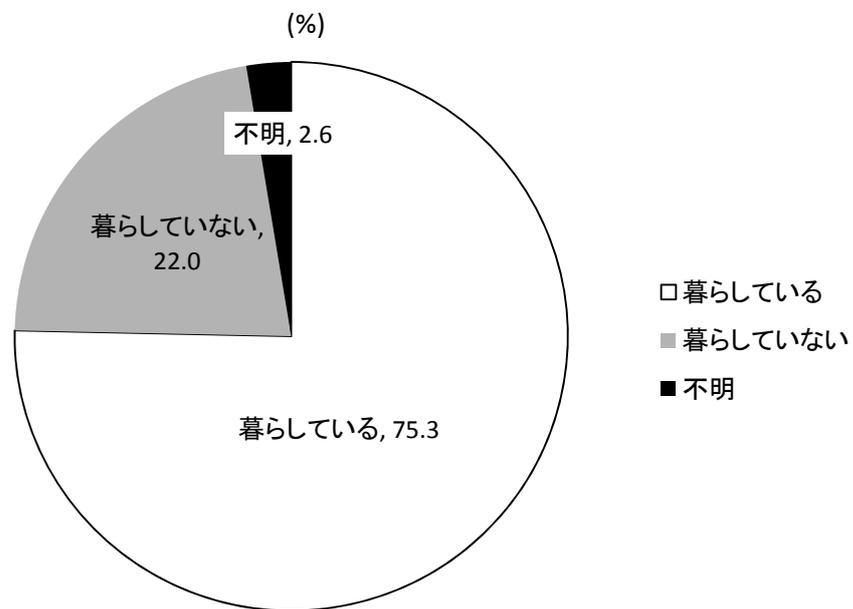
愛知県調査とは、ほぼ同様の結果となっているが、全国調査と比較すると、「賛成」と回答した人の割合は、やや高くなっており、「反対」と回答した人の割合は低くなっている。

図4-2 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」という考え方

**【他調査との比較】**



5 現在、配偶者(またはパートナー)と暮らしていますか

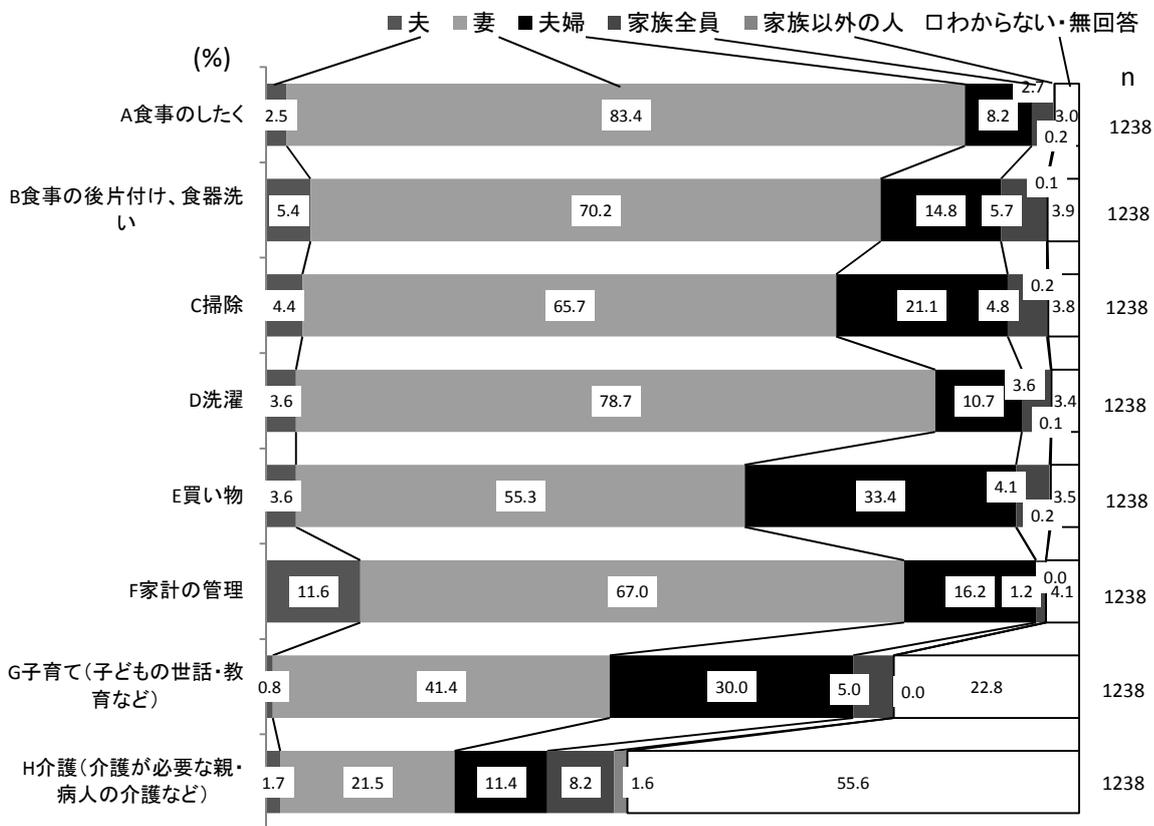


## 6 家庭における家事分担

配偶者（またはパートナー）と暮らしている人に聞いたところ、8つの項目について、「妻」と回答した人の割合は、「食事のしたく」（83.4%）が最も高く、次いで「洗濯」（78.7%）、「食事の後片づけ、食器洗い」（70.2%）、「家計の管理」（67.0%）、「掃除」（65.7%）の順に高くなっている。また、「買い物」と「子育て」については、「夫婦」と回答した人の割合がやや高くなっている。

図6-1 家庭における家事分担

【項目別】



## A 「食事のしたく」

「妻」と回答した人の割合が 83.4%と高くなっている。また、「夫婦」と回答した人の割合は 8.2%、「家族全員」と回答した人の割合は 2.7%、「夫」と回答した人の割合は 2.5%と低くなっている。

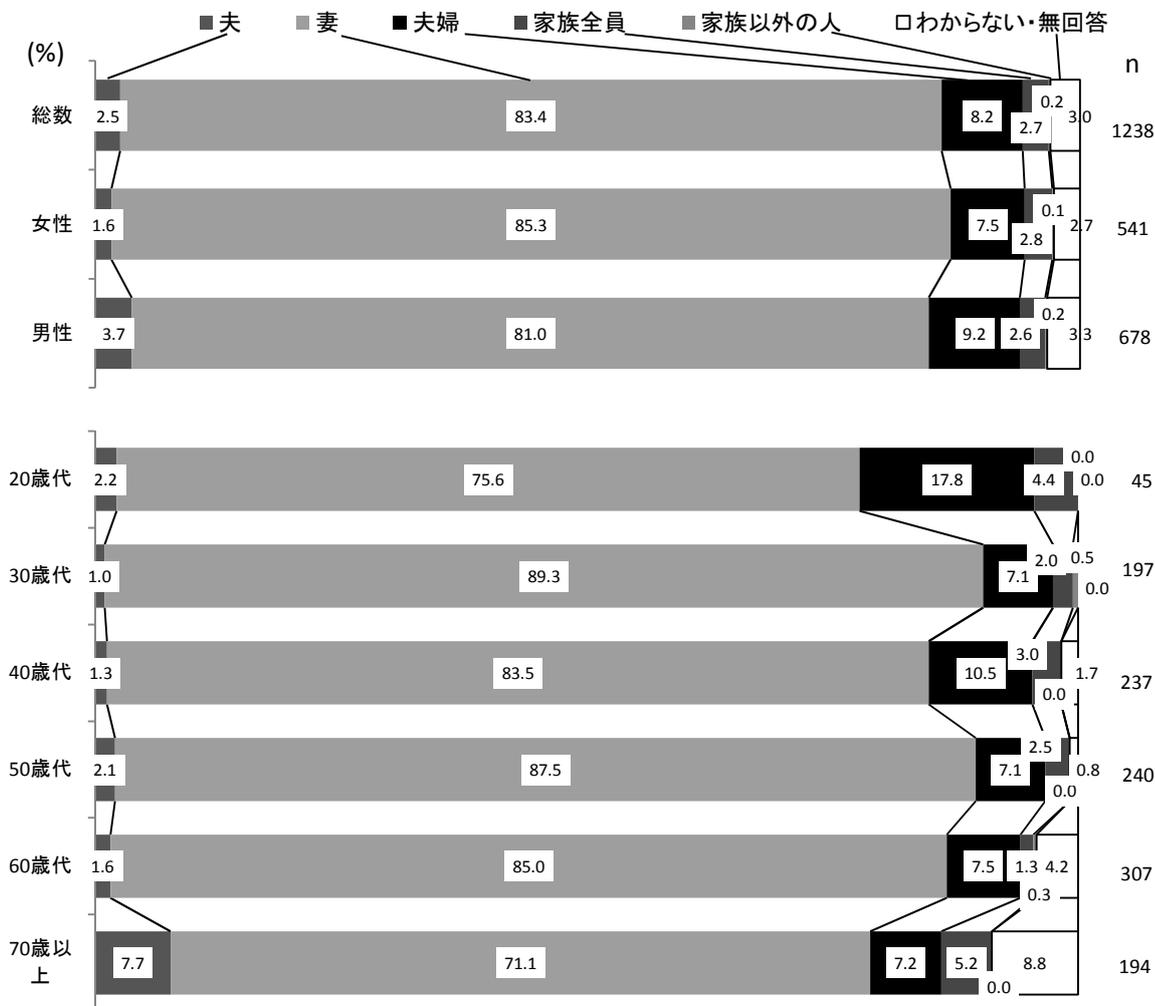
### 【性・年齢別】

性別に見ると、大きな差異は見られない。

年齢別に見ると、「夫婦」と回答した人の割合は、20歳代で高くなっている。

図6-2 家庭における家事分担(A 食事のしたく)

【総数、性別、年齢別】



## B 「食事の後片づけ、食器洗い」

「妻」と回答した人の割合が 70.2%と高くなっている。また、「夫婦」と回答した人の割合は 14.8%、「家族全員」と回答した人の割合は 5.7%、「夫」と回答した人の割合は 5.4%と低くなっている。

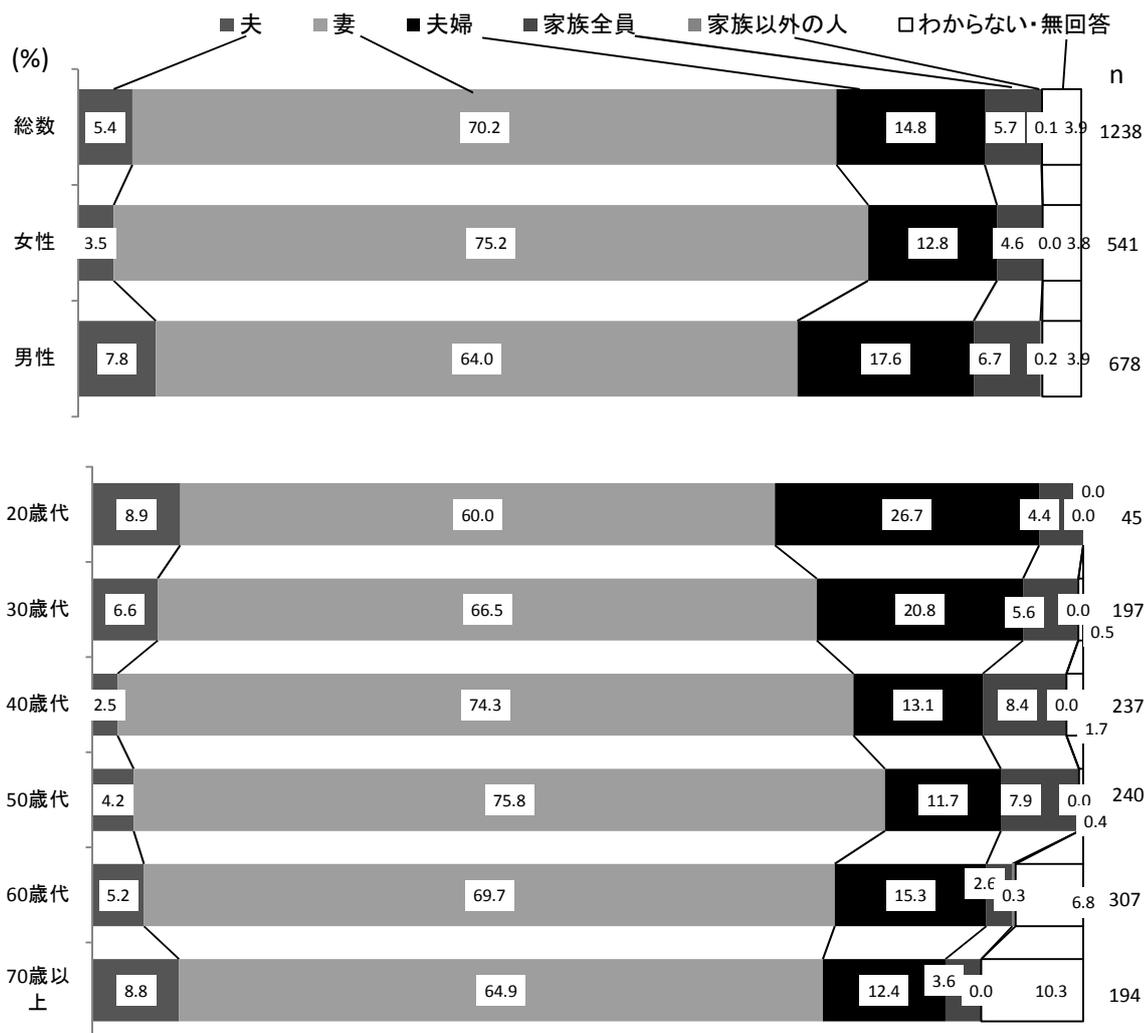
### 【性・年齢別】

性別に見ると、「妻」と回答した人の割合は男性より女性の方が高く、「夫婦」と回答した人の割合は、女性より男性の方が高くなっている。

年齢別に見ると、「夫婦」と回答した人の割合は、20 歳代、30 歳代で高くなっている。

図6-3 家庭における家事分担(B 食事の後片づけ、食器洗い)

【総数、性別、年齢別】



### C 「掃除」

「妻」と回答した人の割合が 65.7%と高くなっている。また、「夫婦」と回答した人の割合は 21.1%、「家族全員」と回答した人の割合は 4.8%、「夫」と回答した人の割合は 4.4%と低くなっている。

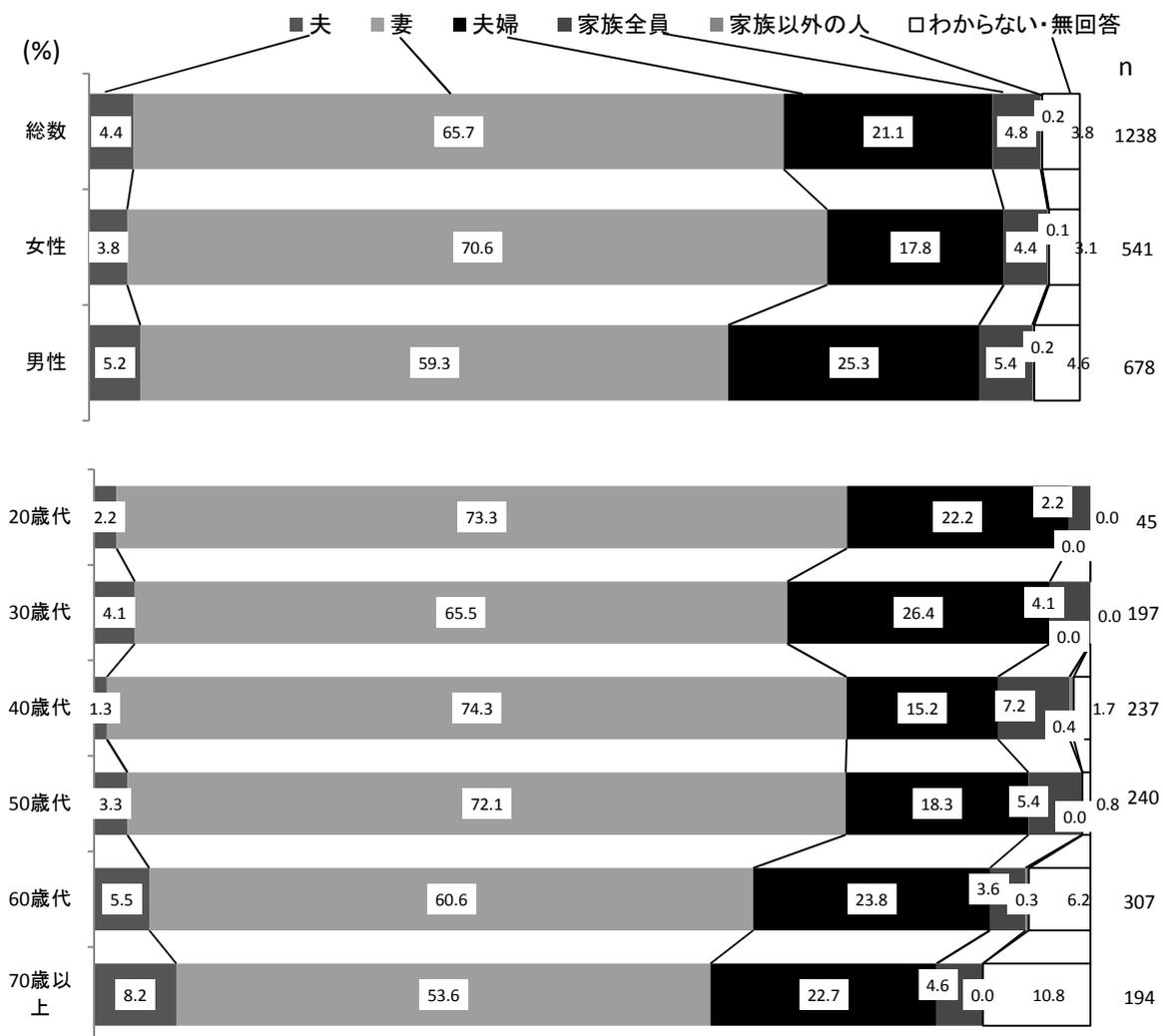
#### 【性・年齢別】

性別に見ると、「妻」と回答した人の割合は男性より女性の方が高く、「夫婦」と回答した人の割合は、女性より男性の方が高くなっている。

年齢別に見ると、「夫婦」と回答した人の割合は、40歳代、50歳代で低くなっている。

図6-4 家庭における家事分担(C 掃除)

【総数、性別、年齢別】



### D 「洗濯」

「妻」と回答した人の割合が 78.7%と高くなっている。また、「夫婦」と回答した人の割合は 10.7%、「家族全員」と回答した人の割合は 3.6%、「夫」と回答した人の割合は 3.6%と低くなっている。

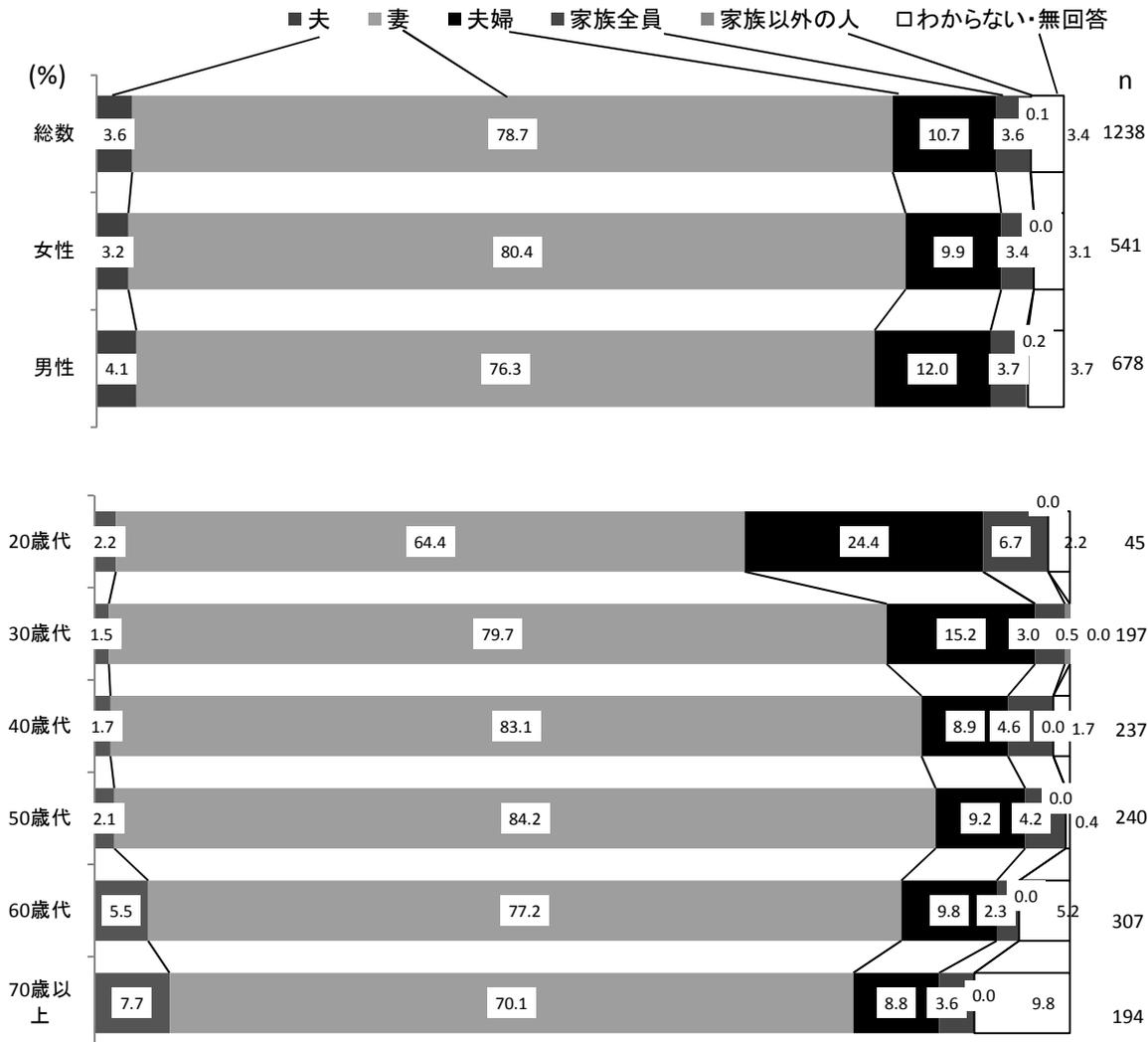
#### 【性・年齢別】

性別に見ると、大きな差異は見られない。

年齢別に見ると、「夫婦」と回答した人の割合は、20 歳代、30 歳代で高くなっている。

図6-5 家庭における家事分担(D 洗濯)

【総数、性別、年齢別】



## E 「買い物」

「妻」と回答した人の割合は 55.3%と高く、次いで、「夫婦」と回答した人の割合は 33.4%と高くなっている。また、「家族全員」と回答した人の割合は 4.1%、「夫」と回答した人の割合は 3.6%と低くなっている。

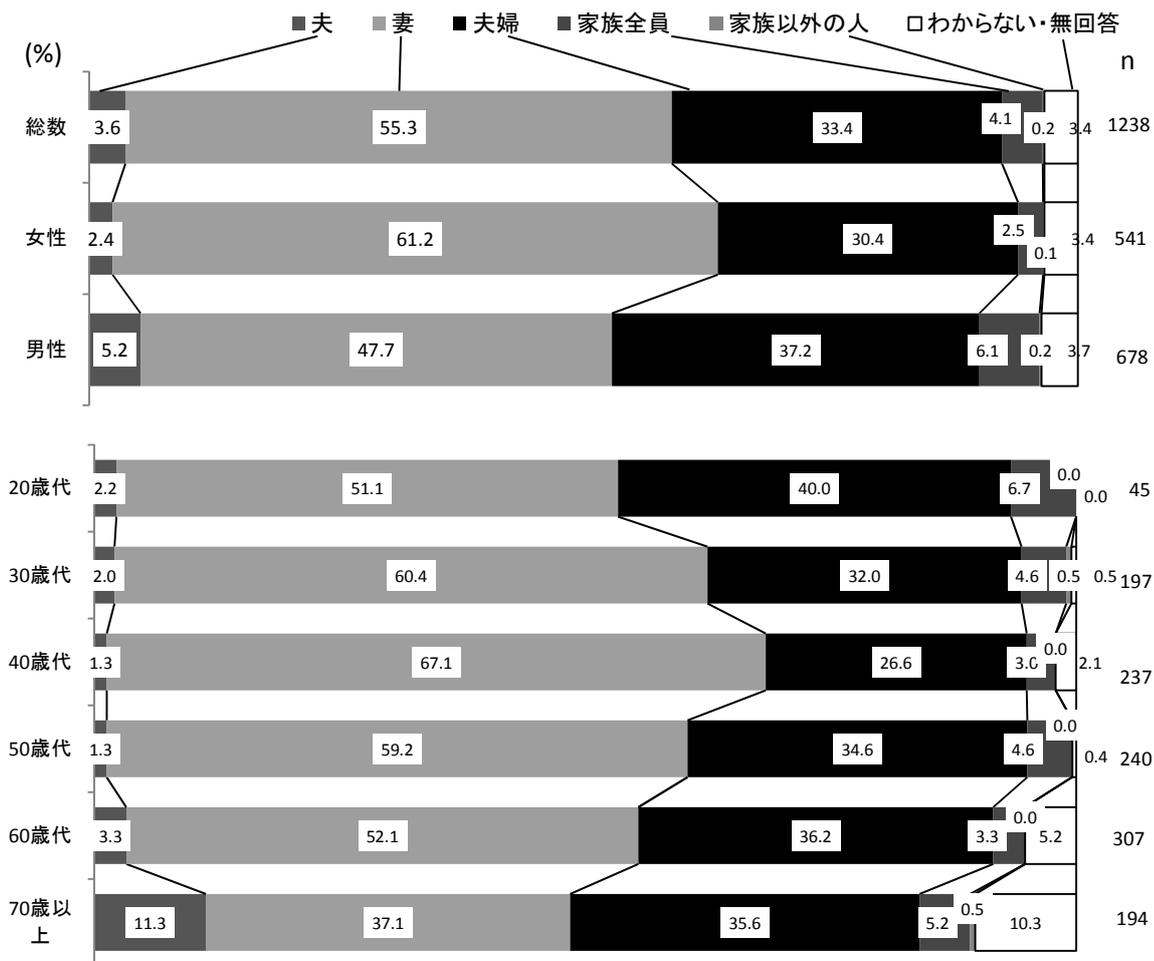
### 【性・年齢別】

性別に見ると、「妻」と回答した人の割合は男性より女性の方が高く、「夫婦」と回答した人の割合は、女性より男性の方が高くなっている。

年齢別に見ると、「夫婦」と回答した人の割合は、20歳代で高くなっている。

図6-6 家庭における家事分担(E 買い物)

【総数、性別、年齢別】



F 「家計の管理」

「妻」と回答した人の割合が 67.0%と高くなっている。また、「夫婦」と回答した人の割合は 16.2%、「夫」と回答した人の割合は 11.6%と低くなっている。

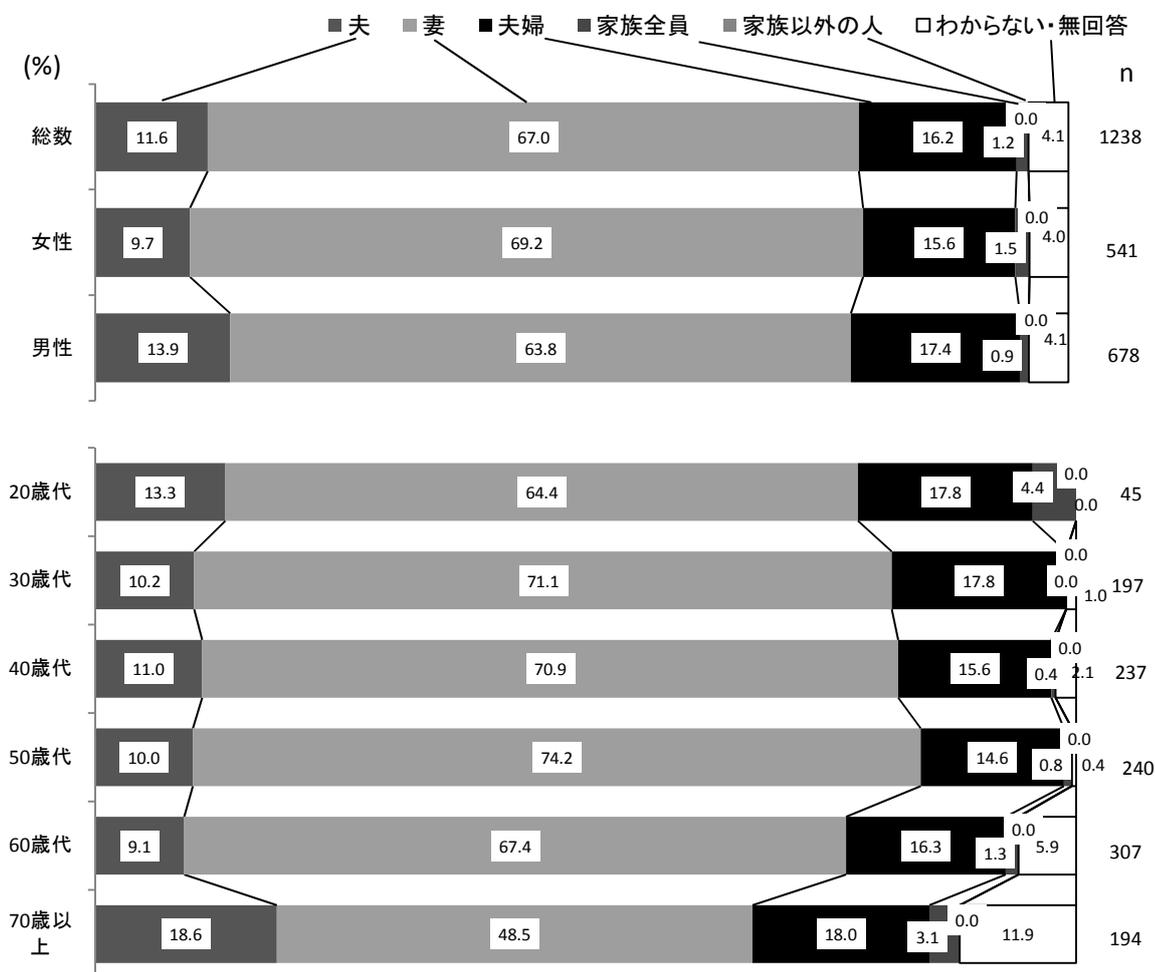
【性・年齢別】

性別に見ると、大きな差異は見られない。

年齢別に見ると、「夫」と回答した人の割合は、70歳以上で高くなっている。

図6-7 家庭における家事分担(F 家計の管理)

【総数、性別、年齢別】



### G 「子育て（子どもの世話・教育など）」

未婚の子どもがいる人のうち、「妻」と回答した人の割合が 45.1%と高く、次いで「夫婦」と回答した人の割合は 33.5%となっている。また、「夫」と回答した人の割合は 0.5%と低くなっている。

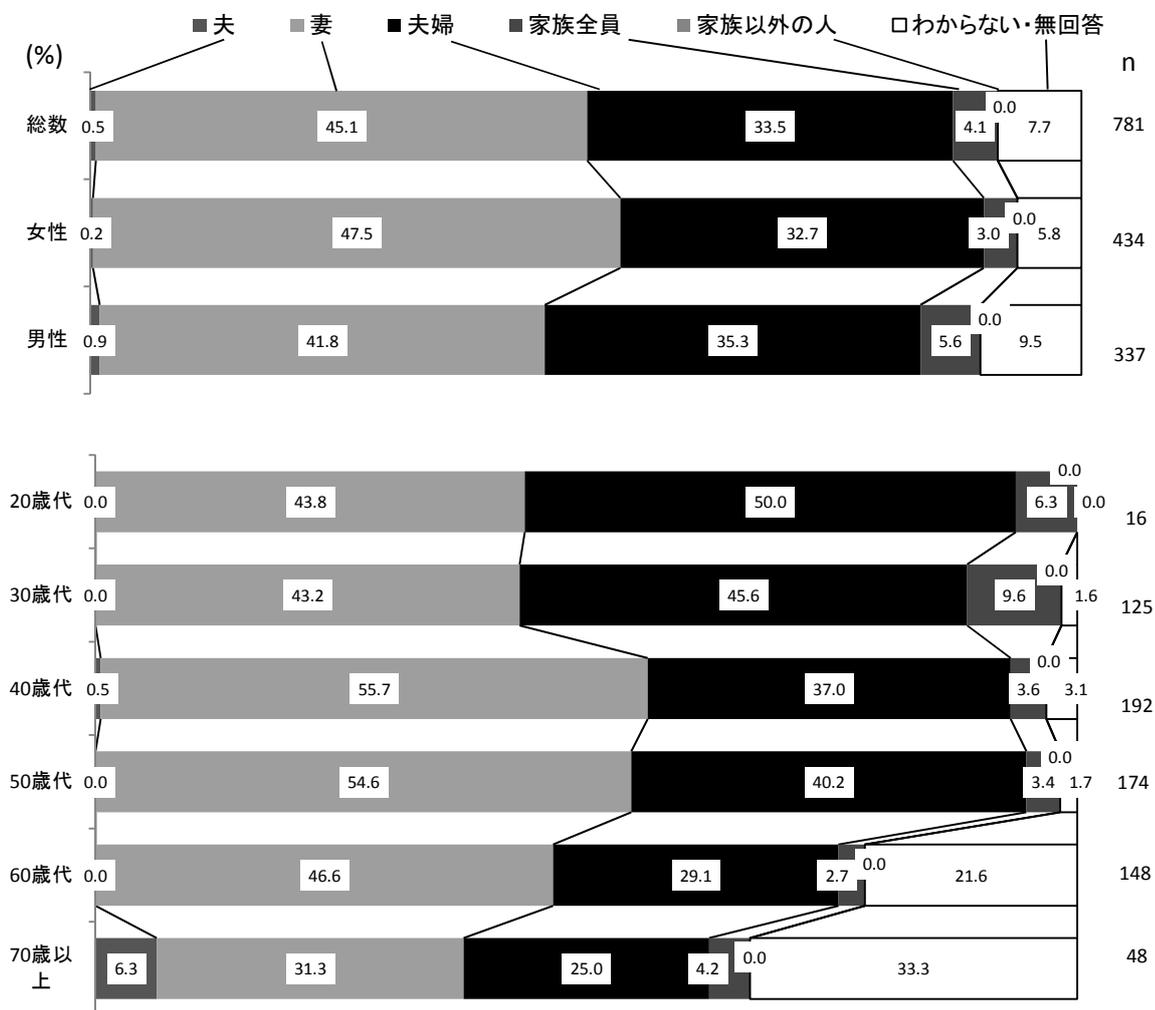
#### 【性・年齢別】

性別に見ると、「妻」と回答した人の割合は男性より女性の方が高く、「夫婦」と回答した人の割合は、女性より男性の方が高くなっている。

年齢別に見ると、「夫婦」と回答した人の割合は、20歳代で高くなっている。

図6-8 家庭における家事分担(G 子育て(子どもの世話・教育など))

【総数、性別、年齢別】



## H 「介護（介護が必要な親・病人の介護など）」

「妻」と回答した人の割合が21.5%と高くなっている。また、「夫婦」と回答した人の割合は11.4%、「家族全員」と回答した人の割合は8.2%、「夫」と回答した人の割合は1.7%と低くなっている。

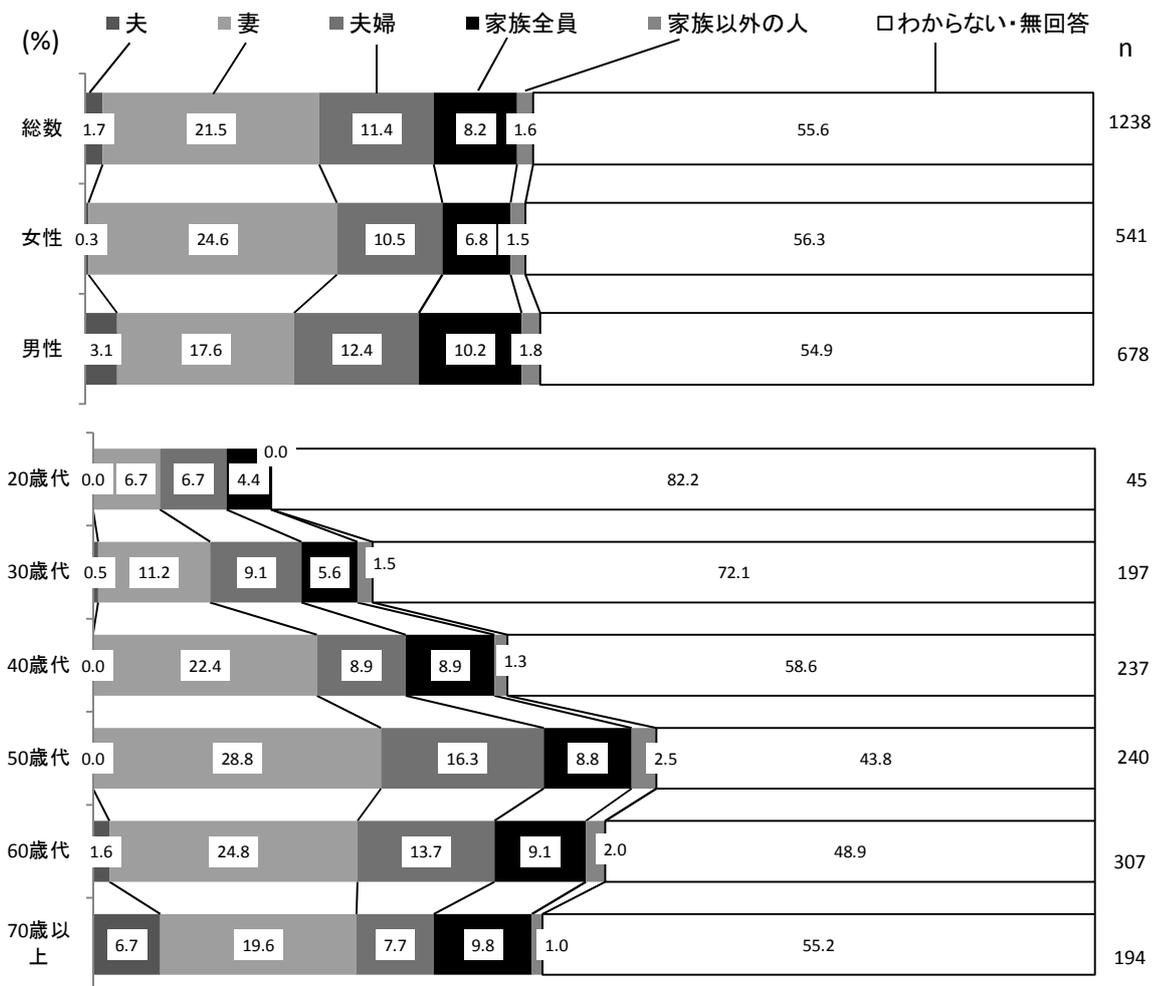
### 【性・年齢別】

性別に見ると、「妻」と回答した人の割合は、男性より女性の方が高く、「夫婦」、「家族全員」と回答した人の割合は女性より男性の方が高くなっている。

年齢別に見ると、「夫婦」と回答した人の割合は、50歳代、60歳代で高くなっている。

図6-9 家庭における家事分担  
(H 介護(介護が必要な親、病人の介護など))

【総数、性別、年齢別】



## 7 仕事、家庭生活、地域・個人の生活への関わり方

「仕事と家庭生活をともに優先している」と回答した人の割合が 25.9%と最も高く、次いで「家庭生活を優先している」(25.2%)、「仕事を優先している」(15%) の順となっている。

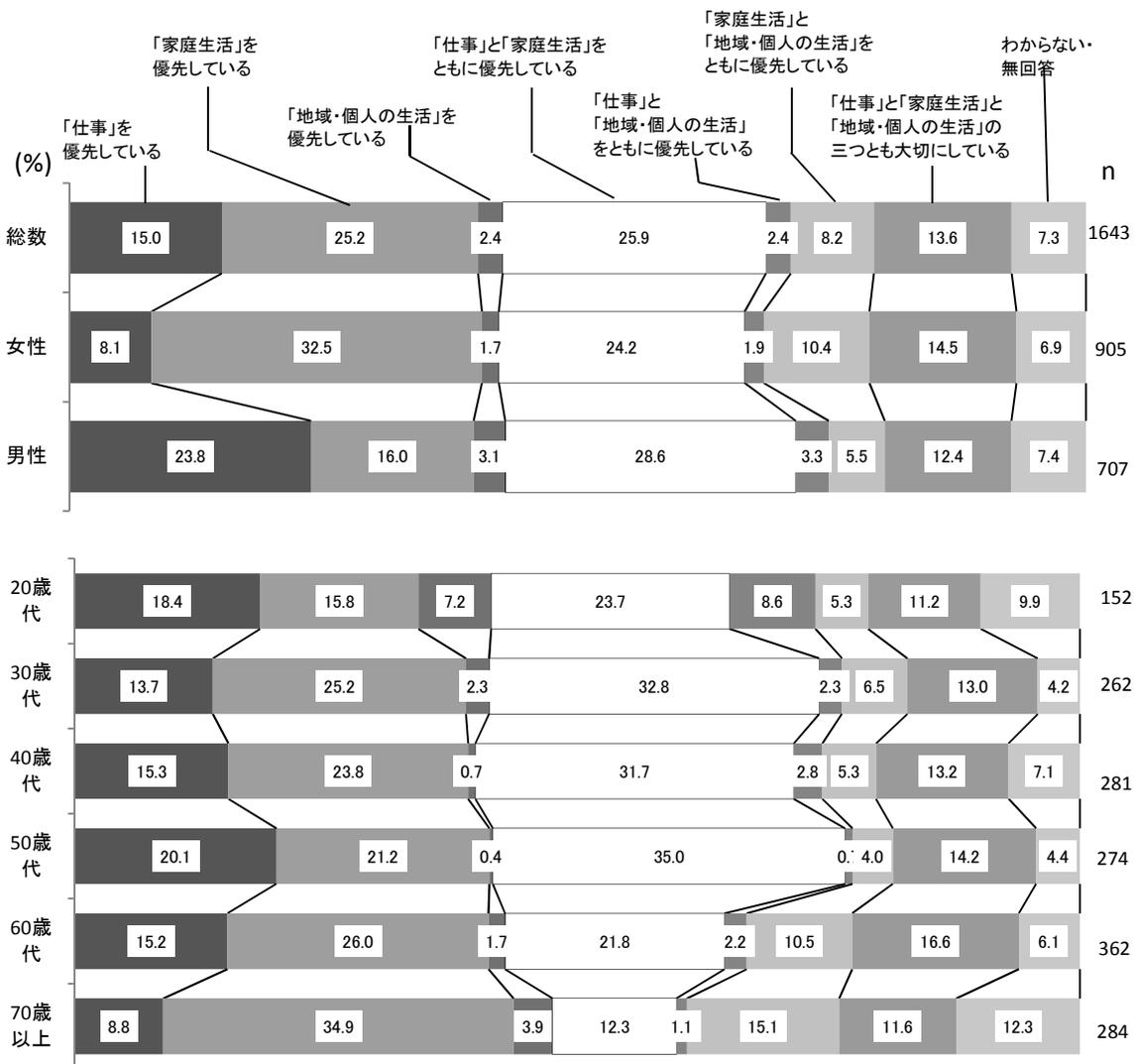
### 【性・年齢別】

性別に見ると、「家庭生活を優先している」と回答した人の割合は、男性より女性の方が大幅に高くなっているのに対し、「仕事を優先している」と回答した人の割合は、女性より男性の方が大幅に高くなっている。

年齢別に見ると、「仕事と家庭生活をともに優先している」と回答した人の割合は、30 歳代、40 歳代、50 歳代で高くなっている。

図7-1 仕事、家庭生活、地域・個人の生活への関わり方

【総数、性別、年齢別】

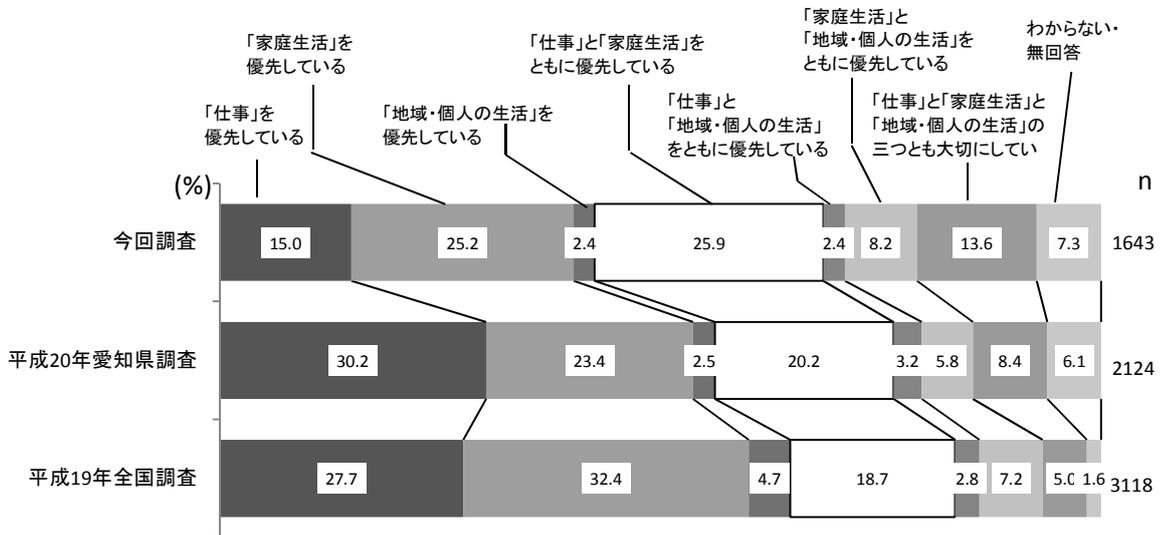


【他調査との比較】

他調査と比較すると、「仕事を優先している」と回答した人の割合は低くなっており、「仕事と家庭生活をともに優先している」と回答した人の割合は高くなっている。

図7-2 仕事、家庭生活、地域・個人の生活への関わり方

【他調査との比較】



## 8 地域活動への参加経験

「地域活動への参加経験がある」（「現在参加している」＋「かつて参加していたが現在は中止している」以下同じ）と回答した人の割合は56.0%となっている。また、「参加したことはない」と回答した人の割合は41.6%となっている。

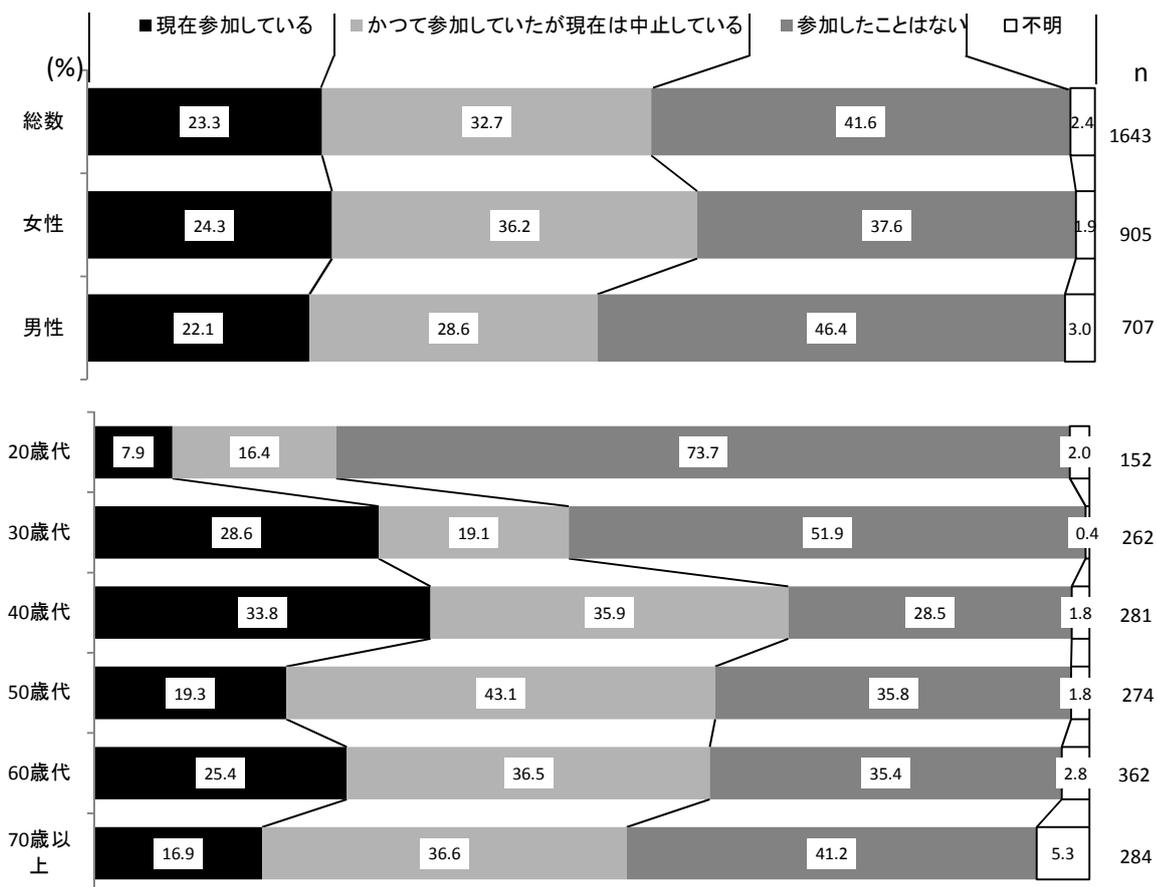
### 【性・年齢別】

性別に見ると、「地域活動への参加経験がある」と回答した人の割合は、男性（50.7%）より女性（60.5%）の方が高くなっている。

年齢別に見ると、「地域活動への参加経験がある」と回答した人の割合は、40歳代（69.7%）、50歳代（62.4%）、60歳代（61.9%）で高くなっている。また、「現在参加している」と回答した人の割合は、40歳代で最も高くなっている。

図8-1 地域活動への参加経験

【総数、性別、年齢別】

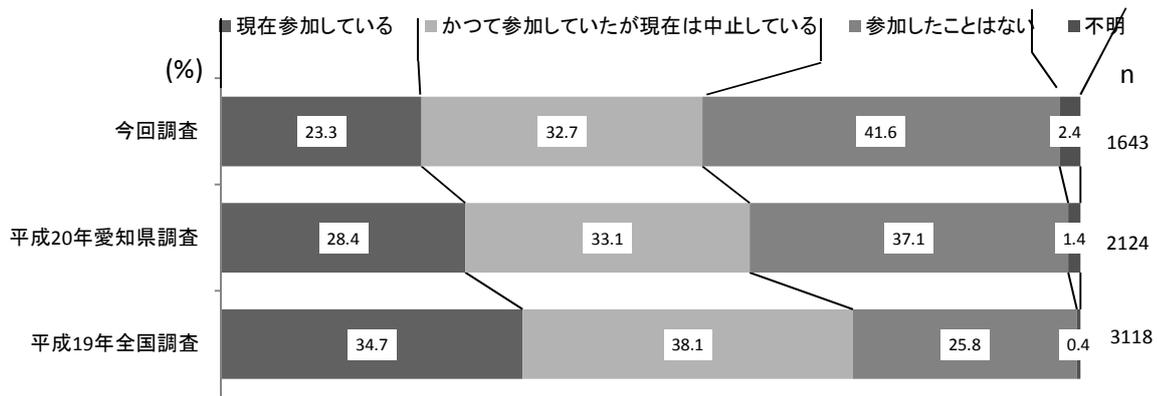


【他調査との比較】

他調査と比較すると、「地域活動への参加経験がある」と回答した人の割合は低くなっている。

図8-2 地域活動への参加経験

【他調査との比較】



## 9 今後参加したい活動（複数回答）

「教養・趣味・スポーツのサークル」と回答した人の割合は40.1%と最も高く、次いで「NPOやボランティア団体など民間の非営利活動団体」(9.7%)、「老人クラブなど高齢者の会」(7.2%)の順となっている。また、「いずれも参加したくない」と回答した人の割合は25.0%となっている。

### 【性・年齢別】

性別に見ると、「いずれも参加したくない」と回答した人の割合は、女性より男性の方が高くなっている。

年齢別に見ると、「教養・趣味・スポーツのサークル」と回答した人の割合は、20歳代で高くっており、「老人クラブなど高齢者の会」と回答した人の割合は、70歳以上で高くなっている。

図9-1 今後参加したい活動

【総数、性別】

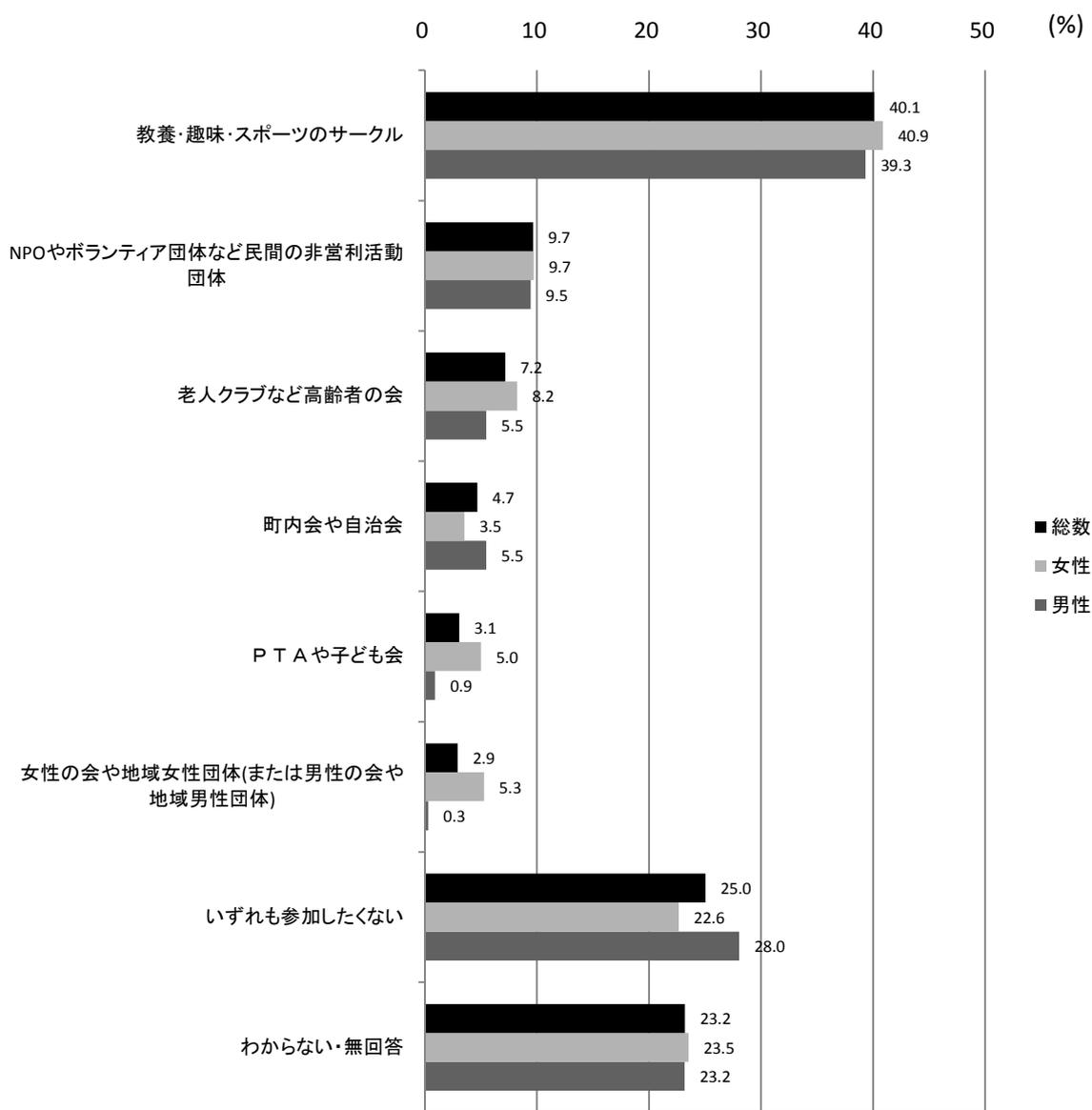
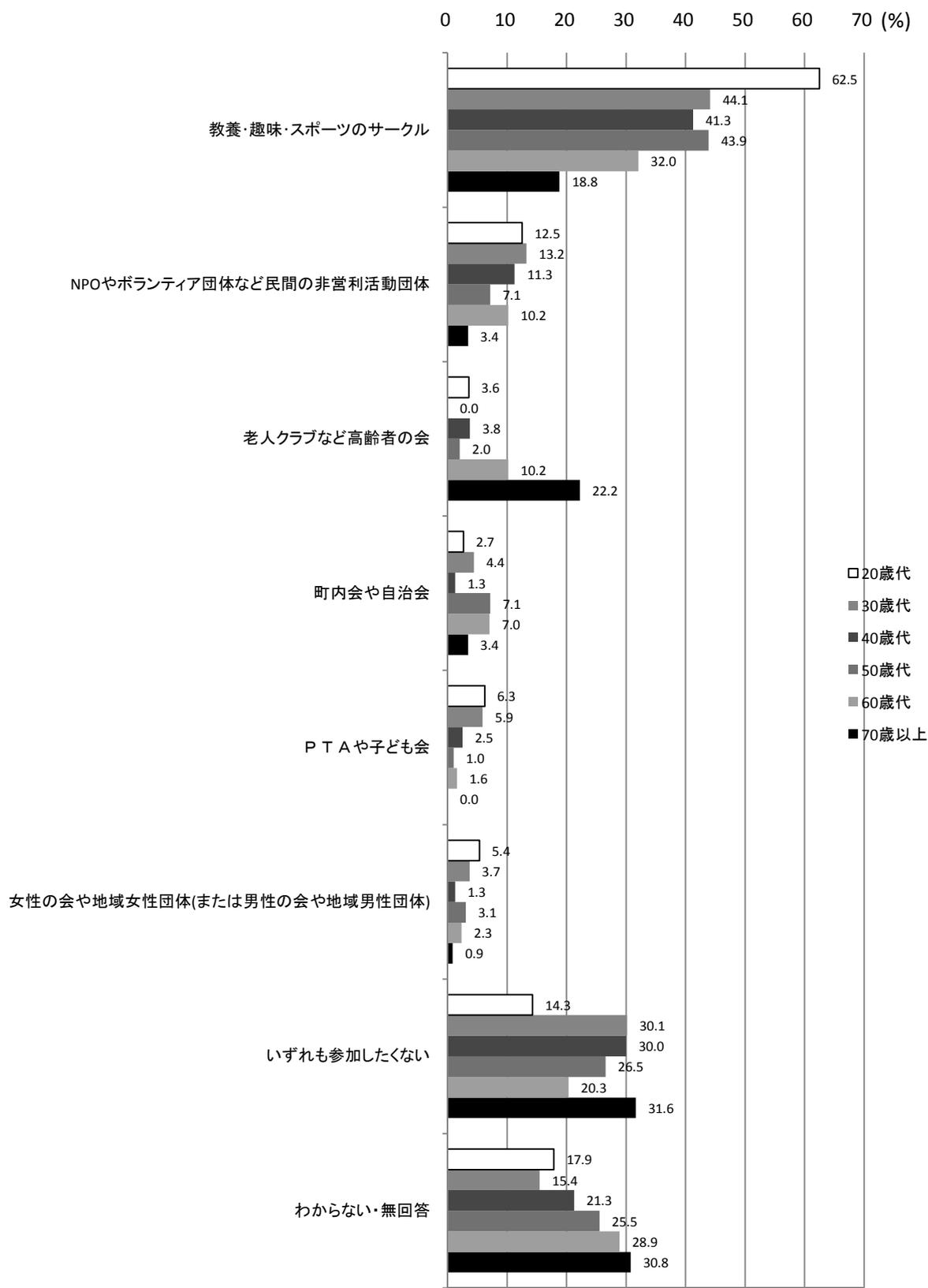


図9-2 今後参加したい活動

【年齢別】



10 今後、男性が女性とともに家事・子育て・介護・地域活動に積極的に参加していくために必要なこと（複数回答）

「夫婦や家族間でのコミュニケーションをよくはかる」と回答した人の割合が 59.3%と最も高く、次いで「男性が家事などに参加することに対する男性自身の抵抗感をなくす」（50.4%）、「社会の中で、男性による家事・子育て・介護・地域活動について評価を高める」（45.1%）、「労働時間短縮や休暇制度を普及させ、仕事以外の時間を多く持てるようにする」（41.6%）の順となっている。

**【性・年齢別】**

性別に見ると、「男性が家事などに参加することに対する男性自身の抵抗感をなくす」、「社会の中で、男性による家事・子育て・介護・地域活動について評価を高める」、「男性が家事・子育て・介護・地域活動に関心を持つよう、啓発や情報提供を行う」と回答した人の割合は、男性より女性の方が高くなっている。

年齢別に見ると、「夫婦や家族間でのコミュニケーションをよくはかる」、「男性が家事などに参加することに対する男性自身の抵抗感をなくす」、「仕事と家庭の両立などの問題について男性が相談しやすい窓口を設ける」と回答した人の割合は、他の年齢層に比べ 20 歳代で高くなっている。

図10-1 今後、男性が女性とともに家事、子育て、介護、地域活動に積極的に参加していくために必要なこと

【総数、性別】

(%)

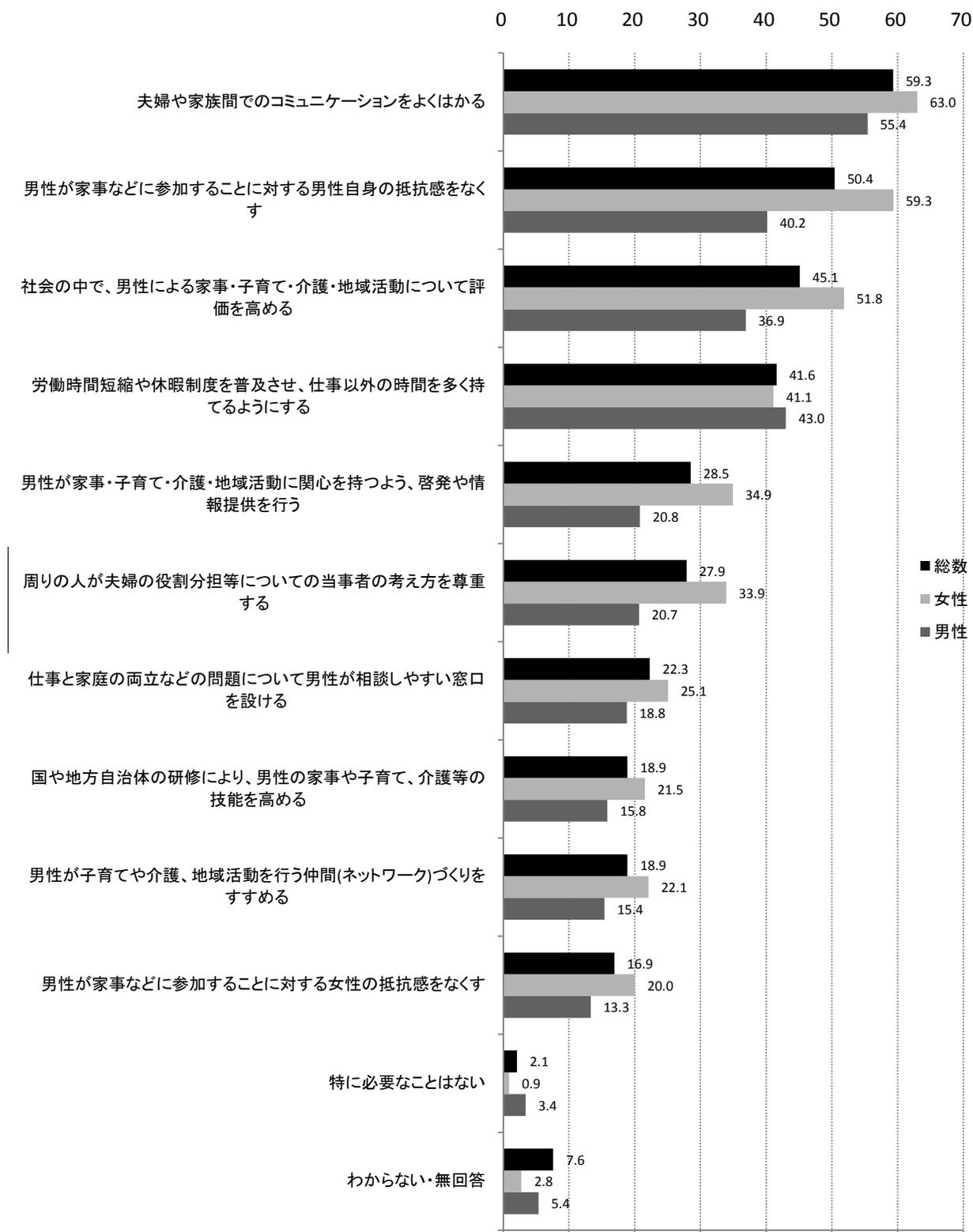
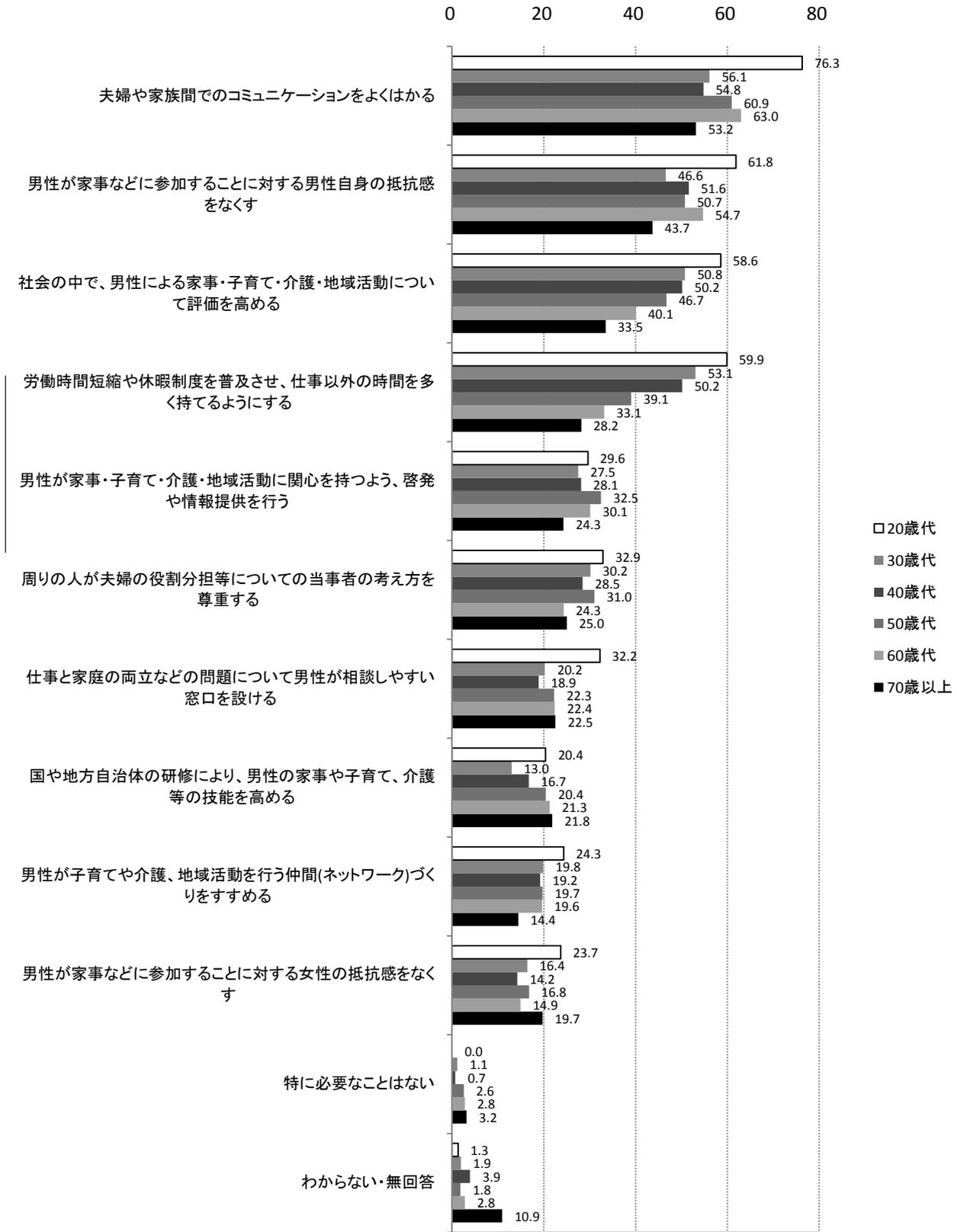


図10-2 今後、男性が女性とともに家事、子育て、介護、地域活動に積極的に参加していくために必要なこと

【年齢別】

(%)



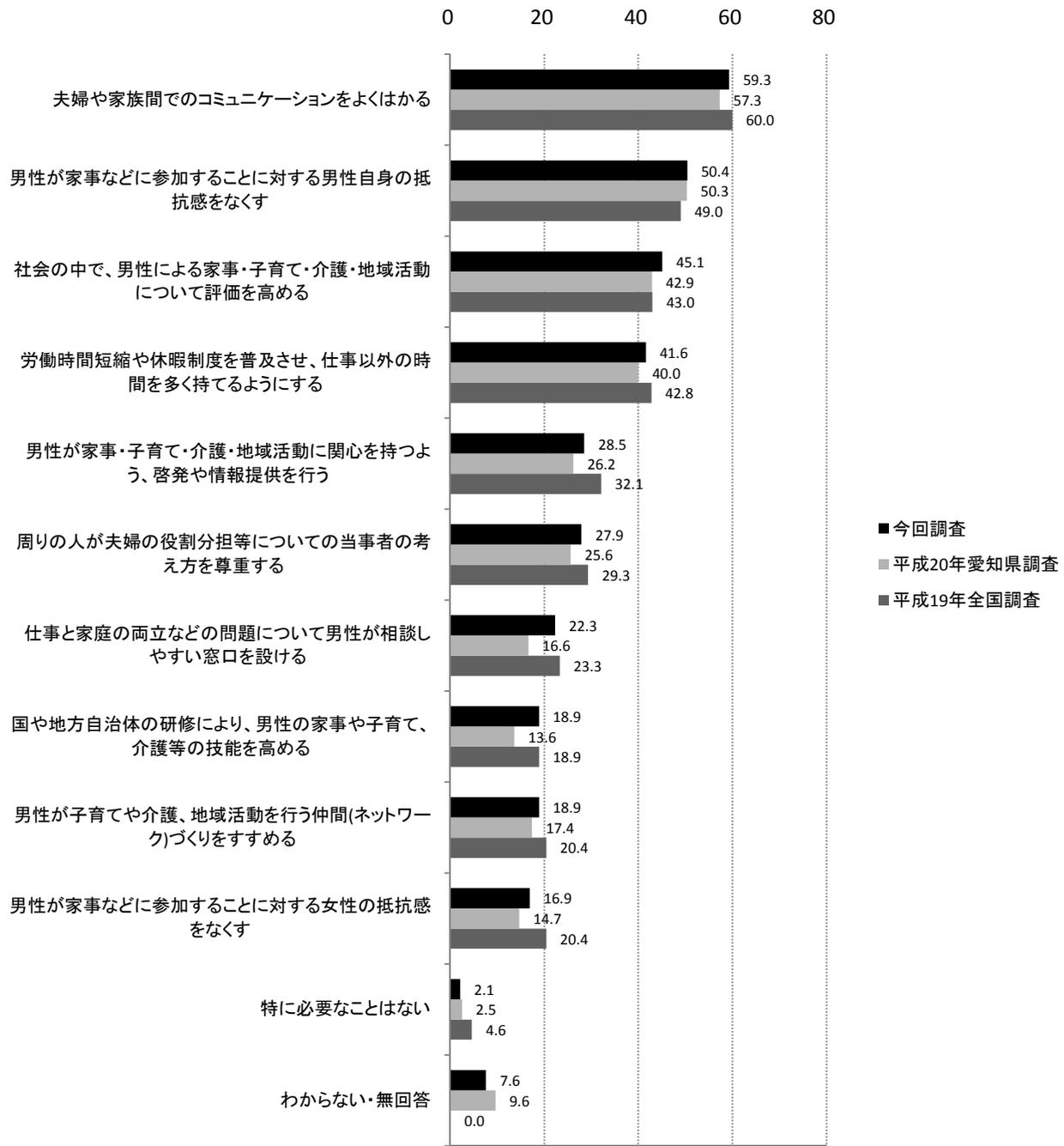
【他調査との比較】

他調査と比較すると、大きな差異は見られない。

図10-3 今後、男性が女性とともに家事、子育て、介護、地域活動に積極的に参加していくために必要なこと

【他調査との比較】

(%)



## <女性の社会進出について>

### 11 女性が職業を持つことについての考え

「子どもができたら仕事をやめ、大きくなったら再び職業を持つほうがよい」と回答した人の割合が 47.7%と最も高く、次いで、「ずっと職業を持ち続けるほうがよい」が 30.4%と高くなっている。また、「子どもができるまでは、職業を持ち続けるほうがよい」と回答した人の割合は 5.4%、「結婚するまでは、職業を持ち続けるほうがよい」と回答した人の割合は 4.4%、「女性は職業を持たないほうがよい」と回答した人の割合は 2.1%と低くなっている。

#### 【性・年齢別】

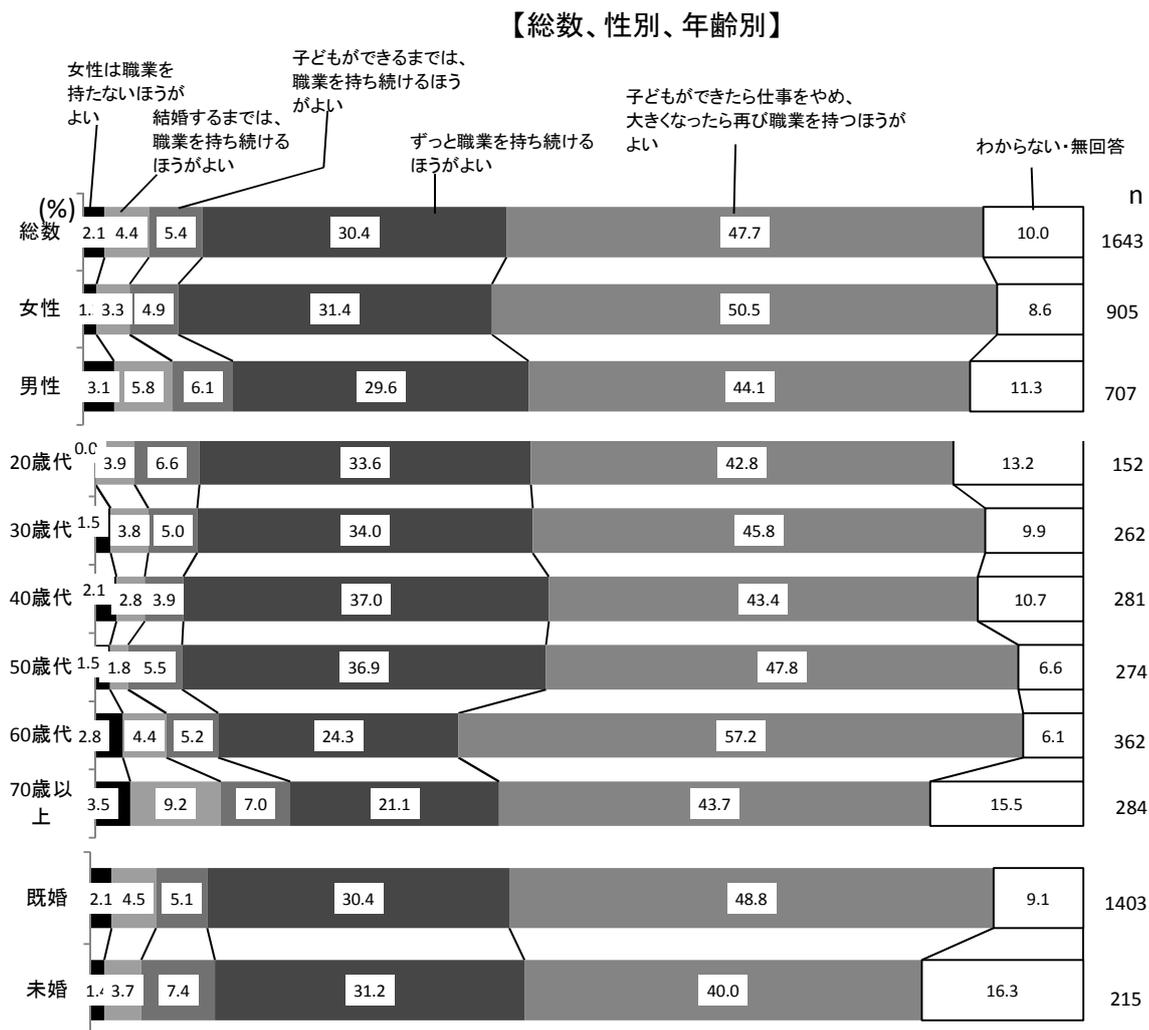
性別に見ると、「子どもができたら仕事をやめ、大きくなったら再び職業を持つほうがよい」と回答した人の割合は男性より女性の方が高く、「結婚するまでは、職業を持ち続けるほうがよい」と回答した人の割合は女性より男性の方が高くなっている。

年齢別に見ると、「ずっと職業を持ち続けるほうがよい」と回答した人の割合は、50歳代以下で高くなっている。

#### 【既婚・未婚別】

既婚・未婚別に見ると、「子どもができたら仕事をやめ、大きくなったら再び職業を持つほうがよい」と回答した人の割合は、未婚者より既婚者の方が高くなっている。

図11-1 女性が職業を持つことについての考え



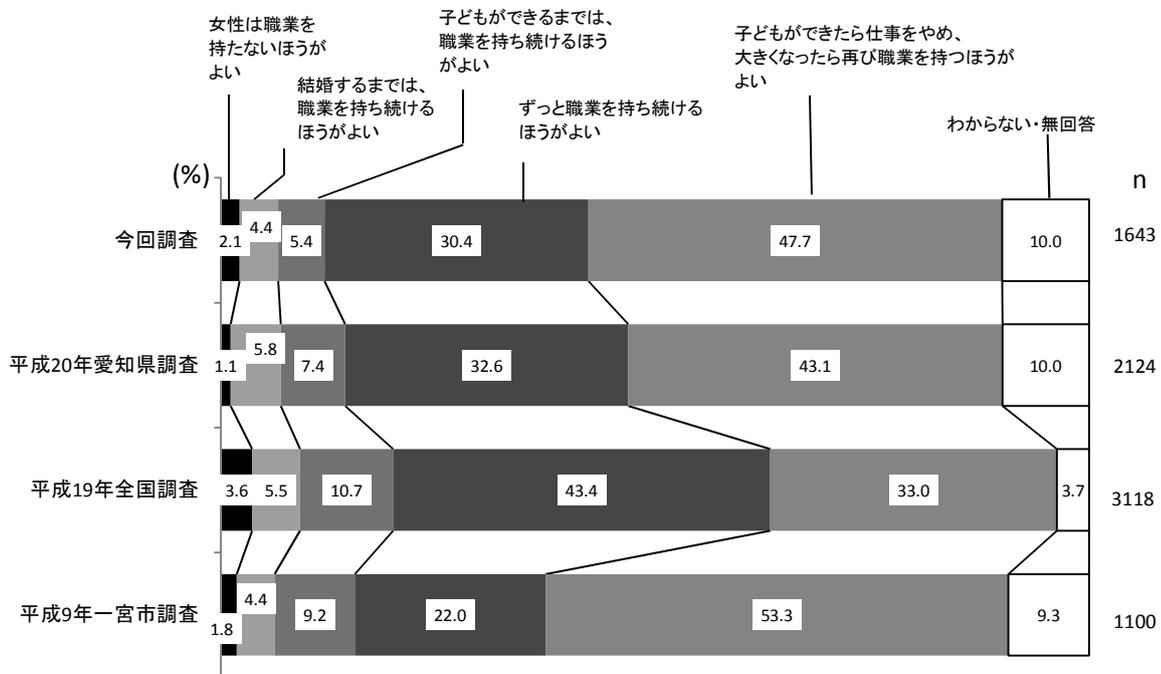
【他調査との比較】

愛知県調査とは、ほぼ同様の結果となっているが、全国調査と比較すると、「ずっと職業を持ち続けるほうがよい」と回答した人の割合は低くなっており、「子どもができれば仕事をやめ、大きくなったら再び職業を持つほうがよい」と回答した人の割合は高くなっている。

また、前回調査と比較すると、「ずっと職業を持ち続けるほうがよい」と回答した人の割合は上昇しているが、その他については低下している。

図11-2 女性が職業を持つことについての考え

【他調査との比較】



12 社会のさまざまな分野において、企画や方針決定の過程に女性の参画が進んでいない理由（複数回答）

「男性優位な組織運営」と回答した人の割合が 49.6%と最も高く、次いで「職場における性別役割分担、性差別の意識」（38.7%）、「家庭の支援・協力が得られない」（30.7%）の順となっている。

【性・年齢別】

性別に見ると、「家庭の支援・協力が得られない」、「家庭における性別役割分担、性差別の意識」と回答した人の割合は、男性より女性の方が大幅に高くなっている。

年齢別に見ると、「職場における性別役割分担、性差別の意識」と回答した人の割合は 20 歳代、30 歳代で高くなっており、「女性側の積極性が不十分」と回答した人の割合は 40 歳代以降で高くなっている。

図 12-1 社会のさまざまな分野において、企画や方針決定の過程に女性の参画が進んでいない理由

【総数、性別】

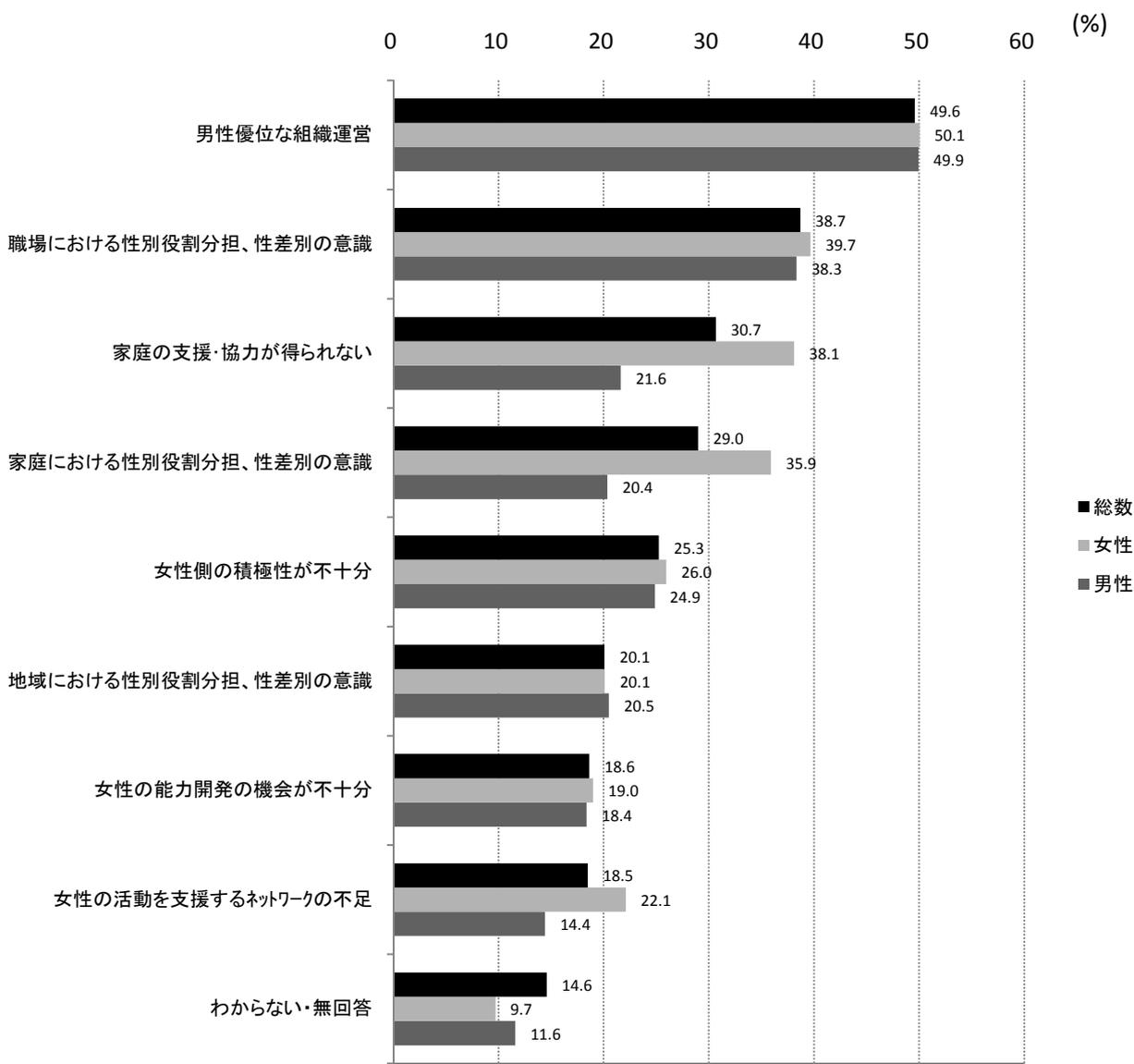
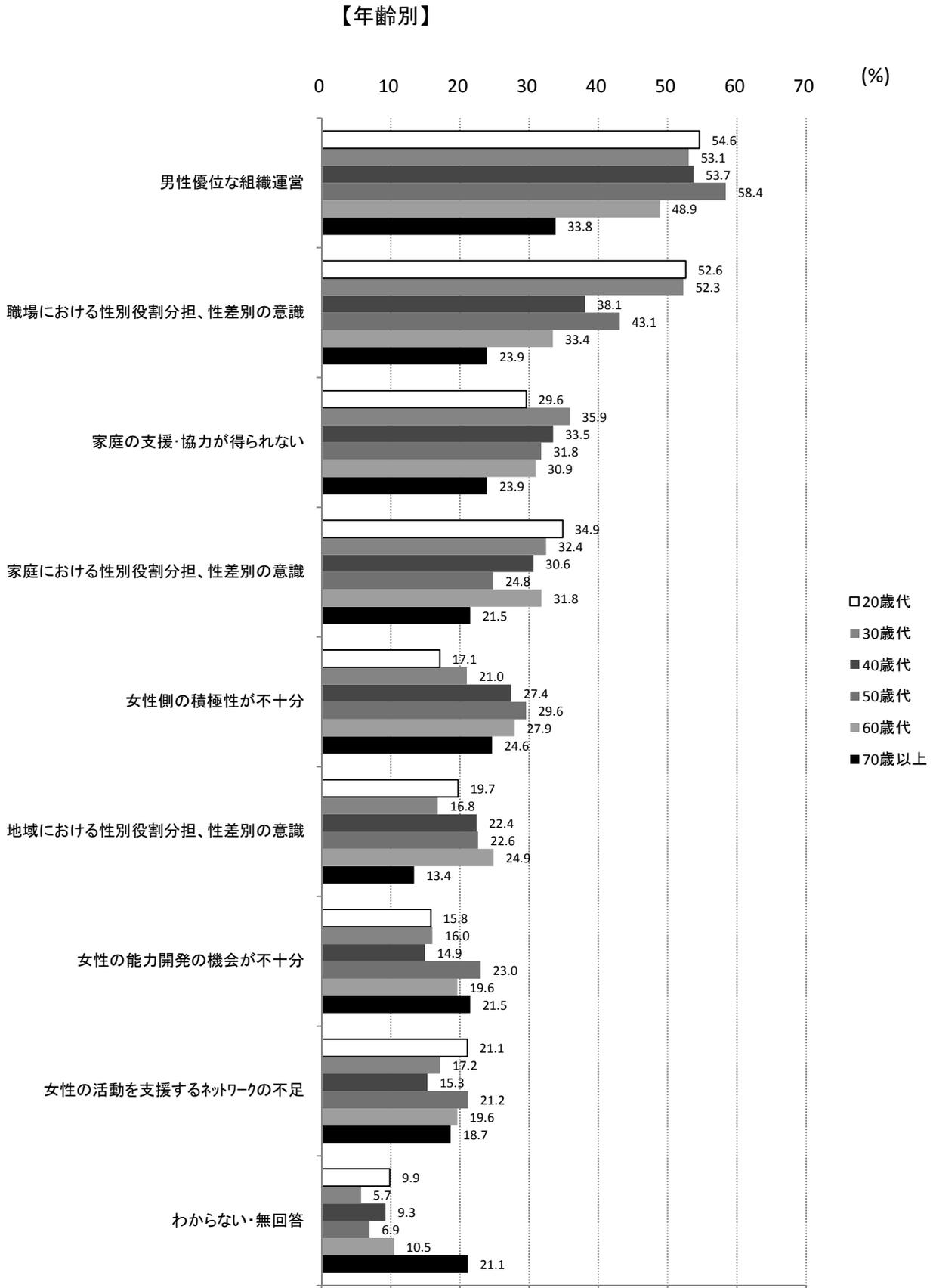


図12-2 社会のさまざまな分野において、企画や方針決定の過程に女性の参画が進んでいない理由



## <ドメスティック・バイオレンス(DV)などについて>

### 13 DVなどに関する認知度（複数回答）

「配偶者や恋人など親密な関係の人から受ける暴力を、いわゆる「ドメスティック・バイオレンス（DV）」と呼ぶ」（80.6%）、「主に職場において、性的な言動により他の人を不快にさせる行為を「セクシュアル・ハラスメント（セクハラ）」と呼ぶ」（79.7%）を知っていると回答した人の割合は高くなっている。また、「DVには、殴る、蹴るなど身体的暴力だけでなく、精神的・性的暴力も含まれる」を知っていると回答した人の割合は 74.9%、「DV被害者を支援するために、法律（「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律」）が制定されている」を知っていると回答した人の割合は 52.6%となっている。

#### 【性・年齢別】

性別に見ると、ほとんどの項目で知っていると回答した人の割合は、女性の方が高くなっている。

年齢別に見ると、60歳代、70歳以上では、ほとんどの項目で知っていると回答した人の割合は低くなっている。

図13-1 DVなどに関する認知度

【総数、性別】

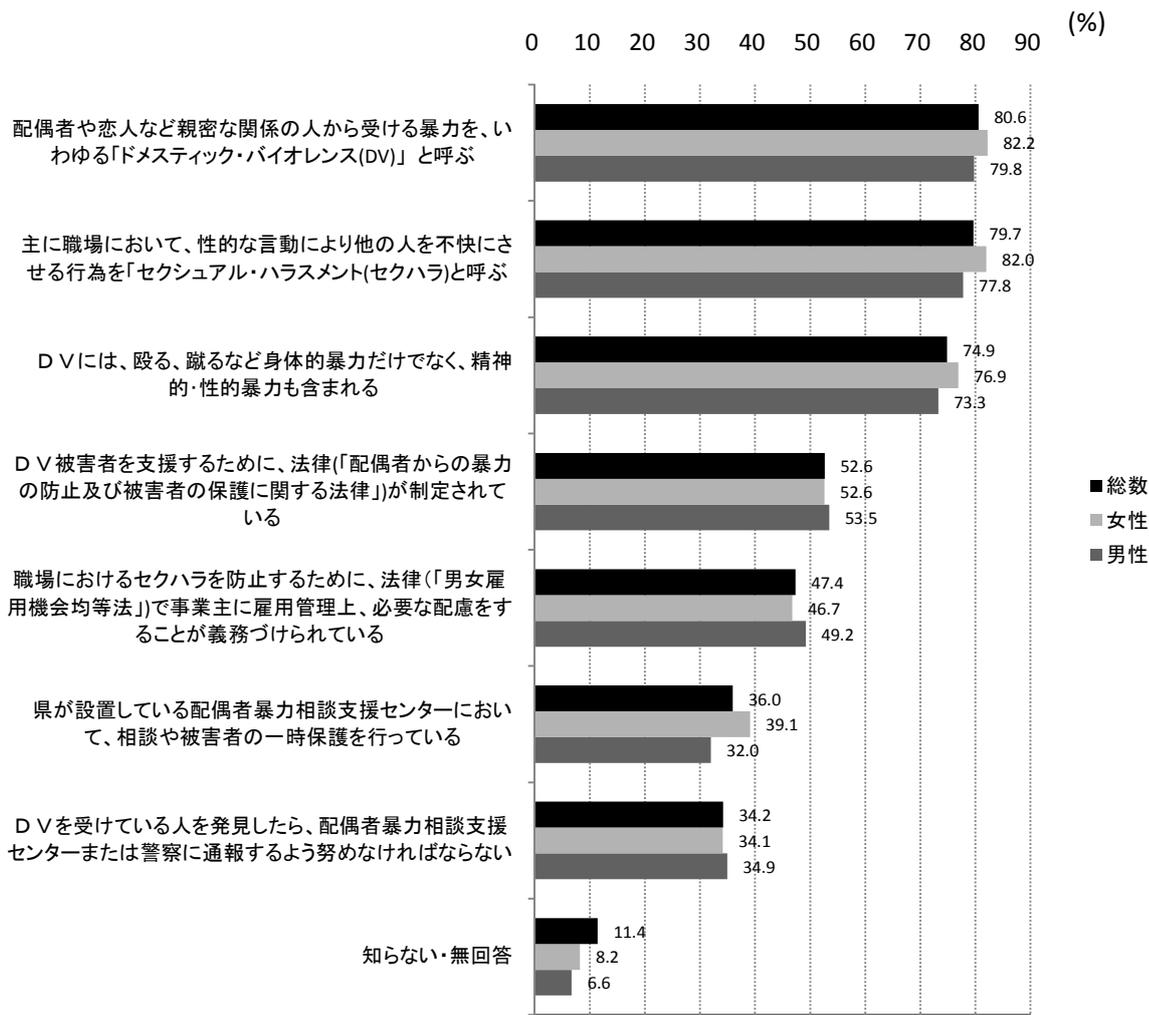
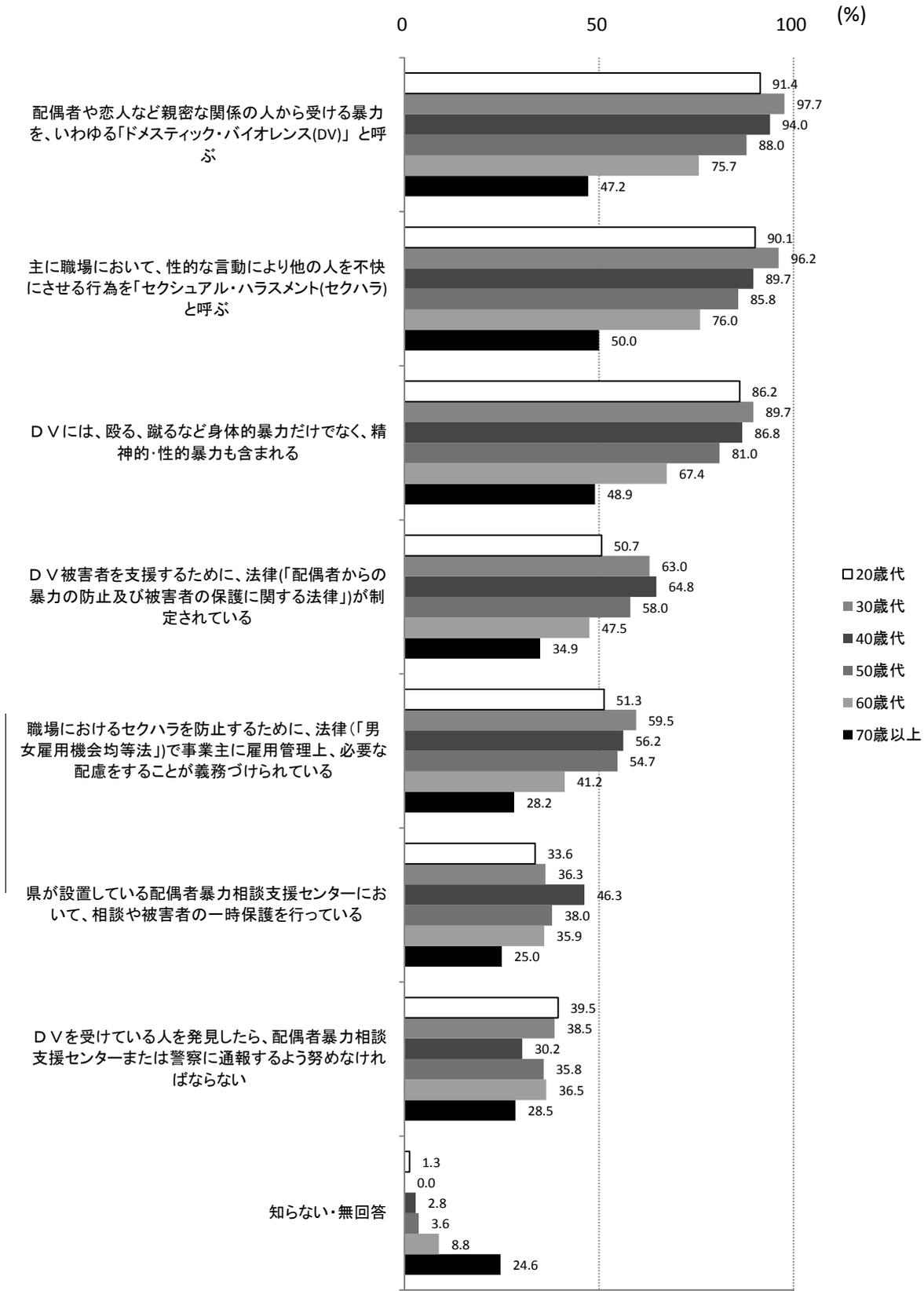


図13-2 DVなどに関する認知度

【年齢別】



## 14 DVに関する相談窓口の認知度

「知っている」と回答した人の割合は 51.1%、「知らない」と回答した人の割合は 45.3%と、「知っている」が「知らない」を上回っている。

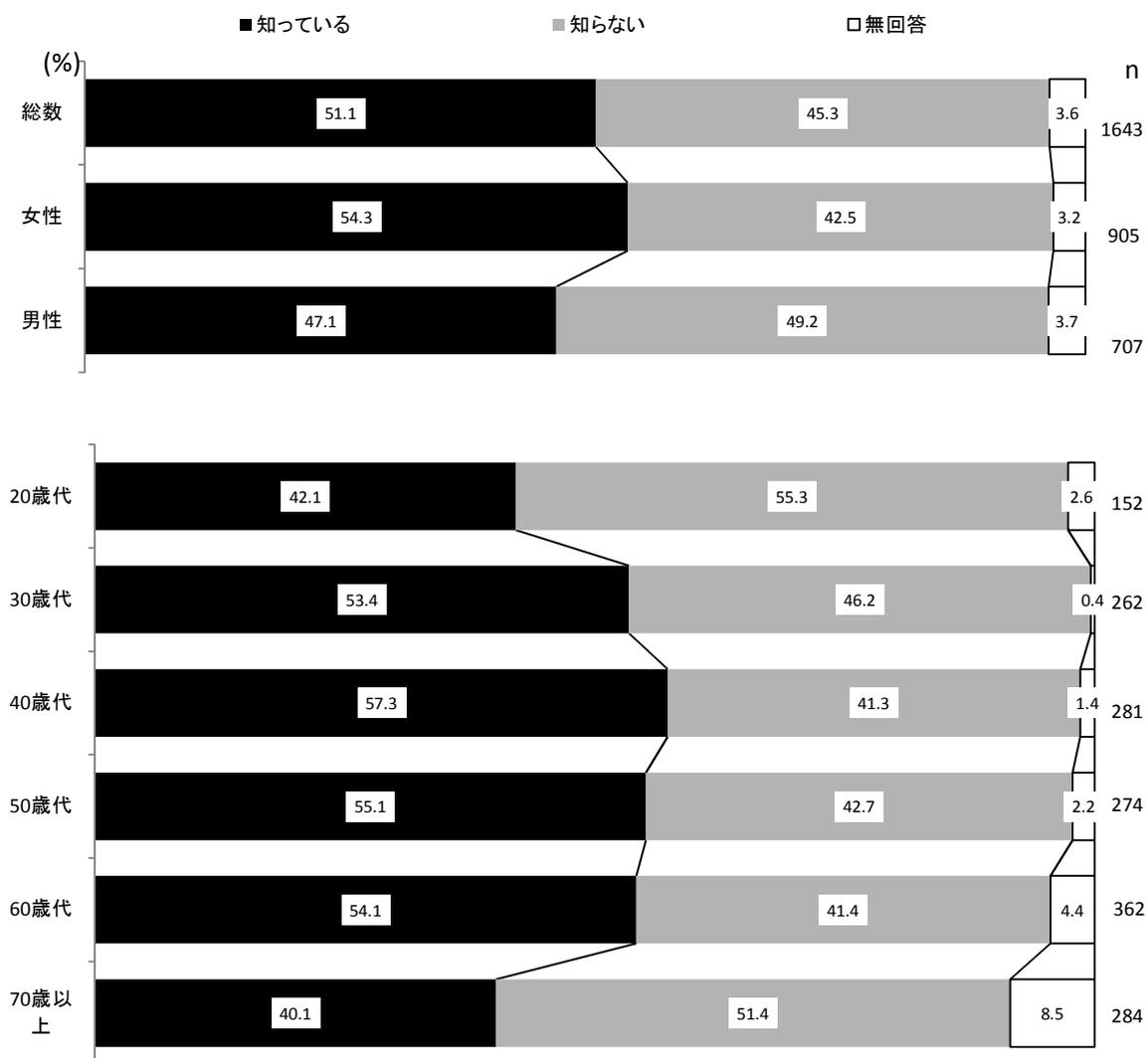
### 【性・年齢別】

性別に見ると、男性では「知らない」（49.2%）と回答した人が、「知っている」（47.1%）と回答した人を上回っている。

年齢別に見ると、20歳代、70歳以上では、「知らない」と回答した人の割合が半数を超えている。

図14-1 DVに関する相談窓口の認知度

【総数、性別、年齢別】

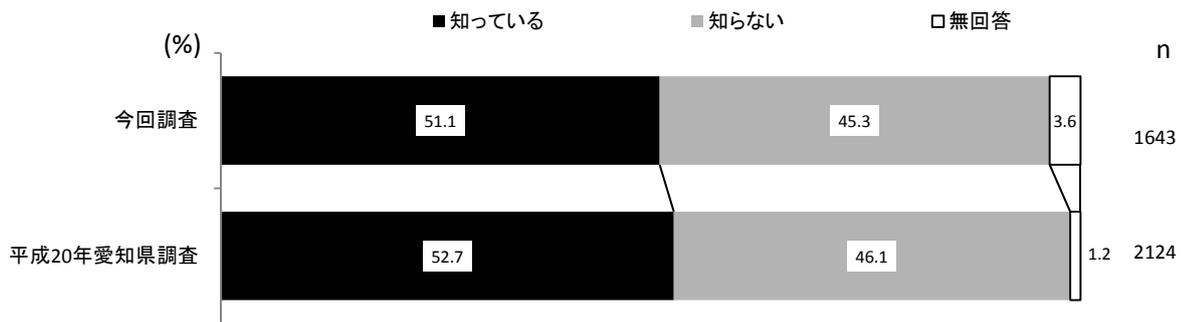


【他調査との比較】

愛知県調査と比較して、大きな差異は見られない。

図14-2 DVに関する相談窓口の認知度

【他調査との比較】



## 15 知っている相談窓口（複数回答）

相談窓口を知っている人のうち、「警察」と回答した人の割合が79.3%と最も高く、次いで「配偶者暴力相談支援センター（愛知県女性相談センター）」（43.1%）、市役所（40.4%）の順となっている。

### 【性・年齢別】

性別に見ると、大きな差異は見られない。

年齢別に見ると、20歳代、30歳代、40歳代では、「民間の団体や機関（民間シェルター、弁護士会など）」を知っていると回答した人の割合が高く、60歳代、70歳以上では、「法務局、人権擁護委員、法テラス」を知っていると回答した人の割合が高くなっている。

図15-1 知っている相談窓口

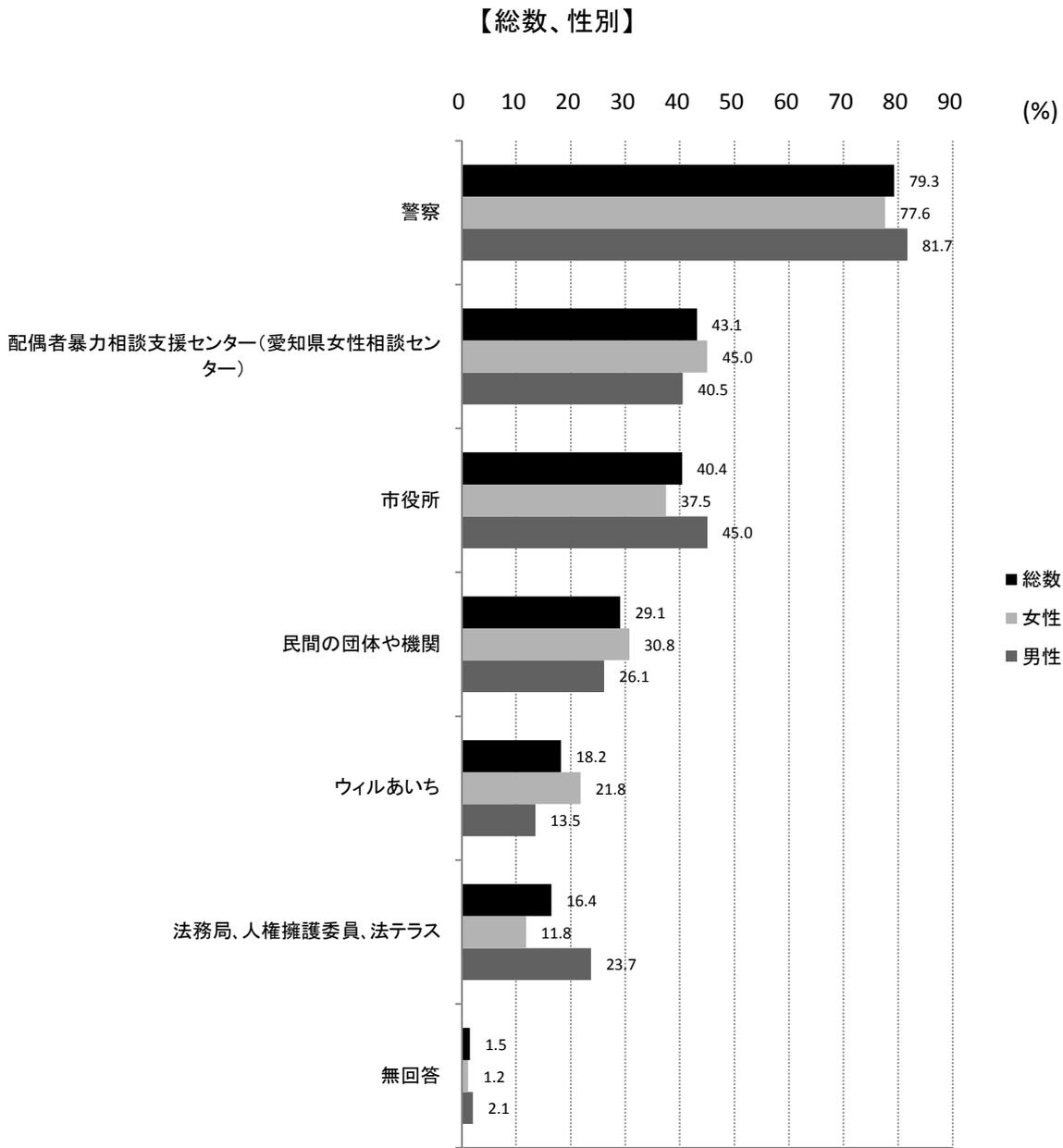
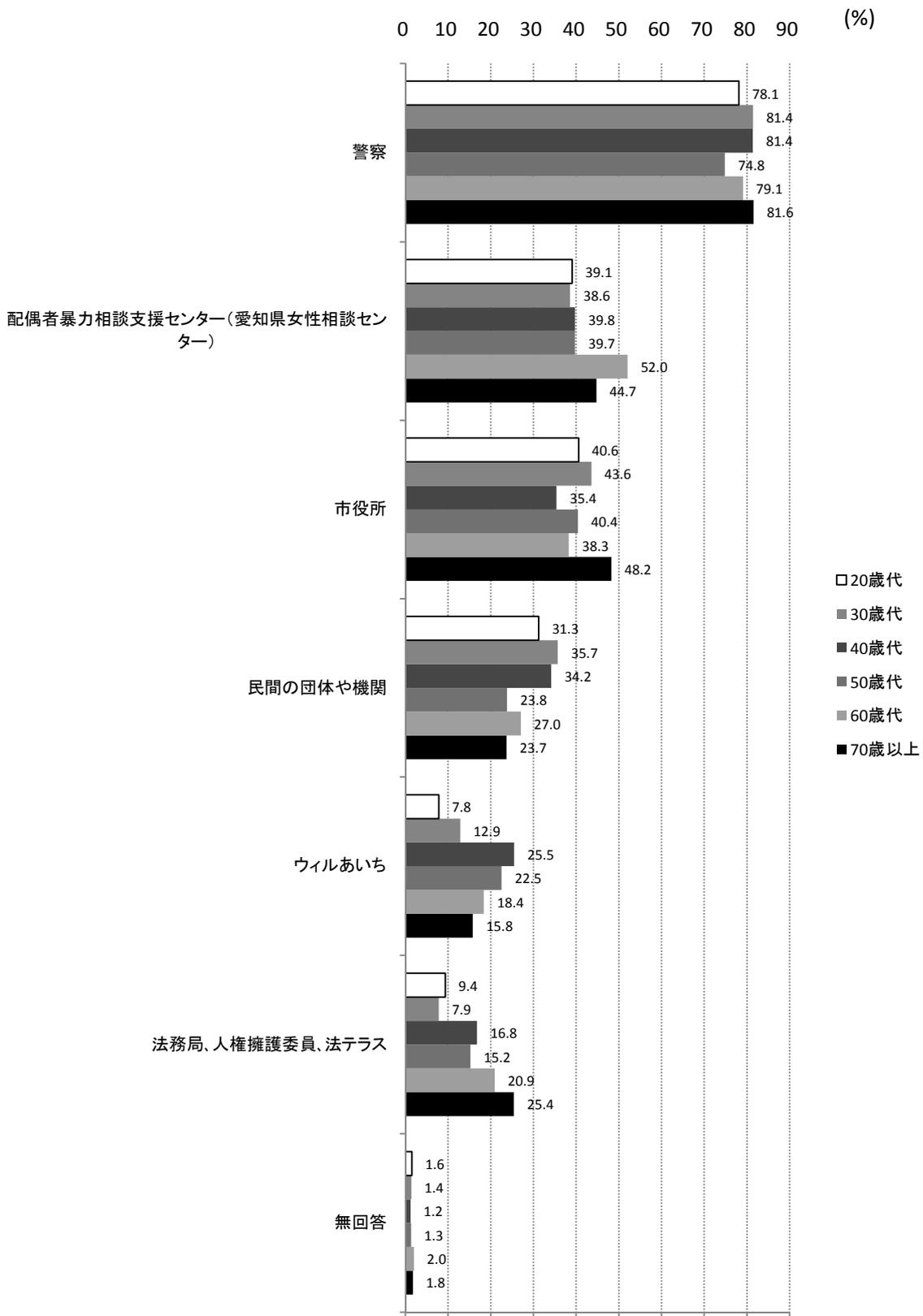


図15-2 知っている相談窓口

【年齢別】



## <男女共同参画社会について>

### 16 男女共同参画社会に関する用語の認知度（複数回答）

「男女雇用機会均等法」を知っていると回答した人の割合は 52.8%となっている。また、「男女共同参画」を知っていると回答した人の割合は 36.9%、「ジェンダー（社会的性別）」を知っていると回答した人の割合は 14.9%となっている。また、「知らない」と回答した人の割合も 32.6%となっている。

#### 【性・年齢別】

性別に見ると、大きな差異は見られない。

年齢別に見ると、「男女雇用機会均等法」、「ジェンダー」、「男女共同参画社会基本法」、「女子差別撤廃条約」を知っていると回答した人の割合は、他の年齢層に比べ 20 歳代で高くなっている。

図16-1 男女共同参画に関する用語の認知度

【総数、性別】

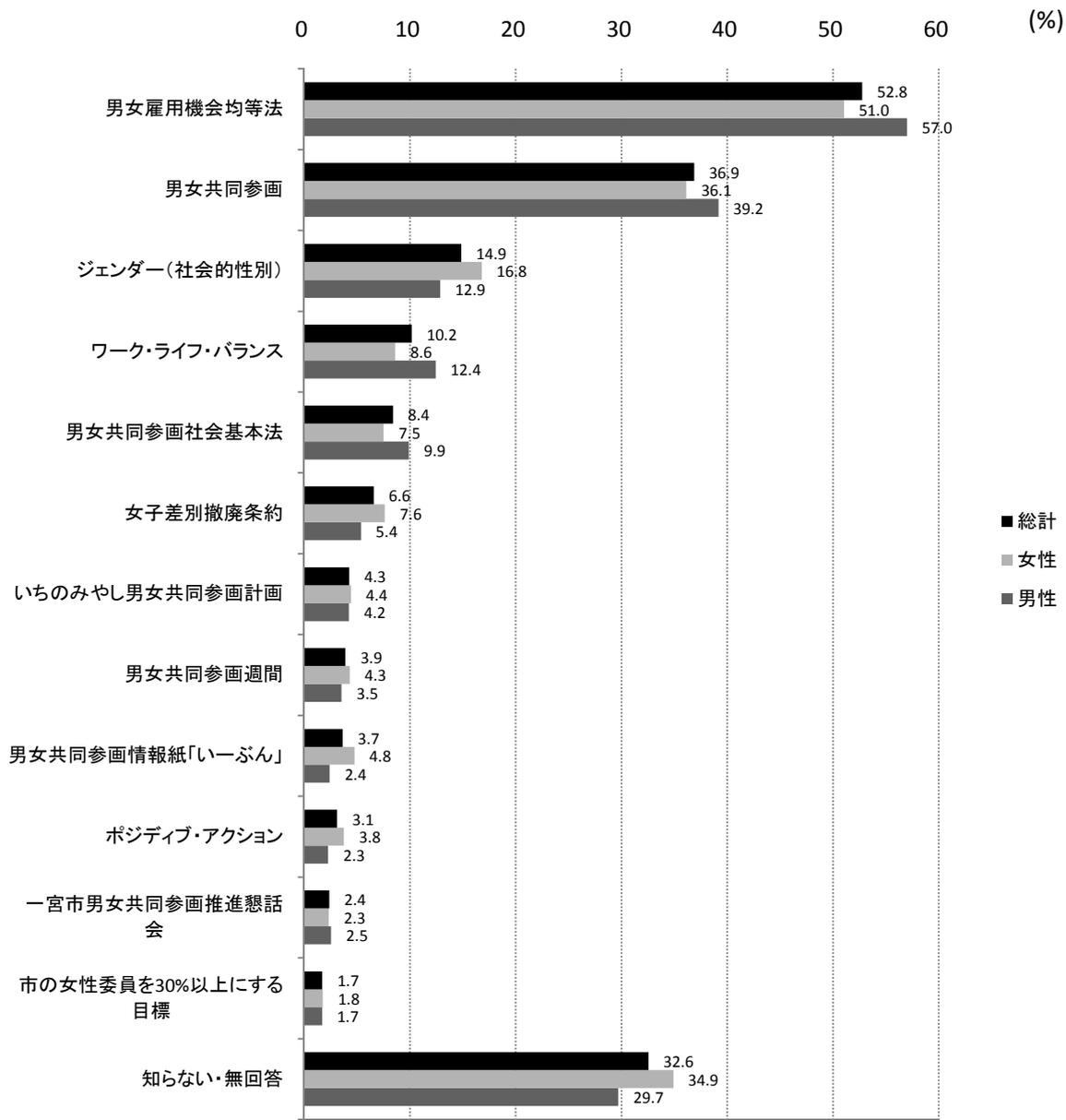
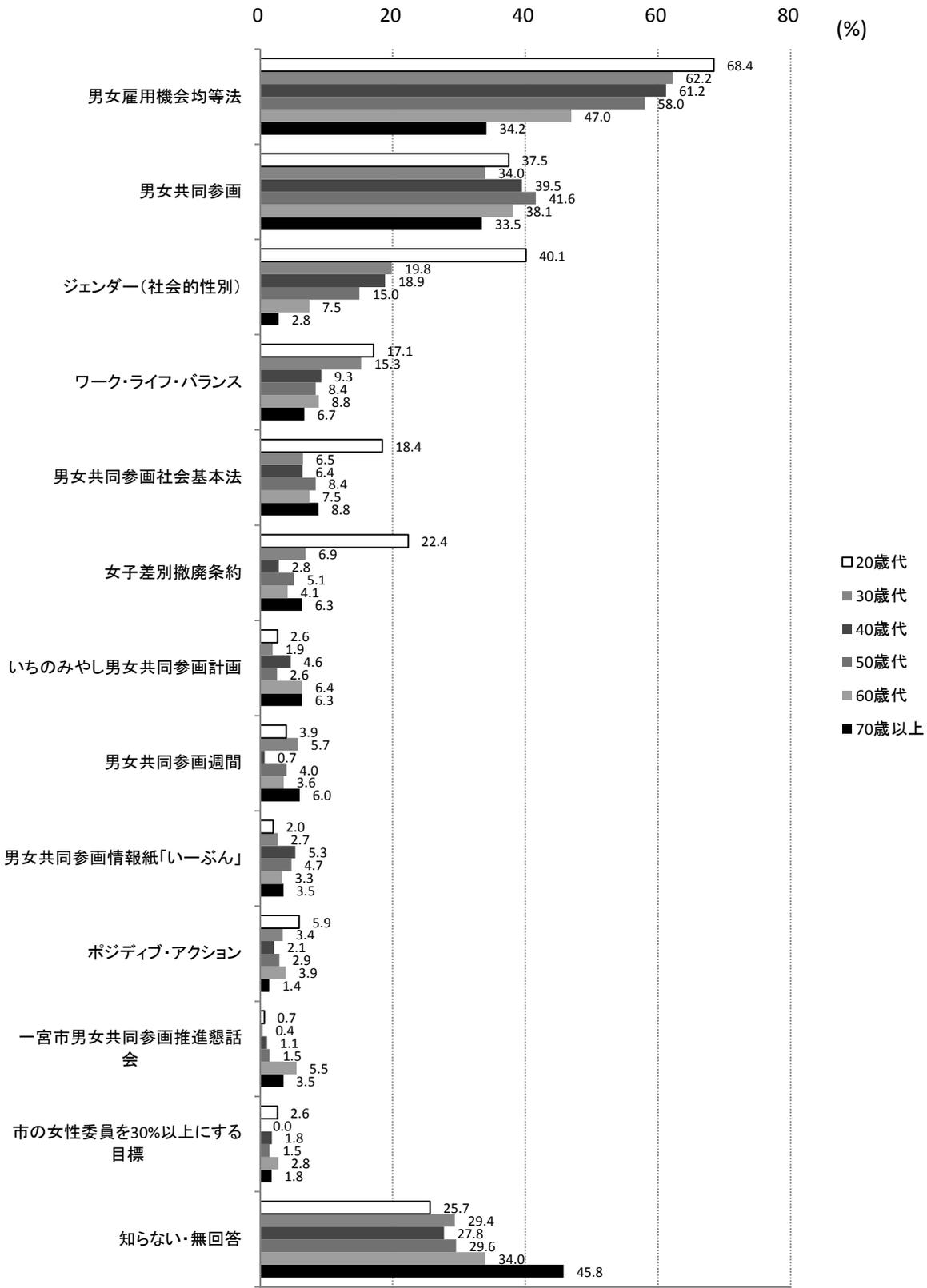


図16-2 男女共同参画に関する用語の認知度

【年齢別】



## 17 男女共同参画社会を推進していくために、行政に期待する役割（複数回答）

「子育てや介護等でいったん仕事を辞めた人の再就職を支援する」と回答した人の割合が57.3%と最も高く、次いで「子育てや介護中であっても仕事が続けられるよう支援する」（50.9%）、「保育の施設・サービスや、高齢者や病人の施設や介護サービスを充実する」（50.0%）の順となっている。

### 【性・年齢別】

性別に見ると、「子育てや介護等でいったん仕事を辞めた人の再就職を支援する」、「子育てや介護中であっても仕事が続けられるよう支援する」「保育の施設・サービスや、高齢者や病人の施設や介護サービスを充実する」と回答した人の割合は、男性より女性の方が高くなっている。

年齢別に見ると、「子育てや介護等でいったん仕事を辞めた人の再就職を支援する」、「子育てや介護中であっても仕事が続けられるよう支援する」と回答した人の割合は、20歳代、30歳代で高くなっている。また、「政治や行政などにおける政策決定の場に、女性を積極的に登用する」、「職場における男女の均等な取扱いの周知徹底が図られるよう企業等に働きかける」と回答した人の割合は、20歳代で特に高くなっている。

図17-1 男女共同参画社会を推進していくために、行政に期待する役割

【総数、性別】

(%)

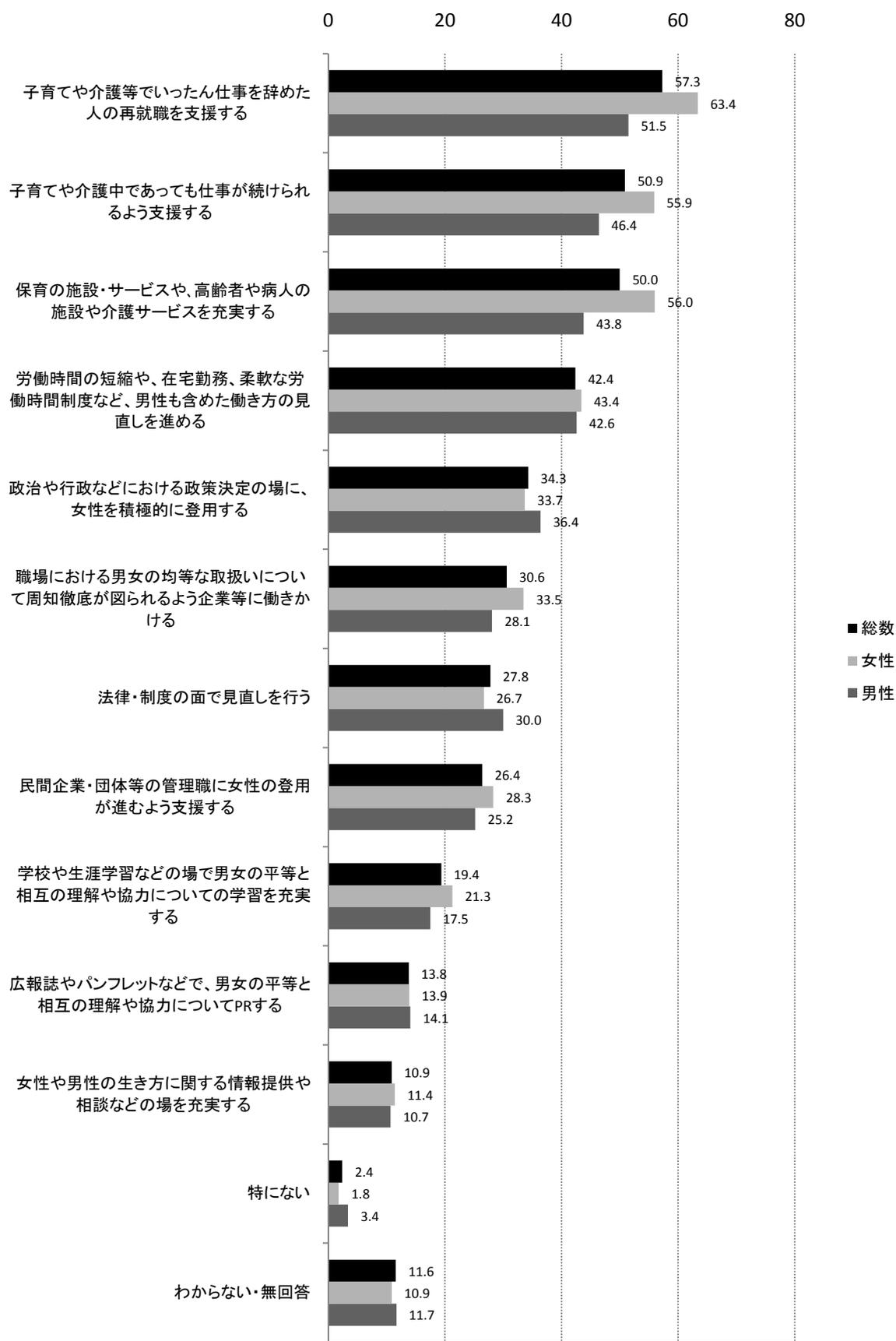
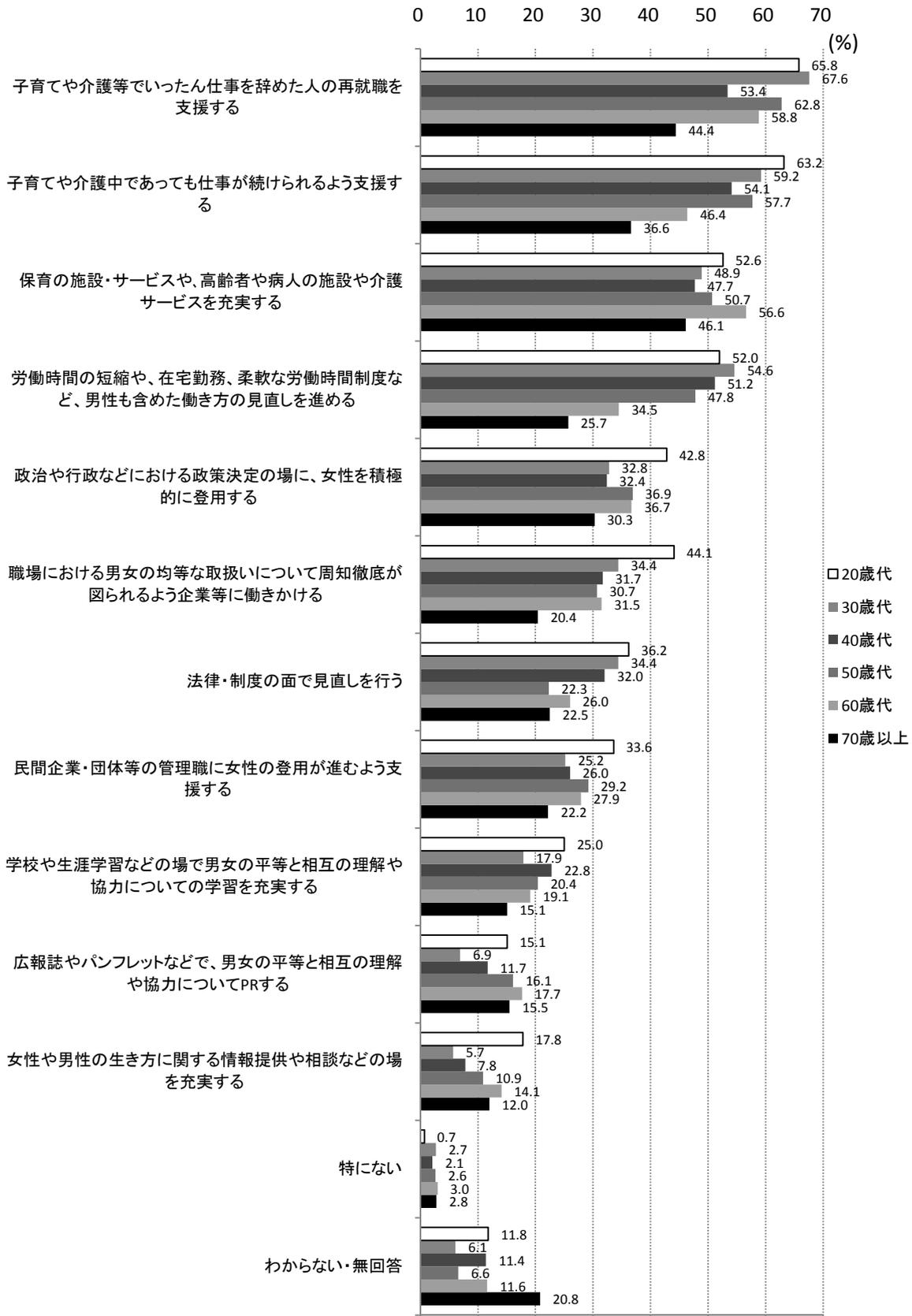


図17-2 男女共同参画社会を推進していくために、行政に期待する役割

【年齢別】



## V 自由意見

- 1 女性の職場での地位の向上が大切です。
- 2 女は女、男は男、女の出来る仕事は女がやり男の出来る仕事は男がやる。男女両方がする仕事は共同です。又、決定権は優柔不断の男よりはるかに上だから女性にまかせる方がよい
- 3 男は男のやる事があり、女は女のやることがある。生まれもって男と女は違うのです。無理に女を男に近づける必要なし。男は男、女は女。以上
- 4 男女共に私情をはさまず仕事(目的)を果たすよう努めることが出来る様に行政などが協力して行くこと。
- 5 まずは理解してもらう為、情報誌などによるPRが必要だと思う。(意識改革が最重要)
- 6 夫婦ともに働いている場合、子供が産まると、やはり何らかの支援なしには大変だと思います。そして、子育ても片手間にできることではないと思います。せめて、子供が小学校2年生になるまで間、夫婦どちらかでも交替でも長期の休みが取れ、また雇用されるような環境ができれば理想だと思います。また、子供が中学に行くまでは、短縮したり早帰りができるなど共働きでも人任せでなく、自分できちんと世話できる状態ができるよう望みます
- 7 女性が社会人として社会に参加することは良いことだが、腰かけOL気分で働くOLは評価できない。男女平等の社会的、社会参加したい女性は、仕事について結婚するまでだから…という気持ちは止めて欲しい。責任感がない社会人など必要ない！
- 8 今回のアンケートが来るまで、男女共同参画という言葉も耳慣れしていませんでした。しかし常日頃、社会をみても地域をみても男性と女性の役割は、それぞれ特性があり、それに合った、バランス感覚が、どの分野でも必要だと思う。最近、女性もリーダーシップをとれる人も多くなり、女性の感性も認めて、次第に男女それぞれが認められる時代になりつつあると思っています。昔のような男尊女卑は絶対許さないと。
- 9 働いている女性の中で、子育てをしながら仕事を続けるのは大変です。保育所にあずけられなく、職場の近くに預ける所もないと女性は仕事を継続することが難しいと思います。安心して仕事・育児が両立出来る社会が出来ると良いと思う。
- 10 より住みやすい町にしてほしい。無駄な税金はやめてほしい。
- 11 戦前の教育を受けた人達は、割と女性は家庭(家事)をするものと決めつけがち、でもお互い思いやりを持って協力した方が精神的にストレスが少ないように思う
- 12 ・出産、育児などに対する行政の支援が充実している町(市) ・保育施設(乳児も)の充実一女性が安心して働けるように。(出産・育児で職業が中断しないで勤務できるような町にする)子供の医療費なども安価(無料化)に。 ・予算化しないと男女平等も前進しません。
- 13 男女がすべて平等であればよいということではなく、男性の役割、女性の役割を十分に考えた上での平等でなくては社会がなりたないと思います。ただ、子育て世代の支援は絶対に必要なことだとは思いません。
- 14 我々の年代の人達には家事をまったくしない人が多い様です。私は家内が認知でなにも出来なくなったのでやりますが、ご飯やお茶をわかす事の出来ない人があまりにも多過ぎます。中高年になっての家事はやっておくべきなので、そういった機会を市の方でも、もっとやって欲しい
- 15 77才と74才の二人暮らしです。私は特別障害者の為に、74才の妻は今はまだ働いています。二人共年金もなく大変です。助けて下さる人は役所に行っても誰一人もいません。男女共同のこのアンケートより、個々の生活費のアンケートをした方が良いと思います。障害者手当てとして一ヶ月2万8,000円です。苦しい。一生懸命若い頃働いて来、我々のことも少しは見て下さい。
- 16 女性の地位向上や働き易さなどに目がいきがちですが、男性が家庭内で家事・育児・介護がし易いような労働形態も考えることが必要だと思います。

- 17 ・子育てのための保育所、一時あずかり等の施設を安価で利用できるよう対策を打つ。また、市営のそのような施設を24時間対応にするなど、女性の職業選択の幅を広げるために必要(高齢者介護施設や医療機関は夜勤があり、女性がより必要とされる職場と思うため)。 ・子育てに有利な対策を打つことで、市民の増につながる(岐阜県笠松町のように)そうすると、市全体が活性化する。
- 18 日本全体の経済(効率)一辺倒の価値観を変え、時間的ゆとりがもてるようになること、一人一人が安心して暮らしていけるよう、セーフティネットが充実することが大切だと思います。一宮市活性化のイベントも充実させるといいと思います。例えば、本町商店街をいつ行っても楽しい憩いの場となるようにする、その力を眠っている市民の力を活用する。
- 19 もともと男女は同じではないのだから、同じとしていかなければいけないと思われるところはある程度、法律等でしぼりをかけないと、あまり進んでいかない。また、何でも平等という女性の考えと、昔からの男性優位のような考えを男女がそれぞれ考え直さなければ「行政は、少しずつ進歩してます」と言うかもしれないが、絵に書いた餅で、ここ10年くらいは何も変わらないのではないだろうか。
- 20 今現在、男女共同参画社会は、かなり進んでいると思います。後は各個人の考え方の問題ではないでしょうか？行政は男女が共同で、いろいろなことに取り組める枠組みを作ることだけを心がけ、それ以上の介入は不用と考えます。
- 21 男女共同参画社会もよいが、一宮市も各自治体同様に多額の借金があるのでは？年間の税収の範囲内で、市内すべての事業を行い、市民に自治体のツケを負わせない様をお願いします。一宮市が、毎年赤字の会社とするならば、市長以下、各役所で働く公務員の方々のボーナス無し等の対策も必要と考える。税金の使い方の勉強もされたし！！
- 22 一宮市は地味。もっと明るく楽しい、住み良い街になってほしい。
- 23 表題に関する意見ではなく、私の所感ですが、昨今、公僕の方に対して、色々意見を述べる方が多いですが、公僕の方は学歴・博識もあり自覚・責任を持って日々過ごしておられます。今後共風評に負けずに市民を指導・主導して頑張ってください。
- 24 子育て後の再就職先の充実。
- 25 男性女性それぞれの特性を考慮しなければ、すべてをやみくもに平等にすることは表面上の見せかけの平等にしかないのでは、と思います。深夜にしか帰宅できない(会社員、夫)に家事の配分が必要なのか？景気が良くなって社会にゆとりが生まれてくれば、欧米の先進国にならった施策を進めてゆけばと思います。
- 26 こういう方法で積極的に一般市民の声を聞く態勢は良いと思う。是非、何らかの形で生かして欲しい
- 27 男女共同参画社会は大切なことと思います。女性の出産・育児に頑張れる経済状況になれば母親が一番にするのもよし、仕事に生きがいを持つ人にとっては育児の助けを、いずれも支援が必要かと思いません。
- 28 女性が働きやすいよう、保育施設等をもっと充実させて下さい
- 29 問14の相談できる窓口があると思いますが、もっと積極的に介入してほしい。
- 30 言葉はあまり聞かないけど、社会的に男女平等になってきていると思う。家庭内ではまだだと思う
- 31 雇用環境が悪化して、男性の収入だけで生計を維持することが困難な世帯が増加している。もとより少子高齢化が進む現在では女性は労働力として大きな期待がかけられている。大変革期を迎えている今日、産業構造の根本的な建て直しと家族間、地域、世代間で支え合える世の中を築いてかなければ、日本はもはや安心して生活できる国ではなくなってしまうと思います。真に求められているのは、お互いを「大切に、かけがえのない人」だと感じて関係を大切にすることです。
- 32 家庭の経済力を維持しつつ、子育てや介護も行う力を家庭が持つためにはどのようにしたら良いのかの方策がなければ男女共同参画社会の実現は難しいと考えています。多様な家族のあり方(夫婦の役割分担)を認め、かつ支える社会的サービスの拡充が必要だと思われます。
- 33 女性の共同参画意識について知りたいです。

- 34 子どもや介護などの支援を充実させることが、一番早いと思う。法律や慣習を変えるというのは長いスパンが必要。実際に職に難が出るのは、どうしても出産だけは変えられないからで、家庭は女性になりがちだから。子育て、介護の援助また女性の再雇用の充実が理想と思います。
- 35 男女平等をはき違える人が多い世の中であってはならないと思います。両方とも認め合って男は男らしく女は女らしくが日本の姿であると思います。何よりも“道”(武士道)が一番大事と考えます。公にある人は特に道を導く人となってほしいと思います。
- 36 男・女との基本理念で政策を考えると、原点に格差からの発想になるのではないかと？男女ではなく「その人の能力」との視点で「適性にあった役割は何か」との理念が重要に思います。
- 37 男女の立場の違う所をお互いに理解し合って平等になる様に考えて下さい。
- 38 県の相談窓口以外に一宮市の相談窓口や相談機関があればよい。
- 39 学校行事に父親が参加できる(する)行事が、もっとあったらいいと思います。
- 40 6ヶ月の男の子がいます。親として大学までの費用などが頭にうかびます。男は一生仕事をして家庭を守る感念があります。女性は子供を持つと仕事をしたくても(手助け)なかなか難しい社会です。
- 41 現在の一宮市の男女共同参画の推進施策や参画社会についてどの様に運営されているかわかりませんが、市民でありながら全く目にした事が無い。市民からの(一般)女性からの参加を募ってみたり意見を聞く場所が有っても良いと思う。又、偏見かもしれませんが、頭の固い人(男性50才以上とか)には運営から外れてもらい柔軟な若い人を登用して運営してみてもはどうでしょう？長文失礼しました。
- 42 女性の社会進出に力を入れるのではなく、男性が家庭や地域に積極的に参加できるようにした方が良くと思う。
- 43 男女共同参画よりもっと重要な福祉、教育問題、地方公務員の削減など、民間と比較して働くことの意欲の低さなどを考えて下さい。もっと大事なことは一宮市の市議員は日本の市議員のパーセントからいっても多すぎます。税金の無駄遣いからいっても10人位少なくすることに努力されたいかがですか。
- 44 こういう言葉を耳にしても、地方や田舎の方へ行けば、昔ながらの村社会がめんめんと続いており、なかなか変わらないと思います。せめて家庭から1つずつできればいいなと思いました。
- 45 パートに出勤して6年目になりますが、初めの2ヶ月は午前中体がなれる為に、そのあと5年間以上は昼からも入り働いて居ました。が、最近年令も考えてのこと午前中のみとなりましたが、体はなれて居て、つい男性の方にまけまいと思いつつ会社もつい男性と若い方に力が入り淋しさをおぼえます。今日この頃です。
- 46 よい事だと思います。ぜひ参加したいと思います。
- 47 男女共に何ごとにも力を合せて参加する事はよい事だと思う。年寄りだからわからない
- 48 教育、福祉、厚生等の施策に関する法令等を勉強、熟知し、自信をもって、また、誰のために仕事をしているのかの自覚を持って奉仕してもらいたい。市の職員に男女の差別は無である。
- 49 過度な女性保護的な施策は、かえって男女差別につながると思います。全てのものに共同参画を促すのではなく、男性・女性の特性、特長を生かした参画機会を推進頂きたいと思います。
- 50 共同参画社会は大変よいと思いますが、女性がある程度の地位である時、家族の理解がいると思います。たとえば奥さんが参加している時、子供、主人は腹ペコでテレビを見てはこまります。
- 51 女性でも男性でも誰でも地域の行事などに出たくない人達ばかりなどで参画推進の委員会など作っても仕方がない。こんな事やっても一宮市はよくなりません。何がよくなりました。反対に聞きたい。皆、自分勝手な奴ばかりだ
- 52 (若い年代の)女性特有の病気の検診や子どもがあっても働きやすい社会になることを期待しています。男性の育児休暇等、夫となる男性の制度も充実したものになればと思います。よろしく願います。
- 53 男女共同参画という言葉自体を知りませんでした。

- 54 男女平等に付いての問合せでしたので私の思考で記入させて頂きましたが、県・市等々の役所の方の顔が見えて来ません。もっとも役所の方々が前に出て、他の地域住民に参画をアピールする事を希望します。今、地方分権をアピールして、地方自体の住民の自意識を高めて下さる様お願いします。
- 55 女性は子供ができれば、やはり子供のことが一番になると思う。でも仕事も社会とのつながりの1つとしてやめることはなかなかできない。安心して子供が楽しく過ごせるような保育施設の充実が女性の社会進出には必要だと思う。
- 56 男性用のトイレにおむつ替えのベッドを付けるか、誰でも出入のできるところにベッドを作って欲しい。
- 57 この男女共同参画は多くの方が以前より望んでいるにもかかわらず、今だにこのようなアンケートをしている事がわかりません。もっとしっかりと取りこんでほしいものです。いつも型ばかりで進んでいませんね。行政がアンケートばかりでなく、しっかりとして下さい。
- 58 外部から見て、地場産業がボケて見えて、特性が見えない。こんな背景では共同参画も何もないと思います。もっと大きい問題に目を向けて下さい。
- 59 男女平等といわれていても、まだまだ女性が社会で働き続けるには大変だと思う。子育て、家事、地域のおつき合いも、女性の肩にかかっている事が多いと思います。こういうアンケートを取る事をしている間は、本当の男女平等にはなっていないと思っています。行政が動かなければ変わっていき無いと思うので頑張ってください。
- 60 今さらのような、こういうアンケートは「今まで何をしてきたのですか？」と言いたくなり、又このような経費を使っては、もったいないと思います。
- 61 平等を推進していくことで、女性の不自由が解消されることは良いことだと思う。ただ、男の感覚、女の感覚はやはり違う。この男女共同参画社会の実現が、その感覚を去勢するのではないかと危惧しています。
- 62 参加しやすい環境づくりから
- 63 男女共同参画の推進という事は、なにも知らなかった事ですが、一番大事なことは、職場では仕事に対して気持ちを入れてこなす人が一番大事で、又家庭では、家のことすべて夫婦で協力して進んで行くべきだと思います。
- 64 PTA、子ども会などは母親が家庭にいる、またはパートである程度自由に時間が使えるのがあたりまえの条件になっているように感じます。きびしいです。(専門職として男女関係なく働いていますので) 地域活動に男性も参加できる社会になってくれたらと思います。地域活動も大切な場だと思います。男性は仕事から離れたとき、なかなか地域に入りこむのが大変だと思います。
- 65 女性自身の甘え体質や主体性の欠如を直し、真に自立した責任感や義務意識を確立した個人格を育成する意識改革が必要。これは女性に限らず、男性においても重要だと思う。
- 66 現況から答えることができない
- 67 女性が家庭を持って子供がいても働きやすい環境が整うといいです。
- 68 男性はより男らしく、女性はより女らしく、それぞれが特性を発揮してこそ共同参画の実があがるのであり、形式的に男女同一の平面的な教育や諸般の取扱いは弊害あって、参画の進展を遅延するものである。女のような男、男のような女がTV等で増加している様で、昭和20年敗戦以来日本本来の良点等が失われて来た面も多々見受けられる。被占領国の60年余の弊害から脱却せねばと思います。
- 69 男女共同参画の言葉において、男女、男が先に存在している。差別的な要素が感じられる。表現方法を変え均等になる言葉が良いと思う。
- 70 転入者には何も意見を言ってもとおりません。同じ様に税金を払っているのに、なぜ差別をされるから不満です。町内の差別がとてもあり毎日がつらいです。最初からおる人の意見は何でも通ります。そういう町内では税金も払いたくありません。

- 71 それぞれの家庭の考え方があると思うので(どちらが家事、子育てをするのか、仕事を優先するのか)よく家庭で話し合い、生活すれば良いと思う。市がそれぞれの為の相談コーナーがあると世代ごとに理解しやすくなるのでは？相談したいのだけど、どこに相談していいのかわからない時があります。そんな時、おしえていただける相談コーナーがいいですね。
- 72 基本的には、子育て中は子供と一緒にいてあげる…という考えです。男女共同参画社会を否定する訳ではありませんが、女性の素晴らしい役割としての子育ても大切だと思っています。“ただ今！”と帰って来た子供に“おかえりなさい!!”と言ってあげたらナーと思っています。女性差別ではなく、男女の役割り区別ではないでしょうか。
- 73 女性が社会進出しやすくなるには、やはり子育て支援が良いと思われれます。子どもが育つ環境は、幼い時は母親の愛情が必要なので、その母親を支援する経済的、精神的な援助を充実してもらえるといいのでは…。
- 74 今の社会、男女共同参画の推進、行い方は女性寄りの考えで進んでいるようだ。女性の為に作られた制度が出来たならそれに合った男性側の制度も見直してもらいたい。女性側だけが新しく変って男性が昔のままなのは不公平だ。
- 75 男女平等と言っても男性・女性それぞれの特徴、得手・不得手があると思います。(身体面、精神面において)それをふまえて男性・女性の能力が最大限に発揮できる様に協力し合っ家庭、地域社会が成り立っていけば素敵だと思います。困った時に支え合える場が増えるといろいろな可能性が広がる気がします。
- 76 老々介護助けてください
- 77 私の仕事の場合現場での仕事ですので女性はほとんどいません。運送とかですこし来るだけです。作業者としての女性は0に近いと思います。女性でもできる作業はあるしやる気と責任と勉強をすれば可能と思いますし協力してするべきだと思います。
- 78 女子大に通っていたため、男女の差別についてやジェンダーについてはいろいろと話を聞いてきたつもりだった。でも、アンケートの項目では知らないことも多く、正直驚いた。特に、職場で男性が優遇されていると感じているため、やはりどんな環境であっても男女平等でなければならないと考えている。「男は仕事、女は家庭」という根強い考え方を変えていくよう、市からも何か大きなアクションがあれば、今後はより男女が平等な社会になるのではないかと、思った。
- 79 上の質問の答えにはならないけど、市は税金とか払わなきゃいけないものは払うまでいつまでも請求してくるくせにこちら側が受け取るものはこっちから行かないともられない…。こっちが得するコトがない気になって税金とか払いたくなくなる。せめてハガキで教えてほしい。ずるいと思う。
- 80 戦後教育により、女性の優秀な人の割合は男性のそれより確実に多くなっているの、女性の登用は進めるべきだと感じている。
- 81 男女には根本的に得意の違いがあると思います。それぞれの得手が生かせればと思います。
- 82 男女平等とはいっても、体力的な事等を考えると、やはり弱い面のある女性は男性に支えてもらわなければならない事がたくさんあり、それを補おうと対策を考えれば、それによって逆に女性が得だという、不平等さが出てきたりするの、むずかしいと思います。
- 83 男女差別がなくなるのはもちろんですが、元気な一宮市になることを願っています。
- 84 男だから女だからって言う社会がなくなるのが一番なのですが…。社会全体の意識が薄いのもっと行政とかが表立ってやっていくべきだし、やったとしても一部の人間にしか伝わっても意味ないので、地域ごととかでやるべきでは？
- 85 今の社会や企業の体質を変えることはムリ。これから育つ、子どもたちに「平等」の意味を小さい頃から教育することが必要。
- 86 3才未満児保育料が高いから、女性の社会進出がすすまないのだと思う。高いから働かない。ある程度子どもが成長した頃、社会にでようと思っても困難。その頃には男性とかなりの差が出てしまう。不平等です。

- 87 夫婦共働きが増えてきた事もふまえて女性が社会で働きやすいよう今後も協力・努力して頂きたいと思  
います。
- 88 計画段階からの女性の登用と理事の選任。
- 89 「男女共同」ではなく、「女性の地位向上」のためのアンケートという気がしました。
- 90 妊娠・出産・育児により女性は仕事を犠牲にする事がある。また、男性のみの所得では十分な子育てが  
できない人もいます。育児などの手当てを手厚くしてもらえるのもありがたいが、まずは充分な所得がある  
よう、雇用問題をしっかりしてほしい。
- 91 ・学識経験者、著名人などを講師として招き、市民会館大ホールなどで講演してもらおう。  
・毎年定期的キャンペーンを行なう。
- 92 男と女という性別が平等ということはとてもむづかしい。男は力、女はきめ細かい気配りやさしさ、男は家  
族を養う、女は子供を、家庭を守る。基本的な事はかわらない。変ったら世の中がおかしくなると思いま  
す。
- 93 男女平等、男女平等とさわぎすぎな事で、逆に「今は男女平等ではない!」とアピールしているように感じ  
る。平等にやってる人はやってるじゃない。出来る女性はちゃんと評価されているでしょう。子供を産める  
のは女しか居ないのだから、その自覚を持ち生きろ。子供が小さいうちに必要としているのは母親。出来  
る女は出来るって事。出来ない女が男女平等を訴えすぎ。それに女を下に見てる男が男女平等とか言っ  
てんじゃない?このアンケート自体、男女平等じゃない質問が多すぎて不愉快です。このアンケート、男  
性が作ったの?女性が作ったの?出来る女性はそれなりに評価されてるでしょ。
- 94 家庭内の男女平等は男性側の意識によるものが大きいと思う。ウチは結婚して間もないけど、共働きと  
いうこともあって、私がなにも言わなくても、一緒にやろうと言ってくれたので、分担しなくても協力してくれ  
ている。だから家事にかかる時間も短くなるし、家事も一緒に楽しくできる。これが、女性側が文句を言っ  
てやってもらおうと共に楽しく家事ができない。家庭でも職場でも男性側の意識改革がうまくいけば前進は  
ある。
- 95 私の家庭環境、職場では男女平等であると感じている。しかし、現実子育て、介護等の理由で仕事をや  
めざるをえない方、厳しい環境で働いてみえる方の話を聞きます。女性の社会での力が弱い理由の1  
つではと思いますので、今後このような支援が増え、女性がもっと活躍できる社会を期待します。
- 96 高齢が高齢看護をする時代ですので男女共同参画の方は私はわかりません。看護の方が心配です。男  
も女もこれから高齢看護の方が問題です。
- 97 私たちの年代は今、子育て、介護、自営の仕事と非常に辛い生活の中にいます。お金、時間、すべて  
において不足がちな生活をしています。一宮市は今、介護・医療についてはある程度評価できると思  
いますが、子育て、自営業者についての考えが少し低いように思います。男女共同参画を考えるのなら  
主婦、主夫をどう評価するかも大切なことだと思います。外の仕事だけが仕事ではなく、家の中の仕事も  
仕事として評価できないでしょうか?
- 98 現在は第一線から身を引いて居り、子供・孫と家事を担当して居ります。男女共同参画と言っても経済が  
ともないます。給与の面でももう少し良くなるとそういうことにも参加出来るのではないのでしょうか?
- 99 女性が働き易くなるよう、児童館を充実させてほしい。小4からは児童館で預けることができず、場合によ  
っては現在の仕事を辞めざるを得ない状態です。このご時世、危険に繋がる事件が多く発生しており、  
子供が下校後1人で待ってもらうのにはとても不安に感じます。地域の環境を整えるのはもちろんのこと、  
時代に乗った改善をご検討下さい。
- 100 むすめにかいごされている老人です。60才まで働いたので年金でくらしている。
- 101 男女の差別があつて当然だと思う。肉体的にも精神的にも作りが違い、差別を無くすのは根本的に不可  
能である。男は男なりの待遇であり女は女なりの待遇でなければならぬ。互いの協力は必要だと思  
う。無い物を補ってあげれば良いと思う。
- 102 今後共一宮市がますます発展することを願っております。

- 103 学歴・男女・階級・年功・特技など、世の中には、常に差が存在する。差が存在する以上、共同参画出来るものと出来ないものがある。自分のなすべきことを精いっぱい行い、社会や家族にとって必要不可欠な存在になり、周囲を正常な人に囲まれていれば、差別などは感じなくなる。従って行政等の機関の関与は、個人の生きざまに期待をし、これを阻害する障害がある場合のみ、何らかの援助をすばやく強力に行うのが望ましい。
- 104 若い女性がこれから社会でも活動できるように、法の整備や施設の充実をして欲しい。
- 105 町内会、クラブ、老人会他諸団体による防犯、防災始め地域清掃活動に至る諸行事への参加を推進する。
- 106 いずれにしても、女性は女性にしか出来ない女性本来の仕事を全うしてから就業なりを考えること。→自分の子供の躰も出来なくて、何が仕事が出来ますか!!常識のない大人が増えるのも母親の躰が悪いからです。
- 107 女性が結婚し、家庭を持ち、子供が生まれても仕事が続けられる世の中であってほしいと思います。
- 108 ・現在は、社会的にも法律的にも女性がかなり優遇されているのではないかと考える。しかし、社会通念・慣習・しきたりなどは、男性が優位になっていると考える。  
 ・男性の意識の中に家事全般女性がという頭の間人間的な事もあるが、現在の30代以降の間人はどんどん少なくなっているのではないかと考える。  
 ・今だに、女は家事などと言っているようでは、知的レベルの低い話であると考え。  
 ・女性の社会進出の話は、向上心を持ち、仕事、奉仕活動に積極的に取り組む姿が見られるのは全体の30%もみえない数字であると考え。多くの女性はまだまだそこまで意識はできていないと考える。  
 ・但し、意識のある女性や仕事のできる女性がどんどん社会進出して行ける、世の中にはして行くべきであると考え。(実際、私の会社でも数年後部長にしようという女性もいる)  
 ・男性も女性も能力があればどんどん登用する事があたりまえである。  
 ・セクハラについてはあほらしく回答する気にもならん。
- 109 私の場合は過去になりますが、独身時代、結婚、育児期とずっと仕事はしてきました。子供二人で下の子供が幼稚園に入園するまで休職して其の後、65才まで現場に働いて来ました。一重に夫の家族の理解と協力が充分にあって勤めることが出来たのだと思っています。この間老人同居で介護もしてきました。周囲の協力と入所等の施設の増設が必要だと思います。
- 110 男性・女性だからという区分ではなく、能力を中心に考えて人事、企画を行うべきである。女性だからといって優先的にものごとを決めていくのはどうか。
- 111 男女の肉体的(身体的)な能力(体力)の差は謙虚に受け止め、お互いに思いやりを持つ事がまずスタートだと思います。勿論、女性も今までの社会通念に甘んじる事なく社会に参加する努力が必要です。その為の施設、地域活動が充実するといいです。
- 112 我家では夫は、子育てや家事に協力的な方だったと思っておりますが、まだまわりの同世代の女性は家事は妻の役目と決め、いっさい手伝わぬ夫が多いと聞きます。また女性の職場での立場は冷遇されていることが多いと思います。男性の意識の改革が必要だと思います。
- 113 よくわかりません。でも、平等の方がイイに決まってる。
- 114 質問の答えになってないかと思いますが、男女共同があまり進むのも「どうか」と思っています。
- 115 男女共同参画について詳しく教えて下さい。
- 116 私は、私が考える「優位」である男性だからか、(意識も低いのですが…)普段からそれほど問題として考えること、感じる事がなく、今回のアンケートもあまりピンときませんでした。まずは知ることが大事であり、多くの不平等や男女別の感じ方を一般に教えていく(紹介していく)ことが必要だと思います。
- 117 社会一般には「男女共同参画」という言葉を様々な場面で目にするが、元々「男」と「女」は異差なるものであり、男の良いところ、女の良いところがあって当たり前!何事にも平等とするのは理解できない。都合が悪くなると「男だから…」「女だから…」と結局は逃げ腰になるので必要性を感じません。
- 118 男女共同参画もいいですが、もう少し開かれた市役所にしてほしいものです。片寄らない人事採用希望します。

- 119 まずは国の方針を変えないかぎり社会は良くならない。定年を迎え、年金で生活している者に対して、年金は減らされ税金はかせられ、若い時に努力し市や国に対し貢献したつもりですが、働きおえたものに対して国の行政の冷たさに憤りをおぼえます。
- 120 このようなアンケートを立案した人は、自信過剰しすぎな人ではないか?少し節介すぎるような気がします。
- 121 全議員の最低3割は女性議員になるべきです。議員定数を男女別にして、選挙を行うべきです。その後、女性議員の定数を上げるべきです。定数2~4人の中選挙区にし、必ず1人女性の定数を作る方法がいいと思います。女性の参画が増加すれば日本は変わります。
- 122 子育てや介護等で仕事をやめても又再就職出来るようにする。
- 123 一宮の件ではないが政治の場を見て男女が平等の扱いを受けているように思われたい。まず数の違いがはなはだしい。老害も含め男性社会すぎる。女性を増やせばもっと平和で見通しの良い(銭亡者追放)状況になると思う。一宮の役所でも男女の比率はどんなものか知りたい。又能力ある女性の登用をつぶす力は無いだろうか。国政の縮図が見られるのでは、女性に存在されると困る男性職員(国政の議員)がいるように感じられる。もっと開けた市政を望む。
- 124 ・良い意味での男女差別は必要だと思います。それを十分に理解した上で男女共同参画も悪くないのではと思います。  
 ・学校教育については男女共に身体的な事を男女共に学ぶべきだと思います。  
 ・職場については、男女差別をいい意味でもっと図るべきだと思います。  
 ・家庭については、男性の協力を国が考えるべきだと思います。全てにおいて平等ではなく、白・黒・グレーの3色をつけるべきだと思います。
- 125 男女共同参画の推進については、個々家庭環境において、みな考え方、生き方が違うことで賛成、不賛成となる。法律で定められていても、聞く事、知る事は簡単であるが、老人がいる家庭では何度話し合っても理解されない。
- 126 今回の調査内容みたいのアンケートを様々の形で各家庭に出してほしい。男女共同参画社会を推進することは全社会の責任です。特に家庭教育と社会教育です。
- 127 本町通りのアーケード上を空の色にしたらいかがなものか?
- 128 私は成人講座、太極拳、運動など参加していますが、70才以上の方はどのクラブも女性が多く、男性の方の参加が少ないと思います。男性の方も積極的に参加される講座など必要かも。
- 129 jバスを多くして欲しい。
- 130 病気でほとんど寝ています。答になりませんがよろしく。役人の給料が多すぎますなどが
- 131 男の世界、つくづく感じます。将来の言葉(男女平等)
- 132 もっと若い世代(中学、高校生)にもPRしたほうが良いのでは?社会に出てから色々情報(DVなど)知った。でも今は10代でも結婚したり子どもができたりして、そんな若い子が被害(DV)にあった時、だれにも相談できなかつたら…と思うとこわいです。せめて相談窓口がどこかだけでも教育を受けているときからPRしてみたらどうですか。
- 133 市長さんをはじめ市政に携わる方々がもっとこの不況の下、一般企業で働く常勤、非常勤の人々の立場に立ち、私達一般市民が安心、安全な暮らしができる街になるよう一層の努力を期待します。大人(親)の生活が変われば子どもの教育、人格形成にも良い影響を与えられると思います。少子高齢化、母子家庭、父子家庭等、何かと問題は多いですが、できる限り隅々まで目を向けて下さい。さびれた駅前開発も少しでも早く良い方向に進めば、雇用の幅も広がり、街が潤う、良い循環が生まれるよう市民からだけでなく、他県、他市町村からの意見をどんどん取り入れていくことも必要かと思えます。市長の立場に立つということはそれなりの覚悟があつてのことと思えます。一宮市から「お役所仕事」という言葉がなくなることを望みます。
- 134 男女共同参画社会は大変大切な、また必要なことですがそれにともなって、父子、母子家庭の親、子供に対する気配りをしっかりと進めてほしいと思います。育休、授業後の(小学生等)対応等です。夏、冬休み中等。

- 135 ・地域的な面でまだ男性の考え方が古い所がある。  
・活動の場に男性も出て、男女共同参画の場で女性の話を聞く事が大切だと思います。  
・男性が家事に協力してほしい。
- 136 まず市が女性に対する職(事務職)パート等の職を増やすべきだと思います。後、主婦をずっとしてい  
て、職に就いてなかった人に対して、仕事に対する考え方等の就業前訓練の様なものも必要かと思われ  
ます。仕事に対するモチベーションも高く、能力等もあるのに、年齢で区切るのはおかしいと思います。
- 137 全体に公務員は、産休などすごく優遇されすぎている。普通の会社では、長期の休みはありえない。
- 138 男女共同参画って意味が分からない!! 20才の子でも男女共同参画ってどんな事を言うのか、どんな内  
容の事なのか、まったく分からん!! 「今回のテーマは男女共同参画です。」だけでは、一般人にはまった  
く分からんから男女共同参画とはこういう事です、みたいに20才の子でもすぐ分かるように意味(説明)書  
きをしろ!! 勝手に送りつけといて、男女共同参画のくわしい説明書きもないまま、アンケートに答え  
ろ! って非常識すぎだ!! そういう所が役所人間だ!!
- 139 不平等、八分あってはいけない。
- 140 初めて記入しました。よりよい市政に役立てば幸いです。
- 141 男女が色々な場で平等になる事は実際は難しい事だと分かっています。ですが、家事、子育て、介護等  
の施設充実や、家事、育児の男性の手助けが、重要だと思います。家庭が男女助け合い円満になれ  
ば、実際離婚も減り、少子化も次第に変化し、子供達とのコミュニケーションの時間も少しなりとも増え  
て、良い気がします。今はまだ家庭内で女性に負担がかかり過ぎています。これでは女性が社会へ進出  
するのは難しいですよ。
- 142 私個人的には、外でパートなり働いてお金がほしい。でも子供はまだ小さいし、施設へ預けても働いたお  
金がほとんど出ていってしまうぐらい高いから、預けるのももったいない(0~3歳)といつも思っています。  
安く、安全な施設へ預けられる所がたくさんあるといいですね。(千秋町)
- 143 女性の多い職場では、男性が力仕事をしなければならぬように、きつい仕事は(残業、力仕事等)、男  
性が主にしなければならぬくなっている。これは女性が社会へ進出する上で男性に対する不平等である  
と思う。母子手当、遺族年金等についても女性にかなり有利になっている。本当の平等は、難しいと思  
う。
- 144 アンケートの結果を協力者に返信する。
- 145 世の中理不尽な事が多々ある。「しょうがない」と生きるのも1つ。「このままではダメだ」と行動を起こす  
のも1つ。後者は何かと風当たりが強い。そこまでしなくても…とってしまうのは自分。
- 146 市、県民税等、税金の分野で、配偶者控除よりもフルタイム(扶養者なし)の配偶者(女性)を優遇する制  
度を設け、保育施設等、充実をはかる。
- 147 人権は平等であるべきだが、男と女は違う。それぞれの能力に合った所で力を発揮すれば良いと思う。
- 148 子供が生まれたら国や県、市等で子供を預かる支援をしないと女性は働く事が出来ない。
- 149 若い方に意見をお聞き下さい。
- 150 一宮市に男女共同参画の推進に関する施策や男女共同参画社会について活動していることを知らな  
かった。このような活動について、周知が少ないのではないだろうか。周知することにより、よりよい社会  
になるための一歩になると考える。
- 151 男女の特性を配慮した男女共同参画社会を望む。
- 152 女性も女性だからと云う意志を持たず、積極的に参画して貰いたい。ご都合主義で使い分けのないよう  
にして貰いたい。
- 153 ・小中学校の校長にもっと多くの女性を登用してほしい。 ・行政の重要なポストに女性を登用するなど  
し、今までの常識が本当に男女共同参画社会での常識なのか意見を聞いて取り入れてほしい。 ・病  
児保育にも力を入れてもらいたい。

- 154 男女共同以前に健常かハンデがあるか、強者か弱者かで様々な事を問うべきと思います。性別による差別を問う前に、人が生まれる時に出るリスクを背負う障害者や年齢を重ね尽力されて来た高齢者に、まず優遇措置を図るべき。(今後益々増加する方々です)人は老いるし、障害を望んで生まれて来る人はいないのだから。でも、その方々に長年の熟達した技や特殊な能力を認めて賞える場はありません。まず、健常者ありきでのこの様なアンケートも問題です。市民の本当の立場に立ってナイ・・・上辺ですね・・・残念です。
- 155 あまり男女共同を考えない方が良い。これが世の中うまく行く最大の方法です。だから、同居しようとせず女性の意見が(力関係)強く、別居(両親と)。日頃の男性が弱く成ってんのは給料の振込み、やはりお金を持った人が強いからね。お金の重み、父親の重み、手渡しこれが家庭の主、お父さん有りがとう、大切なお父さんに感謝です。やはり、元々男女平等なんて有りえない。女は都合よく勝手な動物です。昔の人は立派です。我家は主人が1番で良かった。平等なんてくそくらえです。幸せで終われそう。
- 156 老人で一人暮らしの為十分回答できません。お許してください。
- 157 知識がありません。今後関心を持ちたいです。
- 158 教育面です。養護学校をもうひとつ設備をお願いしてほしいと思っています。
- 159 男女平等を主張するようになってから、女性がなまいきになり、社会に進出しすぎて婚期が遅くなっていると思う。女は女の役割、男は男の役割をはっきりさせてから、それぞれの意識を尊重した方がよい。男は女のよりエライという気持ちは大事だと思う。
- 160 実質的な勤務日数・時間数を減らすこと。(特にデータに表れないサービス出勤・残業・早出を無くすこと)方策・施策はその次のステップと思う。
- 161 主が女性勤務の職場(医療系)でさえ、意外と男性が優遇されているのが現状ですよ。
- 162 一宮市という土地がらは、昔から女性が仕事することには、労働力として必要とされていたが、地域公共の場では、女性が出るということが嫌われています。こんな古い考え方から変えていかないといけないじゃありませんか。
- 163 男女平等の思想は、教育現場において今後も引きつづき実践すべき事項である。しかし、男女それぞれが宿命として背負うべき役割がある(例えば、生をはぐくむのは女性の特権である)。すなわち、何が何でも男女は平等であるべきであるというような偏ったフェミニズムでもって教育するのはよくない。基本原則、社会生活を営むうえで、男女は平等であるべきであるが、一方で何故男女というものがあるのか、それはそれなりの理由があるということも示していく必要がある。
- 164 よく分かりません。
- 165 男女共同参画社会の間とは少し違うかもしれませんが・・・。私は、学力的には男女の違いは無いと思っています。ただ、体力差及び性別による肉体的な差が根本にあると思っています。適材適所で働く以上は、人に差を付けるものではないと思っています。それに差を付ける賃金体制にこそ問題があると思っています。同じ事務作業をしてて何故男女間に賃金差があるのか判りません。同じ流れ作業をしててもそうです。何故と思います。男だったら高賃金というのでは、何も変えられません。
- 166 私は教員をしていましたのでその点からみますと、最近女性の管理職も増えてきましたが、まだまだ十分とはいえません。校内の役職人事でも女性は1人か2人くらいです。それから管理職の女性の方をみますと、独身の方が多いと思います。子育てを経験した管理職は大変少ないように思います。育児休業・育児時間などは男性もとれるようになりましたが、取っている人は非常に少ないと思います。私の知っている限りでは、1人です。まだまだ男性は仕事、女性は家事という考え方が根強いように思います。
- 167 法整備が未完成な状況で、大変かと思いますが、復職できる手助けをお願いします。例えば「保育園の未就業者の預け期間の延長(穏和)」「病児の預け先を充実させる」男性・女性ともに得意分野が異なりまずし、仕事面では出産時に必ず休む女性は、雇用しにくいとは思いますが。全てを平等にする必要はないと思いますし、高齢の方には平日に男性が家にいる事をいぶかしく思っているのは事実です。ゆっくり浸透していけばよいのではないのでしょうか。

- 168 男女共同参画を進める上で、大切なのは社会に女性が出るためのサポートが充実していることだと思います。私の娘はハンディをもっているので、年齢が中学生であっても24時間見守りが必要で、私自身職につくことが不可能です。そういうところにも手が届くサポートを確立していただけるよう、心から願っております。
- 169 地方・地域というよりも国策。国家的見地から総合的施策の必要性を痛感する。
- 170 小学生の子供を夜まで見てもらえるような体制がないと、子供のいる女性は働き続けることが難しいと思います。また、企業のトップが共働きや男性の育児・家事への参加に理解がなければ、制度がどれだけ変わっても男女共同参画社会の実現は難しいと思います。
- 171 社会の形を1つに方向づける事のメリット・デメリットのバランスが難しいのでは。個人個人に1番最適な生き方を見つける能力を育てる運動・活動をされては?良いのではないかと思います。
- 172 定年になるまで働いていたので、職をやめてから家庭に入ったので外のことはあまりしりません。
- 173 市外に勤めている為、一宮の情報がなかなか入らなく、この言葉さえこのアンケートにて知りました。どのような活動をしているのですか。
- 174 行事をする時等ウイークデーにしますが、日曜日にも予定して頂けないでしょうか。
- 175 共同参画において、果たしてすべてが平等かと問われると必ずそうでない生物学的なこの場合区別というものが存在し、判断に迷うことが多々ある。
- 176 男女共同参画といってもすべて均一ではなく、男女それぞれの持ち味を生かして協力して行くという形が望ましいと思います。男らしさ、女らしさを差別として見るのではなく、お互いの適性の上で、共同参画であればと思います。
- 177 広報紙において男女共同参画社会に貢献しているグループ会社をピーアールすると良い。
- 178 私は今年4月まではフルタイムで働いておりましたが会社倒産で今は失業中です。会社では男女共に同じ仕事内容でしたが給料は男性の方が高かった。
- 179 これ(一宮市の男女共同参画の推進に関する施策や男女共同参画社会)が、あまりわかりません。どんな活動をしてどんな内容か理解していません。
- 180 84才の老人です 目も悪く大変でした
- 181 男女共同参画で、今、女性の管理職が少ないからと言って女性を優先して管理職にする事はない。管理職の仕事が出来ない人が管理職になると部下の人が不幸になると思います。やはり、男女同条件で仕事の出来る人、苦勞している人にポストを与えてほしい。
- 182 保育園、児童館、介護施設の充実を図るなど環境を整えていただきたいと思います。
- 183 議員さんがみな昔からの考えをお持ちの方が多いため、きれいな言っても男女共同参画社会など出来ないと思う
- 184 こんなつまらんアンケートより市政についてすべき。市政はなっとらん。最低!!
- 185 分からないから意見はありません。
- 186 どんなことを行っているか伝わってこない。施策も大事だが、多くの人への周知がもっと大事だと思う。
- 187 女性が結婚、妊娠、出産しても働きつづけられる様、環境整備や意識改革をもっとすすめてほしいです。

- 188 一般的な家庭において最低限の生活レベルを保つために必要なことは、夫がフルタイム、妻がパートの収入がある状況だと考えております。フルタイムを1、パートを0.5とした場合、合わせて1.5の経済能力が必要となります。しかしこの場合では、夫が家庭と触れ合う時間もなく妻に至っては、職場の地位や雇用を保証されるものにはなりません。家族が時間を共有するため、夫が家事に参加するため、女性である妻が社会進出するためには、現状の職場における給与と勤務時間をフルタイムの雇用条件下で75%くらいに抑え、共働きすることが現在の社会において、経済的に安定し、女性の社会進出のきっかけになると感じます。また、妻の収入に頼らざるを得ない経済状況もあり上記のように書かせて頂きました。子供が幼稚園や学校に行く間に、父母が働き、朝晩は家族みんなで食事ができる環境が犯罪の少ない安全な地域社会を生み出し、心身共に健康的な人間を創り出すと信じたいです。
- 189 私は夫のDVで離婚しました。その時何度か名古屋の女性センターに電話相談しました。私は今から思うと、夫に洗脳されていた所もあり、結局決意するまでに半年かかりました。最後の決断をしたのは相談員の方の「あなた、それは完璧なDVよ」という言葉でした。やさしく遠まわしに助言していただいた方などいますが、当事者は自分が被害者だという自覚がありません。強引でもはっきりとアドバイスしていただいた方は私はよかったですと思いました。母子家庭となり就業相談で市役所へ行った時、3人も係の人がいて驚きました。そんなつもりはないのかもしれませんが、親切そうに「お給料はこれだけ？」とか「看護師がいいわよ」と上から言われてよい気分ではありませんでした。いつも市役所へ行く度、ゆったり仕事してるわと、少し腹が立つのは私だけでしょうか？また離婚手続で窓口の50代の女性の人にすごく冷たくあしらわれた時は、本当に悲しくなりました。やせ型の名札をつけていない人でした。教育して下さい。
- 190 男女平等にすることを知ってもらうことよりも(学校や職場で教育するとか)、実際に支援してくれる方が、女性は働きやすいと思う。私も多分、出産して子供が少し大きくなったら働きたいけど、親が近くにいないので、子供をあずける場がないと、たとえ働きたくても、会社が働かせてくれるといってくれても働けません。会社の待遇(例えば子供がかぜひいて急に休むことになったとかのときに休ませてくれるのか)も大切だとは思いますが、今の職場は、そういうことに対応してくれているので、私はあまりそこは気にしていません。でも大切だと思う。
- 191 このアンケートの中で、問17.9. 男女の平等と相互の理解や協力これが一番のポイントのような気がします！
- 192 アンケートに答える事によって関心が高まると思う。男の育児休暇や、労働時間短縮はおおいに賛成できる。
- 193 家族の理解が一番大切だと思います。
- 194 私は身体障害者ですが、私達でも出来る簡単な運動関係のサークルでも有れば御紹介下さい。運動不足からメタボリックになりつつ有ります。宜しく願い申し上げます。
- 195 一宮市は封建的で他地域に比べ女性の地位も低いように思われます。この企画に期待しています。
- 196 能力があれば男女問わず活躍するチャンスを与えれば良いと思うが、子育てに関しては母親が子供に与える影響は非常に大きいと思うので、幼少期は家庭に入り、専従すべきではないかと思う。以上
- 197 男女共同参画社会やその推進に一宮市が何を取り組んでいるのか、今後何をやるつもりなのかがよく伝わってこないのでPRの充実をよろしく。ICC等でPRしてるの？
- 198 男女共同は不要。脳の構成が違うので本来の本能にそって行動すべき。不要な施策など税金をムダにするな。公務員不要。
- 199 前頁でも書きましたが、男女共同参画社会多くの方が「何の話？」と言うのが正直ではないでしょうか!!このアンケートを見てやはりもっともっと大きく多くの場所でディスカッションしながら広めて、すべての市民が参画出来る場所がほしいですね。私もまだまだ不勉強ですのでアンケートの評価には至らないと思いますが、少しでも協力出来たらと思いを告げました。
- 200 男女の思いやりが必要でやさしさ(他人に対する)勝手と自由のはきチガイがなく知らない人にもあいさつが出来る世の中でなければ男女共同はむずかしいと思う。 社会では(男は男、女は女)別々が多い
- 201 私は子供が2人とも学校や園に通いはじめたので、内職からパートに出るようになりました。でも園は熱が出たりするとすぐ「むかえに来て下さい」と電話があるので、重労働で暑い仕事ですが、自転車で行ける距離に行っています。子供がもう少し大きくなったら遠くても環境のとのった働きやすい仕事を見つけないかと思っています。

- 202 何事に於いても旧一宮市尾西市木曾川町に分類して行なわれているように思います。新一宮市として大きな目で事を運ぶよう努力していただきたいと思います。
- 203 共働きができるよう、保育所などの施設の充実をお願いしたいです。まだまだ女性の社会進出できるのは程遠いです。
- 204 今後、子供ができて仕事復帰する時、預ける場所が探してもないなんてことにならないように体制してほしい。もっと夫にも、産まれてくる子のこと、出産のこと、妊婦のこと理解してもらえるよう、市でいろいろな教室を開いてほしい。
- 205 男女平等と言われているが無理にしなくてもいいと思う。確かに社会的に男の方が仕事は優先されると思うが、家庭内では家庭の夫婦が決めることなので、逆に平等という言葉を出すといざこざが起きるような気がする。
- 206 多くの人が働くことができるようワークシェアリングを行なう。当然時短と時短に伴ない給与もダウン。夫婦トータルで現在の収入を確保する。フランスの様に35時間以上働くことを法律で禁止する。(今も変更がなければ)
- 207 こんな事を質問する前に、もっとやる事があるだろ。たわけ！
- 208 このアンケートに答え、何が変わると言うのですか？
- 209 周知徹底がなされていない気がする。
- 210 私達の若い頃より男女の平等が進んで良い事だと思うけど、まだまだ封建的な所が有ります。でもいい時代になって行くと思う。国技なのに女の方が土俵にも上がれない事の方が一時が万事、国が男を大事にしている事。
- 211 男女の差別は社会において、なかなか発見されていないケースが多いと思う。会社と地方の結び付きがまだまだ弱いと思う。
- 212 どこのご家庭も家庭生活において、リズムもありマナーがあると思います。無理のない社会進出であれば年齢に応じた男女共同参画推進もこれからの時代必要であろうと思います。
- 213 子供の3才迄は、夫婦どちらかで育ててほしい。3年間は夫婦に役職についている場合は、1ヶ月おき又は(2,3,4,5,6ヶ月おき)ぐらいで、どちらかが交替しつつ育ててほしい。本当は妻のスキンスリップが将来やさしい人間になってくれるように、願います。
- 214 その言葉が分からないので、単語で書くだけではなく、細かく意味を示してもらい知るきっかけがほしい。
- 215 もう少し男、女が共同参画出来る社会環境が必要だと思えます。それには行政(市、町)が積極的に指導、支援することが大切だと思えます。
- 216 誠に申し訳ありませんが、共同参画と言う言葉自体初めて知りました。勉強不足です。調べて勉強します。
- 217 どうしてこのような市政アンケートをとられるのか私には理解できません。男尊女卑の時代は遠い昔のこと、現在ではむしろ女性が優遇されております。例えば、名古屋市の地下鉄においても朝、夕のラッシュ時には女性専用の車両があり、我々男性にとって感じのよいものではありません。家庭・地域生活に関する意識について「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」の間にどちらかといえば賛成に○をつけましたが、現在、家庭で食事のしたくができない女性が増えており、女性の大事な仕事を忘れており、困ったことです。最近では若者のモラルが低下しており、学校でのモラル教育が必要と思われれます。
- 218 わかりません。
- 219 特に職場での性差別というのを感じています。(女性弱者) このアンケートを見ても、そういう現状があるんだという事を強く感じました。女性が活躍できる事はいいと思いますが、それにより家庭がおろそかになるのは、何か違うと思えます。家族が幸せに生活できる社会、輝ける社会になることを望みます。
- 220 1.保育時間の延長  
2.就学児童の放課後預り施設の充実

- 221 今だに民間では出産とともに仕事をやめなければならない状況が見られると思います。男性の産休、育休の取得や、女性の産休、育休の取得の徹底をはかる必要があるのではないのでしょうか。
- 222 意見がありません。男と女平等ほうがいいです。ありがとうございます。
- 223 いつまでも“女は従者”という考え方しかできない人が多い今の世の中でこの企画をすすめるのは困難かと思えます。次の世代への教育に期待します。
- 224 ①DV、セクハラなど相談出来る場や方法が有る事をもっと広めるべき。というか絶対すべきだと思う。  
②男性も女性も出来る事が違う。例えば出産や仕事なら力仕事など、本当の平等は難しいと思うので就業別に考えていかないと難しいかなと思う。
- 225 1.女性が活動し易い環境・制度面の整備の充実。  
2.働く女性の子育て支援として「企業保育」の推進を図る。  
3.市の各種委員会、懇談会等に女性委員を多く登用し、活動内容を広く市民に知らせる。  
4.働く女性の意識改革。(女性だからと言って男性に任せるのではなく、積極的に仕事に取り組む姿勢も必要。)
- 226 社員30名の事業主です。平成になって男女共同参画社会を女性の会で活動致しました。職場でも20才～30才の方は、家庭を大切にす社員が多くなっています。体育系の男性が少なくなっているのが心配です。
- 227 もっと働ける場所を提供してほしい。
- 228 よく内容がわかりませんが、具体的な行動が必要だと感じます。(時間的余裕がなく、自分自身にも知り得るきっかけが見当たりません)
- 229 大半の質問に考えた事がなかった。理解するのに苦労しました。
- 230 公務員は、育児休暇等恵まれており、職場に復帰しやすいが私のまわりの小さな子どもをもった母親の多くは、子どもができたなら退職という形が多いと話していました。なので女性は不利だと感じている人は多いのかもしれませんが。男性も女性も、もっと地域の行事に参加したり、自分の時間をとったり、子ども達と触れ合う時間をとったりするゆとりがあるといいなと常日頃思います。男女参画に関係ないのかもしれないけれど、ゆとりをもって働くことができる社会のしくみができていけばいいなと思います。男性も女性もお互いに思いやって、それぞれの特性を生かして助け合いながら、生きていけるといいですね。
- 231 男の子育て支援は仕事の有り方を良く考えて、「さぼり」にならないように。
- 232 男女共同参画、とても難しい問題と考えます。このアンケートの発案も女性からの発進のようにはうかがえますが…男女には本来、それぞれ、役割があると考えます。それを女性の進出に従い、女性の観点を重視するのは、賛成出来ません。本来、家庭の安定(守る人)がいて、家庭環境が安定したものであればこそ、子供が心豊かに育ち、しっかりとした子供が成長すれば、社会にも希望が持てる様に感じます。今の世の中、もっと男性(父親)がしっかりすべき、家庭の長も社会の長も男性がしっかりあるべきと思いません。
- 233 性差にかかわらず実績に対して平等に評価できる仕組みが実現されるべきだと思います。
- 234 もともと女性と男性は肉体的に違うので男女平等等は成立しないと思う。男女平等を言うなら、全てを平等にすべきだと思います。都合の悪いところだけ女性だからとのがれる人がいるがおかしい。
- 235 関係ないことですが、私は一宮に住んで一年も経っていません。自分の子どもも持ったことはないし、もう少し年数が経ち、子どもができれば、地域、社会などに興味が出てくると思います。今は、全くといっていいほど、回答のとおり答えにくいです。知らない事ばかりです。
- 236 愛知県は人々の意識や行動等に女性に対する差別が残っているように思われます。多くの若い世代の人達とのかかわりの中で楽しくそれぞれの能力が発揮できる場や時が得られれば最高だと思います。(まず家族の中から幸せと思える時が、そして大きく輪になって行く事、大切ですネ)
- 237 役所語にしないで理解しやすくして下さい。
- 238 男女共同参画について、今まで深く考えたことがありませんでした。考える機会を与えて下さってありがとうございました。

- 239 近年、女性のトラック運転手やタクシーの運転手さんを見かけます。職業によっては、深夜労働時間が大変だと思い、自分ではやれない気がします。医師の女性も増えてほしいとも思います。女性として無理な仕事もあり、すべてにおいて男女平等にやطيعけるかは、とても無理があると思います。まだまだ社会情勢、環境的にもかえていかなければとは思ってます。
- 240 女の人の子供ができたので仕事をやめるとか、結婚するのでやめるというのはおかしい話で、女の人も仕事を続けれる場が必要である。
- 241 労働基準法が意味を持たない職場において業務時間が膨大ななかで、身体・精神の安全も守られず、意志とは関係なく仕事を最優先せざるをえない。その上での家庭・地域への参画は難しく、現実問題として男女共同参画推進への行動への参加はできない。理想として意識づけ程度でできればいいと思う。
- 242 取り組みとしては男女平等と言っているところがほとんどだが、実際には男性優位が根強く残っている。残っているというか、日本では男子たるもの…みたいな考えで現在にいたるので、女性軽視がなくならないんだと思う。今の若者といえども親世代の考え、振る舞いを見て育っているし、職場ではやはり男性ばかりの出世。日本という国がそういう思想を作ってきた訳で、そう簡単には変わるものではないと思う。年配の人が考える男女共同参画と若者の考える男女共同参画ではズレもあると思います。もっと一般庶民の意見を聞くべきだと思います。
- 243 出産など、女性にしかできないことがあります。休業後の再就職が容易にできる社会となるよう頑張ってください。
- 244 正直何をしているのかわかりません。市民が活動に触れる機会がないということはやっていないのと同義なのではないでしょうか？勉強会をひらく、パンフレットを開くとかではなく社会の根本の偏見やしきみが変わるような施策をぜひうってください。
- 245 男女共同参画については、はっきり言って知識不足でよくわかりませんが、問いの中で意識調査なのに家事の分担まで教えなければならないのでしょうか？名前が知られなくても不快感を受けました。市政反映させる為のアンケートなら今の暮らし(景気)が良くなるのでその問いの方が重要じゃないでしょうか？
- 246 誰もがすぐ分かるようにする。(たくさんあっても分かりにくいので一本化してはどうか)
- 247 ・仕事をしていると懇談会等の学校行事は誰が行くの？  
 ・なぜ、市の機関は土、日はやってくれないの？  
 ・男女平等というより、男女が平等に働けるよう、役所等は土、日も使えるとか、そういう面で努力してほしい。  
 ・学校行事のあり方も考えてほしい。  
 ・すべてを平等にこなす為には家庭のやり方もあるが、行政のやり方が一般サラリーマンと同じ働きをしていたらすべて無理。一般サラリーマンは公務員よりきびしいです。
- 248 男女の差別意識についての線引きは人それぞれで難しいと思います。女性が参加できるなどと女性というのを強く出す施策というより社会全体が誰でもやりたいこと参加したい事ができる、といった考え方になる事こそ、本当の男女の差別がなくなる事につながる気がします。  
 追記：社会に参加するという点で見れば、男女というより子供のいない家庭(子育てをしていない家)は社会に参加する機会が子育て中の家庭よりずっと、男女の差よりも大きな差で格段に少ないと感じます。
- 249 周りでも、子供が小さいうちは、短時間の仕事を望む声が多いです。しかし、土・日・祝日など働けないと、仕事がなかなか見つからないのが現状です。そうした点を改善、対策が出来れば、女性も再度社会復帰出来る。期待が高まります。
- 250 男女平等をもとめているのでしょうか？平等はないと思います。男と女はちがうので平等はないと。
- 251 私は、現在元市会議員の経営する会社で働いていますが、経済危機の現在はなおさら、それ以前より、深夜までの残業や、休日出勤を当然の様に要求されています。いくら法により社員の権利が保障されていても、やはり守られていないのが、大多数の中小企業の実態だと認識しています。経営者のモラルが飛躍的に向上するか、行政が深く立ち入って、経営者に法を遵守させる事を徹底しなければ、生活を守る事を優先するしかないのでは、難しいのではないのでしょうか？
- 252 一宮市の男女共同参画の推進に関する施策について、もっと広報を行い、情報提供してもらいたい。

- 253 女性が働きやすい社会になるよう一層の改善をお願いしたいです。私は昨年まで常勤で働いていましたが、体調不良により、泣く泣く退職しました。女性にとって職場の環境は決して良いとは言えません。同僚の妊婦が職場で倒れ、救急車で運ばれていく姿も見ました。男性の家事、育児への積極的な参加、男性重視の社会の見直し等、市ができることは色々あると思います。つらいと思いながら働いている女性、働きたくても働けない女性を救うためによりしくお願いします。
- 254 ・無駄な財政を減らす  
・市民税、住民税を減らして欲しい  
・企業、雇用、パートなどの基本料金を上げて欲しい。そうすることで心にゆとりがもてるようになり、男・女性が共に生活していこうという気持ちになり、物事を前向きになり、共存・共栄していけるのではないかと思います。今よりもっと、子供、お年寄り、女性、男性のすべての住民が住み良い社会に変えていけば良いと思います。  
・ただし、お金持ち(裕福)な暮らしをされている方より、低所得者層の方に優しい社会になれるように努力して頂きたいと思います。
- 255 「男女共同参画」ということばを初めて知りました。
- 256 女性の社会での地位の向上は勿論の事、男性の労働のあり方(時間等)の見直しにも社会が積極的に取り組み、家庭に目をむける時間(ゆとり)を作って欲しいと思います。
- 257 市が男女共同～等の推進に力を入れていることをあまり知りません。広報を使いもう少し理解しやすく広いPR活動を望みます。
- 258 もうすでにどんどん男女共同の流れになっていっている。そして逆転していく様に思える。
- 259 今まで一宮市が運営する施設などを利用して就職活動をしたことがないので、一宮市が女性の雇用について何をしているのか全く知らない。女性の社会進出については一宮市という一市の施策でどこまで改善できるか疑問。国をあげての政策が前提に欲しい。後、このアンケート形式が有用なものだと思えない。問10などやれることは何でもやるべきという他にない。記述するところをもっと増やすべきだと思う。このアンケートを集計したところで何を見出せるのか。現状把握の為のアンケートだとしてもお粗末な内容だと思う。税金の無駄遣いだ。
- 260 今のままでいい
- 261 男女平等と言っているが、まだまだ社会(職場)では、男性と女性の差別があると思います。男性には何を言っても良いという風潮が、上司(年上)の方にはあり、そして職場では、女性は結婚までのつなぎという考え方がある為、女性を守るということで男女平等になって来たとはいえ、まだまだ、社会では平等とは言えないと思う。だから、今、現在、男性は草食系が増え、女性は肉食系と言われるようになったと思う。男性をもっと守る、制度も作るべきだと思います。
- 262 年配の方(特に男性)の意識を変えることは難しいと思うので、若い方の意識が育っていくようになればいいなと思っています。
- 263 何をどうしたい為のアンケートなのかよく分からなかった。女性の社会進出を促進する為のものなのか、女性の地位向上を目的としたものなのか?それが実現できると何がどうよくなり、私たちの暮らしの何が変わるのか?机上の上の空論に対し、意味不明なアンケートを実施することにそんなに価値があるのか?女性の平等においては、法律上はこの上なく平等だといえる。あとは運用とかソフトの問題だと思う。アンケートの主旨をもっと明確にして共同参画が必要ありきの考え方のアンケートをしないでほしい。
- 264 広報以外どんな活動を何をしているのか見えてきません。もっと具体的に啓発活動をしてもらいたい。DVIについても、名古屋市は婦人相談所や保護施設のリーフレットなどを目にするが、一宮市では見た事がない。体育館を作る予算をもっと有効に使ってもらいたい。

- 265 私は関東から引越して来て、感じた事を書きたいと思います。  
 ・産婦人科か同科のある病院が多い。  
 ・小児科かクリニックが多い。  
 ・子供を預けられる施設か、保育園がきちんとしていて、女性が働きやすく感じられる。  
 ・結婚して働いている(共働き)女性が沢山いる。  
 ・仕事の帰りの時間が早い(男女共に…残業が少ない等)  
 ・一宮市は色々な事がしっかりしてますね。  
 ※でも関係ありませんが、交通マナー最悪です!(私の知る限りワースト1) 全く関係ない事を…すみません。
- 266 男女がともに気軽に参画できるしくみや施設が必要。
- 267 アンケートにお答えした通りです。
- 268 育児中の女性に対する、補助(保育所等)を充実させて欲しい。
- 269 アンケート内の文言がわかりにくい。広くアンケートを行うのであれば全ての人に理解できるよう考えた方が良くと思う。そうしなければ、ただの行政のマスターベーションになってしまうのでは?
- 270 女性の社会進出は大切であるが、やみくもに登用するのではなく、割合を重視すべき。雇用を希望する男女からの雇用割合を近づける。女性管理職の場合も同様。組織の男女比率に応じた登用をすべき。
- 271 ①昔からの習慣に囚われない。  
 ②今の社会に合う市政運営。  
 ③理に適う事を行う。
- 272 女性は子を産むという極めて重要な性をもっている。この性が全て優先された安全保障が果され、実行されることで、男女平等の土俵であると思います。生理休暇も産休も育児・介護(男女)も安心して子を産むことのできる施設、費用(無料化、国・県・市町村負担)の充実…などなど。
- 273 男女共同参画という言葉を知りました。どのような活動をしているのかみてみたいと思いました。(どういふものか知りたい)
- 274 法律の上では、男女は平等になっていますが、社会や家庭の中では、男性が優位になっているのが、現状だと思います。男性の考え方を考える事が、一番重要だと考えます。
- 275 一宮市に限った事ではありませんが、男女同権とはいえ、決して同質ではありません。その点を賢く使い分ける事はとても難しいと思います。人によっては性差別と受け取る人もあります。ただ共同参画を望む女性が居る時、性別に関係なく参画を選択できる事が抽象的ではありますが、基本的に大切な事だと思います。
- 276 すみませんが、よくわかりません。
- 277 具体的な推進内容が分からない。
- 278 高齢者の方の手当ですが、私の場合ですとお風呂の券(内風呂が有りますが時々使用しています。)それと老人の日の、みやげ物、それ以外は使用していません。お風呂の券ですが、風呂券と同様にバスの券が年間に何枚か使用する様に出来ないでしょうか?(名古屋市内とことなりますので、むづかしいでしょうか?)
- 279 (意見ではなくてすみません)現在、働くお母さんが増えて保育園(児童館)の充実や、社会の在り方など私が子育てをした頃(15~20年前)に比べたらかなり良くなってうらやましい限りです。女性の社会進出はいい事だと思うし、今の経済状態では働かざるを得ない事も多々だと思うのです。でもそちらに一生懸命になり大事な子供の精神・常識・知恵(知識は上がっても、一般常識に欠ける)が欠けた子供達が増えていくと思うのです。古くからの土地で暮らしていると地元の方々々が幅をきかせていたり、優遇されたり不公平だと思う事もありますが、かといって古い事を排除してしまうと、肝心な事まで無くなってしまったり…難しい事だと思います。私も三世同居をしている身なので、年上を敬い、暮らしているつもりですが、息子と義父母とのジェネレーションギャップで時々悩まされます。でも核家族の子供よりは思いやりや、年上を大事にする事は日常から得ていて、同居で不自由をする事もあるけど良かったなと思います。(全然的はずれな意見、急いで書いてしまったので乱筆・乱文失礼いたしました)
- 280 女がでしゃばるのはよくないよ。社会も女の優位な事いってるやん

## VI 調查票

# 市政アンケートご協力をお願い

一宮市

一宮市では、市民の皆さんに市政に関するお考えやご意見をお聴きし、市政運営の参考とさせていただくため、市政アンケートを実施しています。

このアンケートは、一宮市内にお住まいの満20歳以上の方の中から、統計的手法で無作為に選ばせていただいた3,000人の方にアンケート用紙を郵送し、ご回答いただくものです。今回、あなた様に市政アンケートへのご協力をいただきたく、突然のお願いで恐縮ですが、この趣旨をご理解いただき、ご回答いただきますよう、よろしくお願いいたします。なお今回の調査テーマは「男女共同参画」についてです。

## ……………【記入上のお願い】……………

- 回答のあてはまる番号（記号）に○印をつけるか、あるいは具体的な内容をご記入ください。ボールペン・鉛筆など、記入には何をお使いいただいても結構です。
- このアンケートはあなた様個人にお尋ねするものであり、必ず封筒にある宛名の方ご本人がお答えください。なおご本人が書くことが困難な場合には、身近な方がご本人の意見を聞きながら記入していただいても結構です。
- このアンケートには名前・住所を書いていただく必要はありません。返信用封筒も同じです。
- 回答結果は統計的な数値処理を行う以外には使用しませんので、個人のお名前や回答内容等が外部に漏れることは決してありません。ご自身の率直な考えをお書きください。

記入が終わりましたら、同封しました返信用封筒に入れて、切手をはらずにポストへ回答期限までにご投函ください。

回答期限：8月26日(水)

## ……………【お問い合わせ】……………

不明な点がございましたら、お手数ですが下記までお問い合わせください。

一宮市役所 企画部 秘書広報課 広報広聴グループ 担当 浅野・滝野  
電話0586-28-8951 メール/koho@city.ichinomiya.lg.jp

## ●男女共同参画意識に関するアンケート

### 【調査のねらい】

この調査は「男女共同参画」に関して、市民の皆さんの意識や実態を把握し、今後の市の施策を検討する上での基礎資料とするものです。

※「男女共同参画社会」とは、男性と女性がお互いに人権を尊重しつつ責任を分かち合い、性別にかかわらず、その個性と能力を十分に発揮することができる社会をいいます。

それでは、次の問1から質問にお答えください。よろしくお願ひいたします。

### <男女の平等について>

問1 あなたは、次にあげるAからHまでの分野で、男女の地位は平等になっていると思いますか。AからHについて、あてはまるものを1つ選び○印をつけてください。

	1 男性の方が優遇されて いる	2 どちらかといえば男性 の方が優遇されている	3 平等	4 どちらかといえば女性 の方が優遇されている	5 女性の方が優遇されて いる	6 分からない
A 家庭生活	1	2	3	4	5	6
B 職場	1	2	3	4	5	6
C 学校教育の場	1	2	3	4	5	6
D 地域活動の場	1	2	3	4	5	6
E 政治の場	1	2	3	4	5	6
F 法律や制度	1	2	3	4	5	6
G 社会通念・慣習・しきたりなど	1	2	3	4	5	6
H 社会全体としてみた場合	1	2	3	4	5	6

問2 あなたは、上記のAからHまでの分野で、男女の地位が最も平等または不平等だと思ふものはどれですか。あてはまるものを1つ選び○印をつけてください。

- ・最も平等だと思ふ (A・B・C・D・E・F・G・H)
- ・最も不平等だと思ふ (A・B・C・D・E・F・G・H)

問3 あなたは、男女が社会のあらゆる分野でもっと平等になるためには何が重要だと思ひますか。あてはまるものをすべてに○印をつけてください。

1. 法律や制度の見直しを行い、性差別につながるものを改める
2. 女性を取り巻くさまざまな偏見や、社会通念・慣習・しきたりなどを改める
3. 女性自身が経済力をつけたり、知識・技術の習得など、積極的に力の向上を図る
4. 女性の就業・社会参加を支援する施設やサービスの充実を図る
5. 行政や企業などの重要な役職に、女性を積極的に登用する制度を採用・充実する
6. 学校教育や社会教育・生涯学習の場で、男女の平等と相互の理解や協力についての学習を充実する
7. 分からない

＜結婚、家庭・地域生活に関する意識について＞

問4 あなたは、「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」という考え方について、どのように  
 思いますか。あてはまるものを1つ選び○印をつけてください。

- 1. 賛成
- 2. どちらかといえば賛成
- 3. どちらかといえば反対
- 4. 反対
- 5. 分からない

問5 あなたは、現在配偶者（またはパートナー）と暮らしていますか。あてはまるものを1  
 つ選び○印をつけてください。

- 1. 配偶者（またはパートナー）と暮らしている →問6へ
- 2. 配偶者（またはパートナー）と暮らしていない →問7へ

【問5で1. 配偶者（またはパートナー）と暮らしていると答えられた方に質問します】

問6 あなたの家庭では、次にあげる家事は主に誰が分担していますか。AからHについて、  
 あてはまるものを1つ選び○印をつけてください。

	1 夫	2 妻	3 夫婦	4 家族 全員	5 家族 以外の 人	6 分から ない
A 食事のしたく	1	2	3	4	5	6
B 食事の後片付け、食器洗い	1	2	3	4	5	6
C 掃除	1	2	3	4	5	6
D 洗濯	1	2	3	4	5	6
E 買い物	1	2	3	4	5	6
F 家計の管理	1	2	3	4	5	6
G 子育て（子どもの世話・教育など）	1	2	3	4	5	6
H 介護（介護が必要な親・病人の介護など）	1	2	3	4	5	6

【すべての方に質問します】

問7 あなたは、生活の中で仕事、家庭生活、地域・個人の生活で何を優先していますか。あ  
 てはまるものを1つ選び○印をつけてください。

- 1. 「仕事」を優先している
- 2. 「家庭生活」を優先している
- 3. 「地域・個人の生活」を優先している
- 4. 「仕事」と「家庭生活」をともに優先している
- 5. 「仕事」と「地域・個人の生活」をともに優先している
- 6. 「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先している
- 7. 「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」の3つとも大切にしている
- 8. 分からない

問8 あなたは、仕事以外に地域で何か活動に参加したことはありますか。あてはまるものを1つ選び○印をつけてください。

1. 現在参加している(例:P T A、町内会、ボランティア活動など) →問10へ
2. かつて参加していたが現在は中止している →問10へ
3. 参加したことはない →問9へ

【問8で3.参加したことはないと答えられた方に質問します】

問9 今後、あなたが参加したい活動はありますか。あてはまるものすべてに○印をつけてください。

1. P T Aや子ども会
2. 女性の会や地域女性団体(または男性の会や地域男性団体)
3. 町内会や自治会
4. 老人クラブなど高齢者の会
5. N P Oやボランティア団体など民間の非営利活動団体
6. 教養・趣味・スポーツのサークル
7. いずれも参加したくない
8. 分からない

【すべての方に質問します】

問10 あなたは、今後、男性が女性とともに家事・子育て・介護・地域活動に積極的に参加していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。あてはまるものすべてに○印をつけてください。

1. 男性が家事などに参加することに対する男性自身の抵抗感をなくす
2. 男性が家事などに参加することに対する女性の抵抗感をなくす
3. 夫婦や家族間でのコミュニケーションをよくはかる
4. 周りの人が、夫婦の役割分担等についての当事者の考え方を尊重する
5. 社会の中で、男性による家事・子育て・介護・地域活動について評価を高める
6. 労働時間短縮や休暇制度を普及させ、仕事以外の時間を多く持てるようにする
7. 男性が家事・子育て・介護・地域活動に関心を持つよう、啓発や情報提供を行う
8. 国や地方自治体の研修等により、男性の家事や子育て、介護等の技能を高める
9. 男性が子育てや介護、地域活動を行う仲間(ネットワーク)づくりをすすめる
10. 仕事と家庭の両立などの問題について男性が相談しやすい窓口を設ける
11. 特に必要なことはない
12. 分からない

＜女性の社会進出について＞

問11 あなたは、女性が職業を持つことについて、どのように思いますか。あなたの考え方に近いものを1つ選び○印をつけてください。

1. ずっと職業を持ち続けるほうがよい
2. 結婚するまでは、職業を持ち続けるほうがよい
3. 子どもができるまでは、職業を持ち続けるほうがよい
4. 子どもができたら仕事をやめ、大きくなったら再び職業を持つほうがよい
5. 女性は職業を持たないほうがよい
6. 分からない

問12 あなたは、社会のさまざまな分野において、企画や方針決定の過程に女性の参画が進んでいない理由は何だと思えますか。あてはまるものすべてに○印をつけてください。

1. 家庭における性別役割分担、性差別の意識
2. 職場における性別役割分担、性差別の意識
3. 地域における性別役割分担、性差別の意識
4. 男性優位な組織運営
5. 家庭の支援・協力が得られない
6. 女性の能力開発の機会が不十分
7. 女性の活動を支援するネットワークの不足
8. 女性側の積極性が不十分
9. 分からない

### <ドメスティック・バイオレンス（DV）などについて>

問13 あなたは、ドメスティック・バイオレンス（DV）、セクシュアル・ハラスメント（セクハラ）のことを知っていますか。知っているものすべてに○印をつけてください。

1. 配偶者や恋人など親密な関係の人から受ける暴力を、いわゆる「ドメスティック・バイオレンス（DV）」と呼ぶ
2. DVには、殴る、蹴るなど身体的暴力だけでなく、精神的・性的暴力も含まれる
3. DV被害者を支援するために、法律（「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律」）が制定されている
4. 県が設置している配偶者暴力相談支援センターにおいて、相談や被害者の一時保護を行っている
5. DVを受けている人を発見したら、配偶者暴力相談支援センターまたは警察に通報するよう努めなければならない
6. 主に職場において、性的な言動により他の人を不快にさせる行為を「セクシュアル・ハラスメント（セクハラ）」と呼ぶ
7. 職場におけるセクハラを防止するために、法律（「男女雇用機会均等法」）で事業主に雇用管理上必要な配慮をすることが義務付けられている
8. 知らない

問14 あなたは、DVについて相談できる窓口があることを知っていますか。あてはまるものを1つ選び○印をつけてください。

1. 知っている →問15へ
2. 知らない →問16へ

【問14で1. 知っていると答えられた方に質問します】

問15 相談できる窓口についてどのようなところを知っていますか。知っているものすべてに○印をつけてください。

1. 配偶者暴力相談支援センター（愛知県女性相談センター）
2. ウィルあいち（愛知県女性総合センター）
3. 市役所
4. 警察
5. 民間の団体や機関（民間シェルター、弁護士会など）
6. 法務局、人権擁護委員、法テラス

【すべての方に質問します】

＜男女共同参画社会について＞

問16 あなたは、次にあげる男女共同参画に関する言葉を知っていますか。知っているものすべてに○印をつけてください。

1. 男女共同参画
2. 男女共同参画週間
3. 男女共同参画社会基本法
4. いちのみやし男女共同参画計画
5. 一宮市男女共同参画推進懇話会
6. 男女共同参画情報紙「いーぶん」
7. 市の審議会等の女性委員を30%以上にする目標がある
8. 女子差別撤廃条約
9. ポジティブ・アクション（積極的改善措置）
10. ジェンダー（社会的性別）
11. 男女雇用機会均等法
12. ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）
13. 知らない

問17 あなたは、男女共同参画社会を推進していくために、行政は今後どのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。あてはまるものすべてに○印をつけてください。

1. 法律・制度の面で見直しを行う
2. 政治や行政などにおける政策決定の場に、女性を積極的に登用する
3. 民間企業・団体等の管理職に女性の登用が進むよう支援する
4. 職場における男女の均等な取扱いの周知徹底が図られるよう企業等に働きかける
5. 労働時間の短縮や、在宅勤務、柔軟な労働時間制度など、男性も含めた働き方の見直しを進める
6. 子育てや介護中であっても仕事が続けられるよう支援する
7. 子育てや介護等でいったん仕事を辞めた人の再就職を支援する
8. 保育の施設・サービスや、高齢者や病人の施設や介護サービスを充実する
9. 学校や生涯学習などの場で男女の平等と相互の理解や協力についての学習を充実する
10. 女性や男性の生き方に関する情報提供や相談などの場を充実する
11. 広報誌やパンフレットなどで、男女の平等と相互の理解や協力についてPRする
12. 特にない
13. 分からない



【すべての方に質問します】

問25 あなたは、未婚のお子さんがいますか（別居を含む）。あてはまるものを1つ選び○印をつけてください。

- |               |       |
|---------------|-------|
| 1. 未婚の子どもがいる  | →問26へ |
| 2. 未婚の子どもはいない | →問27へ |

【問25で1. 未婚の子どもがいると答えられた方に質問します】

問26 あなたのお子さんは、次のどれにあたりますか。あてはまるものを1つ選び○印をつけてください。（2人以上いる場合は、それぞれ○印をつけてください）

- |                 |               |        |        |
|-----------------|---------------|--------|--------|
| 1. 就学前          | 2. 小学生        | 3. 中学生 | 4. 高校生 |
| 5. 短大生・大学生・大学院生 | 6. 専修学校・各種学校生 |        |        |
| 7. 就業している       | 8. その他        |        |        |

【すべての方に質問します】

問27 あなたの家族構成をお答えください。あてはまるものを1つ選び○印をつけてください。

- |                 |                   |
|-----------------|-------------------|
| 1. 単身世帯（1人）     | 2. 1世代世帯（夫婦のみ）    |
| 3. 2世代世帯（親と子ども） | 4. 3世代世帯（親と子どもと孫） |
| 5. その他          |                   |

■最後に、一宮市の男女共同参画の推進に関する施策や男女共同参画社会について、ご意見がございましたら、ご記入ください。

質問は以上です。多岐にわたる調査にご協力いただき、誠にありがとうございました。

アンケート結果につきましては、広報一宮1月号に概要をお知らせする予定です。同時に市ホームページでも掲載します。

ご記入頂いた調査票は、お手数ですが同封の返信用封筒にて8月26日(水)までに投函してください。

～第6回市政アンケート～  
男女共同参画意識に関する調査報告書  
平成21年12月発行

一宮市企画部企画政策課  
秘書広報課  
一宮市本町2丁目5番6号  
電話 0586-28-8952

※本報告書の内容は、インターネットでもご覧いただけます。

<http://www.city.ichinomiya.aichi.jp/division/kikakuseisaku/danjyo/index.html>